

令和5年度

事業報告 I



赤間保育園

目 次

中長期計画（基本方針）を達成するための令和5年度の重点的な
目標に対する実施状況

1. 目標管理シート
2. 自己評価アンケート結果
3. 保護者アンケート結果
4. 職員による保育園アンケート結果
5. 各年齢児童数
6. 職員人数
7. 地域支援
8. 研修報告

Ⅲ ビジョンを達成するための令和5年度の重点的な目標

1. 保育サービスの質の向上に努め、すべての子供たちの健やかな成長を育む。

計 画	実施状況	備 考
<p>(1) 基本方針を実践・達成するために、令和5年度 赤間保育園の年間目標は次の3項目を掲げ、目標管理シートに基づき、当初、中間、最終の3回個人面談を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①人権に配慮した子どもへの関わり方 ②職員間のコミュニケーションを高める。 ③自身の保育の向上に努める <p>以上3項目について当初、中間、最終の3回の面談を実施した。</p>	<p>1. 目標管理シート</p>
<p>(2) 延長保育における環境・保育内容の質の向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児クラスの延長保育利用の子どもたちのロッカー及びお道具箱(籠)を準備し、個々の遊びを自由に選択し、過ごせるようにした。 ・以上児と未満児に分けて保育を実施した。 ・未満児は、延長保育用の玩具を2～3種類準備し、コーナーを作り、好きな遊びを自ら選び、遊ぶことができるようにした。 	<p>延長保育申込者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間型 月平均 22名 ・2時間型 月平均 15名
<p>(3) 一時預かりの受け入れを積極的に行っていくために、担当する職員を配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日を事前に把握し、園児の人数に対して職員の配置が適切であることを確認し、可能な限り受け入れを行った。 ・地域支援に参加された方には、一時預かりの資料をお渡し、お知らせを行った。 	<p>一時預かりの受け入れ数 年間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4時間以内 25名 ・4時間超 33名
<p>(4) 発達段階による保育の質の向上を図っていく。 ①保育所保育指針の研修を定期的に実施し、保育所保育に携わる全ての人が、一人ひとりの子どもを主体として尊重するとともに、その最善の利益を考慮し、健やかに豊かな育ちを支えていくことができるよう保育現場に浸透をさせていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の事業計画の中に、乳幼児の発達の特徴をもとに、玩具遊びについての一覧表を掲載し、保育に活かせるようにしたが、十分ではなかった。 ・毎月実施するクラス会議において、月のねらい、保育計画等を通して、「子どもの主体性」について意見交換を行うようにした。また、子どもたちを待たせない保育の工夫を行い、各クラス担任全員が、保育を実施するようにした。 	
<p>(5) 保育の「見える化」に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の様子を毎月の園だより及びクラスだよりの発行、また10の姿の写真を掲示したり、玄関前のモニターにも子どもたちの様子を映し出し、保護者に発信した。 ・保育参観(6月と1月)においては、7日間の保育参観日を設け、1日10:00～11:30の間、3枠に分け、各家庭より1名の参観で行った。また参観時間は25分として1枠4名の参観で、集団の中で生活している子どもの姿をご覧いただき、育ちの様子を共有した。 	<p>事業報告Ⅱ (7. 園全体で行う行事)</p>

<p>(6) 保育における人権尊重について意識を高め、保育を提供する。</p> <p>①子どもを尊重する保育を心がけ、子どもの人権擁護について、意識を高め、自身の保育を振り返る。また、全職員を対象に人権研修を定期的に実施し、赤間保育園虐待防止宣言を朝礼時、職員会議終了後に必ず唱和をし、不適切な保育（声掛けや態度）とならないよう、自らを戒め保育を行う。</p> <p>②また、クラス内でのコミュニケーションを密に取り合い、虐待が発生しない職場作りに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修を、定期的に行い、子どもの人権擁護について考え、各クラス会議で人権に配慮した子どもへの関わり方について個人個人で振り返りを行った。 ・「赤間保育園虐待防止宣言」を月・水・金曜日の朝礼時や職員会議終了時に唱和し、職員全体で人権に対する意識を高めた。 ・虐待防止の取り組みにおいては、不適切な対応、声掛け等クラス内で気付いた場合は、職員間で声を掛け合うようにした。内容によっては、主任がカンファレンスを行った。さらに必要に応じて副園長が指導した。 ・配慮の必要な子どもたちへの対応では、そのクラスだけでは、他のクラスから応援に行くなど、園全体で取り組むようにした。 ・「不適切な保育について」の研修をグループワークの形で実施した。 	
<p>(7) 自己評価（職員）を年2回実施する。（保育関係・人権関係）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価アンケート（人権擁護等に関する自己点検及びその他についての自己点検）を、年1回2月に実施した。 	<p>2. 自己評価アンケート結果</p>
<p>(8) 保護者へのアンケートを行うことにより、課題を明確にし、改善に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の保護者アンケートは、1月に実施した。 	<p>3. 保護者アンケート結果</p>
<p>(9) ICTを活用し、仕事の効率化を目指し時間を有効に使う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度よりICTを取り入れ、登降園管理、記録、睡眠チェック、一斉配信等について実施した。 	
<p>(10) 災害発生時の迅速な支援体制を構築するため、毎月、緊急時訓練（避難・消火訓練、不審者訓練）、水害訓練、地震訓練について、その都度計画をたて、実施後には課題を明確にし、改善を行う。また、年に一度の宗像市地域一斉防災訓練には必ず参加し地域との関わりを深め、実践を通して防災の意識を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や活動の関係で日時が変更になることはあったが、毎月計画を立て実施した。実施後には、各担当で振り返りを行い、課題改善のために、リスクマネジメント会議や職員会議で全職員での共有を行った。 ・6月には、消防署の方に来ていただき、訓練の様子や消火器の使用方法等の指導を受けた。 ・9月の宗像市地域一斉防災訓練に5歳児・4歳児が参加をし、城川中学校の体育館に避難し、地域の方と共に防災について学びを深めた。 	<p>事業報告Ⅱ (10. 災害・緊急時訓練・リスクマネジメント)</p>
<p>(11) 令和7年度に2回目の第三者評価受審を目指し、1回目の受審時に指摘された課題の改善に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による保育園の評価アンケートを昨年に引き続き3月に実施した。 ・入園児説明会で、入園のしおりに基づき、相談・要望等は、全職員が相談可能であ 	<p>4. 職員による園評価アンケート結果</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ることを周知した。 ・入園のしおりに、卒園後も、相談できる窓口の設置について記載をし、入園児説明会では必ず説明を行った。 ・各クラス、伝達表に記載をし、日々のクラスミーティングの中で、職員間の共有を図った。 ・プライバシー保護に関する研修は、1月に実施した。 	
--	--	--

2. 財政の安定化を図り、保育環境の整備と、人材育成のための待遇改善に取り組む。

計画	実施状況	備考
<p>(1) 定員の充足に努める。 見学者や一時預かりについて、積極的に受け入れを行っていく。 地域支援等に関しても、コロナ以前の地域支援の在り方に可能な限り近づけて実施する。 地域社会に赤間保育園の理念に基づく保育の実践に対して理解を深めていただく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの園児数や職員配置を考慮しながら、可能な限り新入園児の受け入れを行った。 ・見学者は全て受け入れ、1～2家族でゆっくり丁寧に対応した。見学者には、保育園のパンフレットや手ぶら登園のパンフレットを配布した。 ・一時預かり保育も可能な限り積極的に受け入れを行った。 ・地域支援(ママとキッズのなかよしクラブ・おひさまランチ・南郷会館の派遣保育)等も、少人数ではあるが実施し、赤間保育園の保育や食育を伝えることができた。 	<p>5. 各年齢児単数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所希望者人数 94名 ・入所受入人数 36名 <p>6. 職員人数</p> <p>見学者数 年間80名</p> <p>7. 地域支援</p>
<p>(2) 人材育成のための待遇改善に努める</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 園内外での研修の機会をより提供できるよう職員配置に努める ② 有給休暇を取得しやすくする。 ③ 時間外労働をできるだけなくし、保育記録などについては、勤務内にてできるように職員配置をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の研修に出席した。 ・有給休暇は、本人の意向に沿って取得できるようにした。 ・勤務内で、配慮して記録等ができるよう努めた。 	<p>8. 研修報告</p> <p>有給取得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%取得 17名 ・50%以上100%未満取得 20名 <p>超過勤務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通残業 年 81.5 時間 ・休日残業 年 111 時間 <p>書類作業を勤務内に実施した時間数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全クラスで年 1150 時間 (月平均 96時間)

<p>(3)経費節減対策に努める。</p> <p>①光熱費については、子どもたちと職員とで、節減について保育の中で考えていく。</p> <p>②エアコンや床暖房の電源の入れ方などについて、職員に周知し、節約に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の中で、水の大切さを伝えた。 ・エアコンは30分ごとにタイマー設定を行い、床暖の電源は、一気に入れないよう配慮した。 ・令和5年度5月より、「ごみ収集」のごみの個数を減らしていくことを園全体で取り組んだ。 	<p>令和4年度は252個であったが、令和5年度は、184個に減少した。</p>
--	---	--

3. 働きがいのある職場環境を築き、福祉人材の確保・育成・定着に取り組む。

計画	実施状況	備考
<p>(1) 職員の確保について 実習生との丁寧な関係性（日々のカンファレンス等）を実施する中で、本園で働きたいと思っていただけるきめ細かい対応と保育者として働く喜び等を伝えて行き、採用に繋げられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生に対しては、毎日各クラス担任が、また最終日には主任がカンファレンスを行い、実習状況を確認した。 ・就職希望の見学者に対しては、丁寧に保育園の案内を行った。また、保育方針、チーム保育等についても話をを行った。 	<p>実習受け入れ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習 6名 ・給食実習 2名 ・体験実習 24名 ・看護実習 29名 ・体験実習（中学3年生） <p>*実習から就職にはつながらなかった</p> <p>就職希望見学者は就職につながった。</p>
<p>(2) 職員の育成について ①新任（1年目～3年目）へのカンファレンスを定期的に、主任・副主任が行い、悩みや喜びを聞く機会を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが若手職員にカンファレンスを行い、その内容をトップリーダー会議にて報告し、現在の状況を情報共有することで、リーダー全員で育成に努めた。 	<p>新任職員（1年目～3年目）延べ59人を7名の職員でカンファレンスを実施した。（新任職員の離職はなかった）</p>
<p>②園内公開保育を設定し、自身の保育の振り返りチームとしての保育を考えてみる機会を設け、日々の保育に活かしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月～12月で園内公開保育を行い、新任を始め若手の職員の保育やクラスでの連携などを振り返る場を設け、主任や他のクラスの職員からの意見や助言を基に今後の保育に活かせるようにした 	<p>園内公開保育冊子</p>
<p>③園内外の研修を受講する機会を設け、自身の保育の向上に努めていく機会を設け、一人ひとりの職員が主体的・協働的に専門性を向上させていくことのできる環境を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に出席した内容を、職員会議の場で発表し、復命書を職員室内で閲覧できるようにした。 	
<p>④職員の処遇の向上に向けてキャリアアップの充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員の処遇向上に向けて、キャリアアップ研修を11名受講した。 	

<p>⑤職員の定着については、働きやすい職場環境を作っていく。</p> <p>(ア) 職場の人間関係は、特に大事であると考え、年3回(当初・中間・最終)、園の目標及び個人の目標シートを作成し、それに基づき個人面談を行い、悩みや困りごと、要望等を聞き、園の改善に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇は希望に沿うようにした。 ・時間外労働にならないよう、できるだけ記録等は勤務時間内に交替で行うようにしている。 ・個人面談は、現在当初(5月～6月)・中間(10月～11月)・最終(2月)に実施した。 	
<p>⑥ワークライフバランスの充実に資するための柔軟な働き方を支援していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方(雇用形態・労働時間・勤務時間等)本人の意向に沿うようにした。 	

4. 地域社会に対する情報公開と説明責任を果たし、地域の子育てを支援するとともに、各種の公益事業に参加して、信頼関係の醸成に取り組む。

計画	実施状況	備考
<p>(1) 地域社会における子育ての悩みなどについて、保育士、看護師、栄養士、臨床心理士等による相談事業などを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おひさまランチやおやつを食べよう、ママとキッズのなかよしクラブ、ママのリフレッシュタイムなど様々な地域支援活動を行い、地域で子育てをしている方に参加して頂くことで、子育てに関する悩みなどを参加者同士が話す場を設けた。また、保育者や調理従事者もその場に関わり、相談でき環境を整えて実施した。 	
<p>(2) 地域の行事(赤間宿まつり・一斉清掃等)に参加し、地域社会との交流を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月と9月に陵殿寺地区と赤間地区の一斉清掃に参加した。 ・令和6年2月25日(日)赤間宿祭りに参加した。 	
<p>(3) 地域の方も参加できる音楽コンサートやお祭りなどを企画して、文化交流を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お月見コンサートを行い、地域の方々・職員・園児が時間を共にすることができた。また、園内に入って頂くことで、園を知っていただくことができた。 ・令和6年3月に「ぼかぼかコンサート」(地域の親子対象)を実施した。 	
<p>(4) 中学校生徒の体験学習の受け入れ、養成校以外の大学からの見学・実習の受け入れ等、また高齢者との交流を行い、次世代育成支援や世代間交流の充実に資する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの作成したカレンダー渡しを通して高齢者施設との交流を行った。 ・12月9日のお遊戯会を高齢者施設とZoomをつなぎ、オンライン配信で交流を行った。 	
<p>(5) 地域の民生委員・児童委員、主任児童委員の方々との交流を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お月見コンサートや運動会等に、地域の民生委員の方々をお招きし、園の雰囲気や様子を知らせて頂く機会を設けた。 	<p>民生児童委員の方々との意見交換の場を設定する予定であったが、実現できなかった。</p>

令和5年度「目標管理シート」に基づく
園長・副園長と職員との面談の実施

(1)目的

- ・ 目標管理シートをもとに面談を実施し、面談を通して目標の進捗状況の確認と園長・副園長と職員とのコミュニケーションを図る。
- ・ 園の年間目標に対する取り組みを明確にし、職務改善につなげる。

(2)方法

- ・ 目標管理シート「人権に配慮した子どもへの関わり方」「職員間のコミュニケーション力を高める」「自分自身の保育の質の向上」について一人ひとりが目標を設定し、それをもとに全職員に対して面談を実施。
- ・ 年3回(当初面談5月15日～6月12日、中間面談10月10日～11月16日、最終面談2月1日～2月28日)、一人20分～30分で実施。

(3)成果

- ・ 全職員が「人権に配慮した子どもへの関わり方」に取り組めたことで、適切な対応を常に意識することにつながった。また、「職員間のコミュニケーション力を高める」では、チーム保育として職員間の連携の重要性に対して認識を深めることができた。
- ・ 「保育の質の向上」に対しては、具体的な目標を掲げて積極的に取り組み、成果を上げる職員も見られた。特に新たな役職に就いた職員からは、意欲的に取り組もうとする姿を感じる事ができた。
- ・ 短い時間ではあったが、全職員と3回面談を実施したことで職員とのコミュニケーションを取ることができた。また、職員から様々な情報を得ることもでき、円滑な園経営を行う際の参考にもなった。特に、次年度の勤務については、新たな国の施策が打ち出されたことに関連して一人ひとりの意向を聞くことができた。次年度の園の体制づくりに参考となった。

(4)課題

- ・ 中間面談では行事の取り組みと重なった事、最終面談では感染症などの体調不良者が出た事で、面談日の変更を多くせざる負えなくなった。余裕ある日程を組むようにしていきたい。
- ・ チーム保育を実践する上では、職員同士の人権意識を高める必要がある。次年度は、人権意識についても面談で深めていきたい。

令和5年度 人権擁護等に関する自己点検について

2024年2月7日～2月21日実施

○目的

- ・ 人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止のための点検事項について自己点検を行うことで、人権尊重を意識した保育を振り返り、次年度への取り組みに生かす。

○ 実施方法

- ・記名式
- ・制限回答法+自由記述
- ・全31項目

○制限回答法

- ・5点:S=常にできる。充分理解した上で他者にも説明ができる。
- ・4点:A=ほぼできる。ほぼ理解できている。
- ・3点:B=半分程度できる。ある程度理解できている。
- ・2点:C=あまりできないが、他者の指示・指導・説明があればできる。
- ・1点:D=他者の指示・指導・説明のもとにできる。

○回収率100%

○ 考察

- ・ どの項目も平均4点以上となっていて、一人ひとりの職員が人権擁護についての意識を高くもって保育に取り組んでいると思われる。
- ・ その中で「子どもの要求に対して、速やかに対応できない時は、きちんと説明し理解を得るようにしている。(4.34)」「個々の子どもの成長に合わせた保育・配慮した支援を行っている。(4.24)」「子どもの自主性を尊重し安全を考慮した上で、見守る姿勢を持っている。(4.15)」が低い項目となっている。各クラスで、子どもの発達や発達段階に応じた関りについて共通理解を図り、保育に取り組む必要がある。

令和5年度 人権擁護等に関する自己点検チェックリスト

人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止のための点検事項

【アンケート調査の集計結果】

2024年3月9日(土)

*****<調査の実施概要と回答者の基本属性>*****

調査対象者：赤間保育園 職員 59名

調査実施期間：2024年2月7日(水)～2月21日(水)までの2週間

自己点検対象期間：令和5年度分(令和5年4月～令和6年3月)

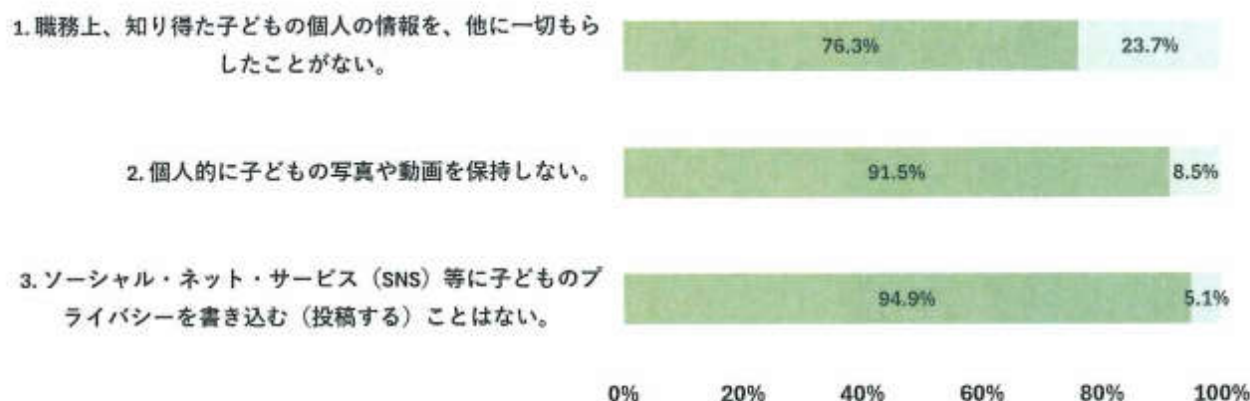
回収数(回収率)：59部(100%)

基本属性(職種)：〈順不同〉保育士42名(71.2%)、保育補助6名(10.2%)、栄養士5名(8.5%)、
管理栄養士1名(1.7%)、事務室4名(6.8%)および看護師1名(1.7%)

自由記述について：54名(91.5%)が記述。

備考：チェックリスト最後尾の自由記述欄「最後に、人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止に関して、令和5年度年間を通しての自己点検を行って頂きました。この点検を踏まえて、次年度(令和6年度)に向けて、改善したい、取り組みたいと考えるご自身の課題をお書き下さい。」に関しては、「人権自己点検【自由記述】」として、別添資料にまとめた。

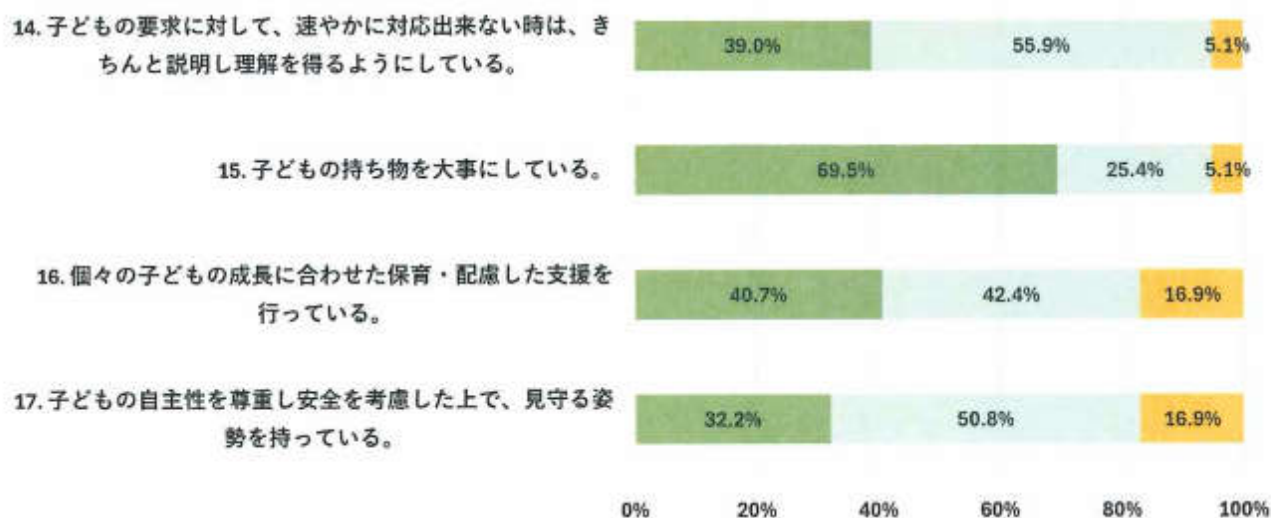
プライバシー



■ S: 常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる (できている)。

■ A: ほぼできる、ほぼ理解できる (できている)。

尊重

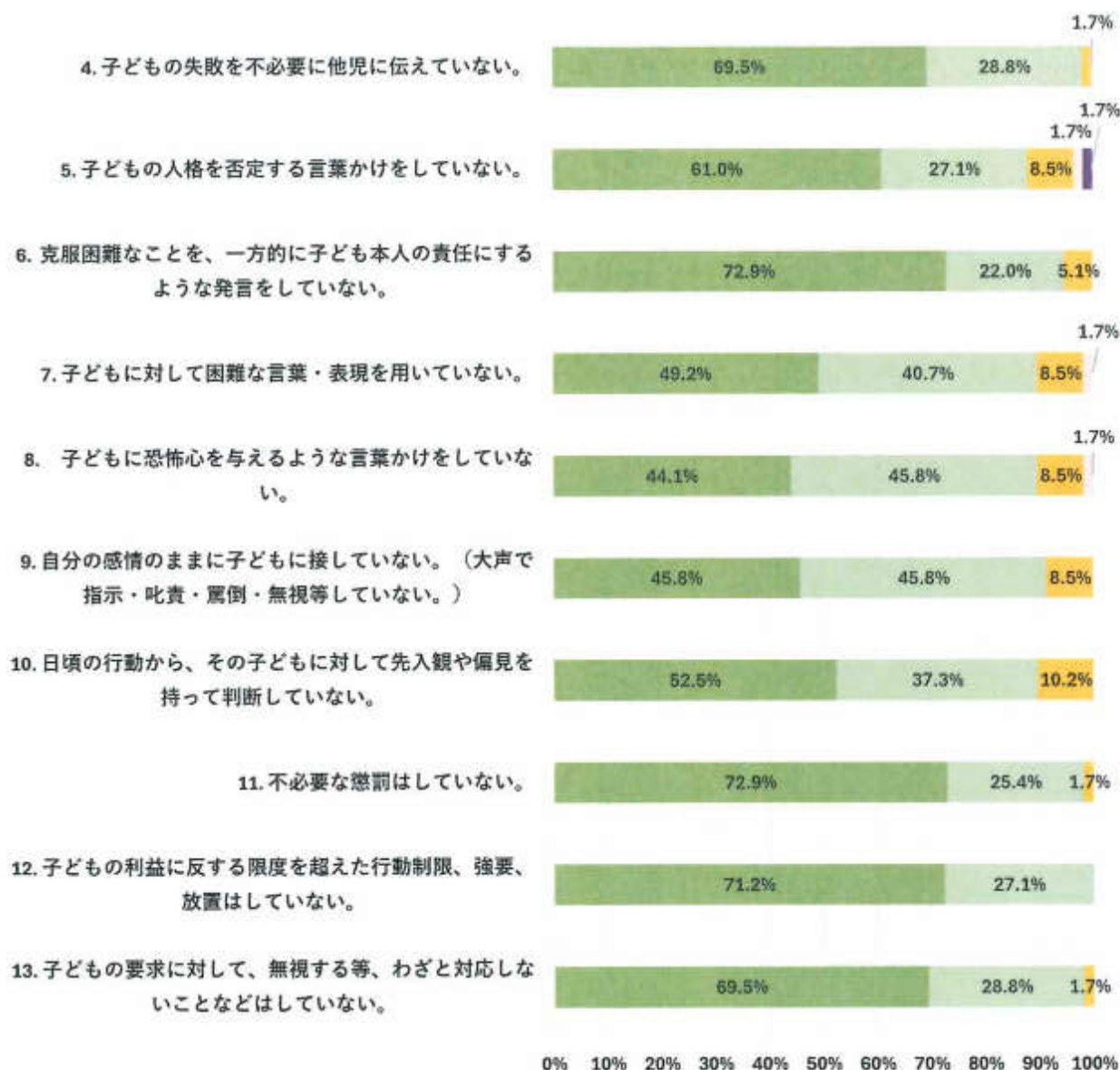


■ S: 常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる (できている)。

■ A: ほぼできる、ほぼ理解できる (できている)。

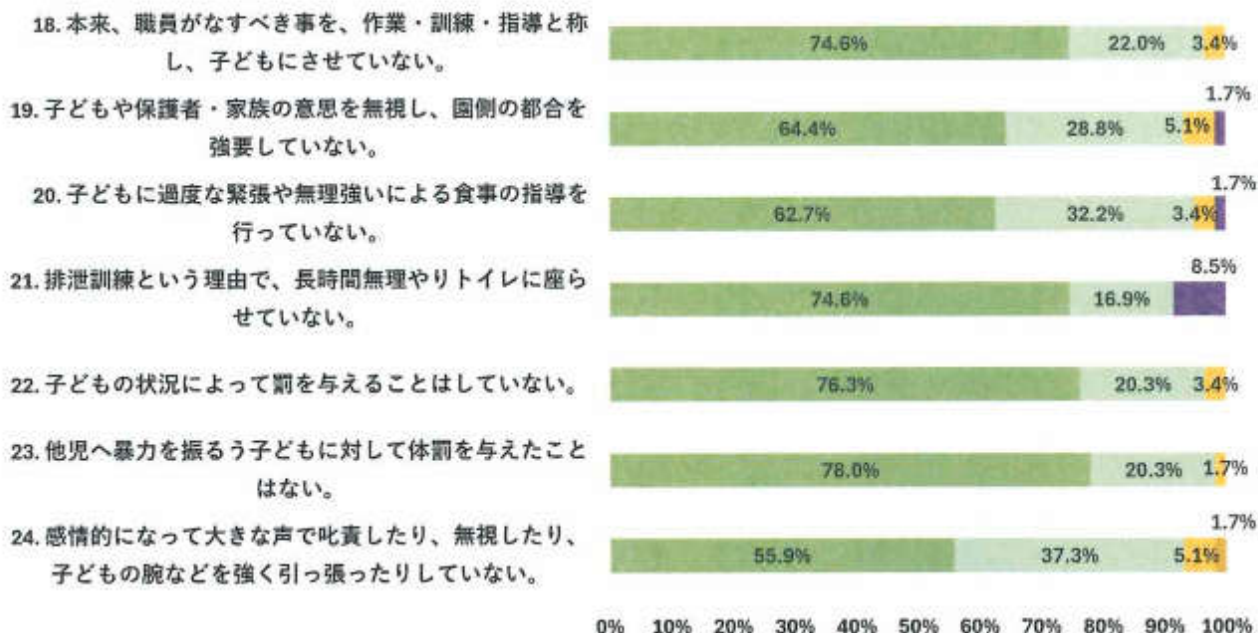
■ B: 半分程度できる、ある程度理解できる (できている)。

人 格 否 定



- S：常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる（できている）。
- A：ほぼできる、ほぼ理解できる（できている）。
- B：半分程度できる、ある程度理解できる（できている）。
- C：あまりできないが、他者の指示・指導・説明があればできる（できている）。
- E：無回答

強 要



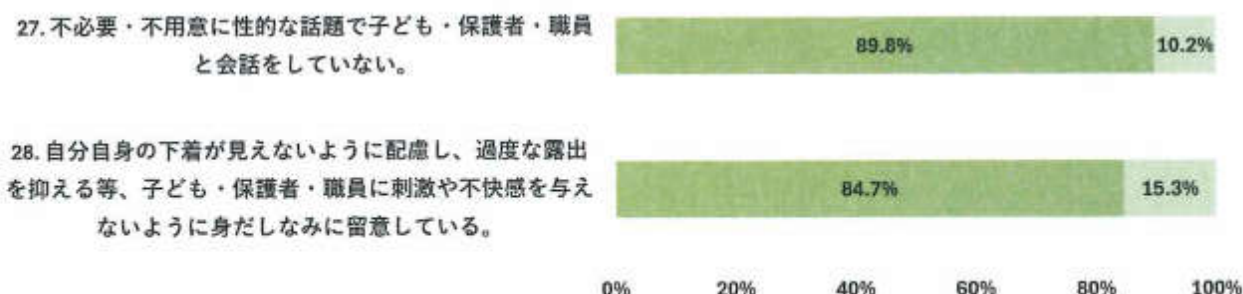
- S：常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる（できている）。
- A：ほぼできる、ほぼ理解できる（できている）。
- B：半分程度できる、ある程度理解できる（できている）。
- D：他者の指示・指導・説明のもとにできる（できている）。
- E：無回答

性的虐待防止：透明性の確保



- S：常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる（できている）。
- A：ほぼできる、ほぼ理解できる（できている）。

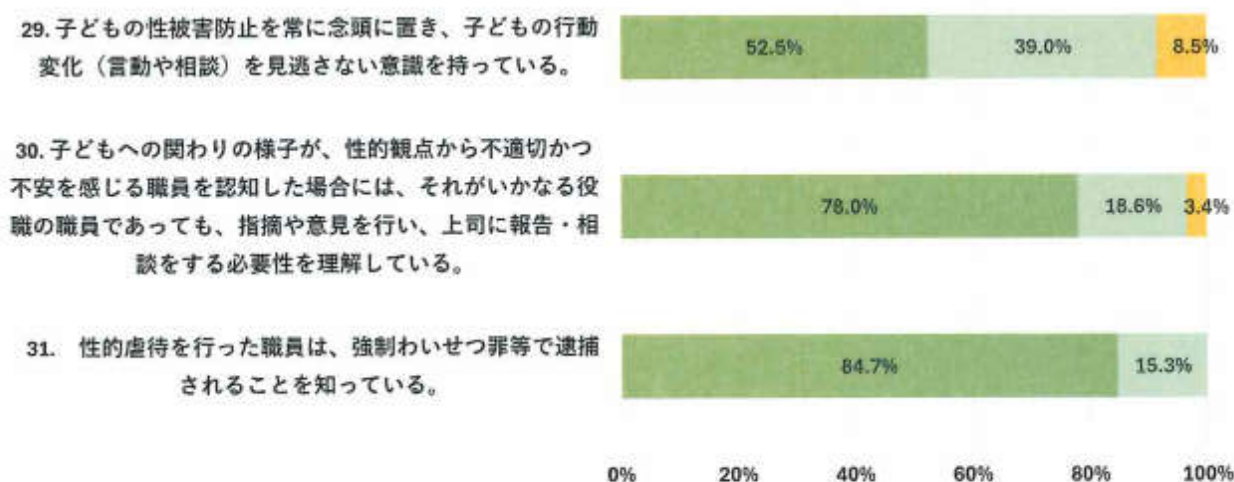
性的虐待防止：意識向上



■ S：常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる（できている）。

■ A：ほぼできる、ほぼ理解できる（できている）。

性的虐待防止：責務理解

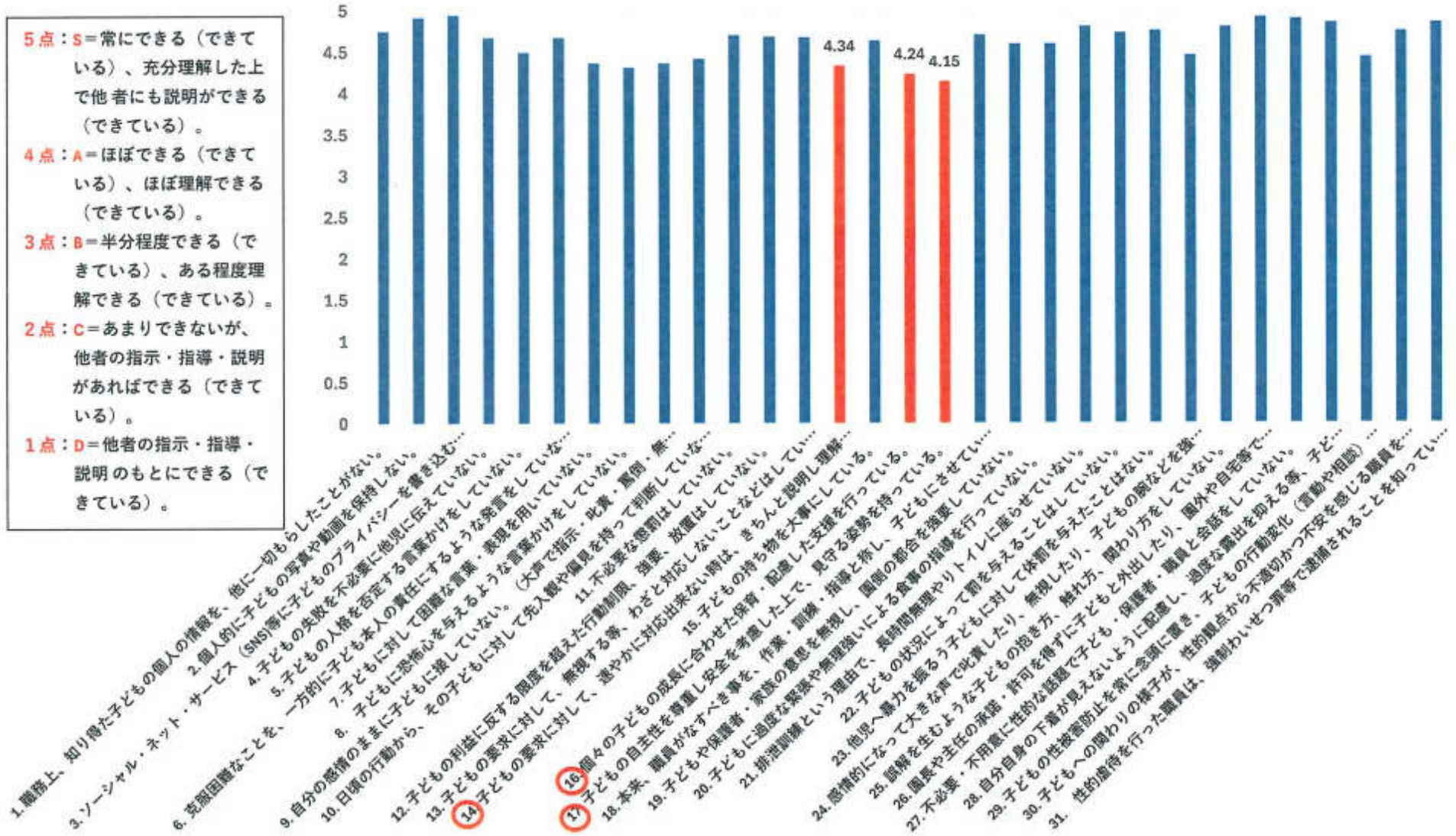


■ S：常にできる、充分理解したうえで他者にも説明ができる（できている）。

■ A：ほぼできる、ほぼ理解できる（できている）。

■ B：半分程度できる、ある程度理解できる（できている）。

【人権擁護・人権侵害の防止、及び性的虐待の防止のための点検事項 31 項目別平均点（5段階評価）】



(※平均点が低い項目から3つを赤で記した。)

赤間保育園 令和5年度 自己評価について

(職能別自己評価シート)

職能別自己評価シートの自己評価について

- 調査代行の株式会社ポラリス 調査事業部からの3種(保育室・給食室・事務室)の職能別の自己評価シート、及び結果を添付する。

園が作成した職能別(保育室・給食室・事務室)の自己評価を実施して4年目をむかえる。その目的は、自己評価を通して、職員一人ひとりが自身の置かれた立場における仕事内容を確認・点検し、現状を把握することで、成果や課題を明確にして業務にあたる事が出来るようにすることである。また自己評価することで振り返り、成果を認めて、課題をはっきりさせて臨む、といった流れを確立していく為でもある。その積み重ねが、保育をはじめ、給食、事務、それぞれの分野における質の向上に繋がり、そのことは結果として「子どもの最善の利益」に反映されることであり、同時にそのことは、利用者の満足度にも繋がっていくことを踏まえて実施している。

令和元年度の行政監査の折に、「職員の自己評価を公表すること」が、指摘事項としてあげられたことから、自己評価を集計して可視化できる方法として、調査代行業者の自己評価シートを採用し、集計結果を公表することにした。令和2年度は職能分野「保育室」のみの自己評価結果公表であったが、令和3年度は、「保育室」に加えて、「給食室」と「事務室」の、二つの職能分野の自己評価結果も公表することになった。令和4年度以降は令和3年度の形式を継続して実施している。

尚、自己評価基準は以下のとおり。

- | |
|--------------|
| A:他の職員に指導できる |
| B:自らの力でできる |
| C:指示されればできる |
| D:まだできていない |

(1) 「保育室」自己評価結果について

B 評価を下回っていた項目は以下の4つであった。

- 8. 「子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる」
- 11. 「遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる」
- 12. 「気になる子どもの保育、障がい児保育等について理解し、実践できる」
- 14. 「保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し実行できる」
- 15. 「指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実行できる」

上記4つの中で、大幅にB評価を下回っていた項目は、14.と15.であった。相対的に低い評価になっている理由として、何れも、主担任をはじめとする特定の職員だけが関わっているという実態があげられる。

14.の保護者に対しては、月に1回開催しているクラス会議や、午睡の時間を利用して実施している日々のクラスミーティングで、クラス担任全員（休んでいた職員は、伝達表やクラスノートを読んで情報を共有する）が、保護者が抱えている問題を理解し適切な支援の中身等について、共通認識の下に素早い対応を行うようしていくことが、評価を上げていく一つの策と考えられる。もう一つは、4年度から設けられた職務分掌の一つである地域支援部会の活動内容を、部員が各クラスに情報発信していく取り組みを通して、職員が、園が提供している地域の保護者支援の中身を理解しより身近に感じていくことに力を入れていく。（職務分掌令和5年度各部の取り組み報告を参照）

15.の保育計画作成や計画的な保育実行に関しては、実際、主担任をはじめとする限られた職員が作成している現状である。全体計画を踏まえて各クラスの年間計画があり、それを基に作成される月案、そしてその月案を基におりてくる週案があるが、その月案や週案を計画する時に、クラス担任間で話し合いながら計画することが重要である。クラス会議では、年間計画の流れである保育内容であることを確認して、月案を周知し、毎日のクラスミーティングでは週案を基に、日々の保育の段取りや準備等を確認しながら周知をはかり、計画的な保育を実践していくことの意識を高めていく。

(2) 「給食室」の自己評価結果について

B 評価を下回っていた項目は以下の2つであった。

8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる
9. 食育に関する環境整備ができる

特に、9.に関しては C 評価を下回っていた。9.の小項目の内訳は以下である。

- 「植物に触れる機会を設け、命の尊さや大切さに気付かせる環境が準備できる」
- 「園外（散歩からクッキングに繋ぐ等）に出掛ける環境を沢山準備できる」
- 「身近な野菜に興味関心が持てるように、自ら率先して環境を準備出来る」
- 「畑作り等、子どもの為の環境下準備を同僚間で話し合い、協力してできる」
- 「畑作り等、子どもの見えないところで環境を継続的に維持する努力ができる」
- 「畑作り等、子どもたちと一緒に継続的に世話ができる」

いずれの項目も、「指示されれば出来る」、あるいは「まだできていない」、の評価が大半であった。

保育の中では、芋畑をつくり、苗を植え、芋苗の世話をし収穫する、収穫した芋を給食で提供する、といった一連の活動や、夏野菜づくりで、自ら育て収穫した野菜をクッキングする、といった活動も取り入れられていることから、保育室と給食室とが連携し、協同していく工夫をすることで、食育に関する環境整備がさらに図られていくことが考えられる。

その試みの一つとして、立ち上がって3年目を迎える職務分掌の部会の一つである食育部会があげられる。令和5年度の取り組みの成果と課題を踏まえて、保育室と給食室との連携を一層深めていくことを目指す。（職務分掌令和5年度各部の取り組み報告を参照）

(3) 「事務室」の自己評価結果

9.「総務関係の業務を正しく理解し遂行できている」が、大きく B 評価を下回っている。9. 項目の質問内容は、職員の入退社に関する手続き及び経歴書の変更、官公庁への提出・申請・報告に関する業務、リース・保守等の各種契約内容の把握等、その業務に携わる職員が限られていることも B 評価を下回る原因の一つと言える。他の項目については、8.「経理関係の業務を正しく遂行することができる」が、わずかに B 評価を下回っていたが、他の項目では全て B 評価を上回った。

以 上

令和5年度 保育研修部の取り組みの成果と課題

【取り組み内容】

- *園内における研修の進行役
(わらべうた研修・絵本研修・腰痛研修)
- *園内公開保育における協議会の司会および記録
- *職員会議後の研修における内容検討および実演披露

【成果】

- ・職員会議後の研修は、交代で自分の得意な内容を準備し他の先生方と共有することで、保育の幅が広がった。毎月一人で行っていたが、複数で行った方が心強かった。全体の場で行うということでは、保育士だけでなく職種が違っても、みんなでコミュニケーションを深める良い時間になった。
- ・園内公開保育は、リーダーとなった保育士やサポートに入った保育者の保育の進め方や連携の取り方などを丁寧に振り返り、保育の質の向上につながった。

【課題】

- ・「わらべうた」の研修は、直後には行いが持続しないため、定期的に職員同上で復習を行い、一年を通して遊べるようにしたい。
- ・園内公開保育で担当した職員の振り返りはできたが、クラス全体での共有につながりにくいため、保育の進め方や職員間の連携について全体で話し合う場があるといいのではないかと。

【次年度に向けて】

- ・公開保育の在り方について検討する。
- ・「第九」の研修を行う。(スケジュールを作成する)
- ・「わらべうた」を定期的に自主研修で行う。

行事部 令和5年度の取り組みの成果と課題

【取り組み内容】

- ・ 各行事の際に主になって準備等を行う。
- ・ 季節の行事、誕生会の役割決めをする。

【成果】

- ・ 季節の行事について（節分やひな祭り）ねらいを立てることができた。
- ・ フレンドリーや遊戯会のバックの絵をまとめて、来年度クラスで選ぶ時に見やすくした。誰もが見て分かるように、というところに着目して整理し、アイデアを出せた。
- ・ 運動会前には毎日園庭の整備をすることができ、いつでも園庭で練習できる環境づくりを行った。
- ・ 共同制作をイラスト案から取り組んだ。今までにない技法や素材も使って作り上げた。
- ・ 今年度、気が付いた課題点について話し合った。（例えば、季節の行事についてのねらいが無かった、などについて。）
- ・ 行事に対して、こうしたらどうだろうか？ということも話し合うことができた。

【課題】

- ・ 行事部として決まったことの間確認（各クラスの状況など）が不十分だったことがあった為、細かい状況確認をお互い声を出してできたらよかった。
- ・ 役割分担を決めたら、その先生に任せきりになることがあった為、もっと全体での情報を細かに共有して、全員で動けたら良かった。
- ・ 計画立てて進めていても、遅くなってしまうことがあった。任せきりではなく、自分から動けたらよかった。

【次年度に向けて】

- ・ 企画書を立てることができていなかった為、行事部の中でも分担して企画にもっと携われるようにしなければいけないな、と思った。
- ・ 季節の行事について、ねらいをそれぞれ立てていくことを後半で気付いた。4月からの季節の行事についても再検討した方がいいかもしれない。
- ・ 誕生会の企画の反省を毎月打ちこんでもらえるようにする。

人権部会 令和5年度の取り組みの成果と課題

①取り組み内容

- ・人権に関する課題を出し合う。
- ・4歳児クラスと5歳児クラスで、全職員による絵本の読み聞かせを行う。

②成果

- ・全職員での本の読み聞かせは、いろいろのクラスに入って読むことができたので良かった。
- ・普段入ることのないクラスに入って絵本を読むことができて良かった。
- ・5歳児は、絵本の読み聞かせの後に感想を聞くことができて良かった。
- ・“除去の子”という言葉についてみんなで考え、良い方向に変わったので良かった。
- ・職員の絵本の読み聞かせは、子どもたちは集中して聞くことができていて良かった。

③課題

- ・全職員での絵本の読み聞かせを早い段階で行ったほうが良かった。
- ・いろいろなクラスでの絵本の読み聞かせを増やしていきたい。
- ・人権保育を普通の保育に意識して取り入れていきたい。
- ・園全体の人権課題を集約し、全体に提起していきたい。

④次年度に取り組みたいこと

- ・人権に関する各クラスの様子を収集して事例検証を部会で行う。
- ・人権保育を記載した新聞づくり
- ・人権保育をビデオに撮って人権部での話し合い

安全部会：令和5年度の取り組みの成果と課題

① 取り組み内容

- ・各訓練の企画と怪我集計を担当し、リスクマネジメント会議で提案する。
- ・各訓練の成果と課題を明らかにし、改善につなげる。

② 成果

- ・各訓練後、前月の課題を企画書に赤字で記載して、改善点を明確にすることができた。
- ・リスクマネジメントの議題を作成する際、月毎に出た評価・反省を記載する事で、改善につなげることができた。

③ 課題

- ・毎年同じ訓練を行っているが、改善されたと思ったら、月が替わるとできなくなってしまい、同じ課題がよくあがっていた。それぞれが訓練のやり方を十分理解していない為に、同じ課題があがっていると考える。
- ・安全部として発信する事が今後も必要。
- ・怪我の対応と同じくらい、訓練に関しても各自の意識レベルをあげる必要がある。
- ・重要書類の場所や AED、エピペンの保管場所が周知徹底できておらず、分からないと答える職員がいた為、4月に一度、何グループかに分けて①非常ベル②消火器③重要書類④AED⑤エピペンの場所の確認会を設けるように次年度の引継ぎとする。また、途中から新しく職員が入った場合は、安全部から①～⑤の場所の確認会を設けるようにしていく。(年間安全計画には、4月に入っている。)

④ その他

保育室の安全面について

- ・棚の整理整頓ができていなかった。
 - 常時使用したり、置いておきたい物(絵本等)は、固定するか、落下しないよう対策したい。絵本は破損状況も見ながら、修理をしたり、定期的に入れ替え、増えすぎないようにしたい。
- ・ドアの鍵が子どもの力で開いてしまう。
 - 一度か調整してもらったが、開いてしまう。防犯、子どもの抜け出し防止の為に、内側に鍵をつけた方がよいのか検討して欲しい。
 - 各ドアを子どもが勢いよく閉めてしまう場面があるので、ゆっくり閉まるタイプのドアにはなっているが、指を挟まないようクッションを付ける等、対策したい。
- ・子どもの爪の点検・切り方について
 - ・毎週月曜日に、爪チェックを行うが、週末に向かうにつれて伸びてしまい、怪我に繋がる様子が見られた。月曜日だけでなく、毎日チェックを行い、必ず保護者に伝達することを意識する。また、切り方が不十分なお子さんもいる為、その都度声掛けや爪の正しい切り方についての用紙を保護者にお渡しし、怪我を未然に防いでいく。

食育部 令和5年度 取り組みの成果と課題

1.取り組みについて

- ・そら豆、スナップエンドウすじ取り、とうもろこしの皮むき
- ・4歳児、5歳児の夏野菜の栽培と収穫
- ・さつま芋の苗植えと収穫
- ・わくわくキャンプの野菜の切り込み、飯盒炊飯
- ・2歳児、3歳児、4歳児、5歳児のクッキー作り
- ・4歳児の味噌汁作り
- ・梅干しを漬ける
- ・震災の日の食育
- ・3歳児の豆苗の栽培観察

2.成果

- ・すじ取りや皮むき、豆苗の栽培観察で野菜に触れる機会をもうけることが出来た。
- ・夏野菜の栽培と収穫は、土作り、苗植え、水やり、収穫までの流れを子どもたちが体験することが出来、収穫した野菜も給食で提供することが出来た。
- ・ほとんどのクラスでクッキングを行うことが出来た。工程をクラス担任と話すことで、クラスに合った流れで、作るから食べるまでを体験することが出来た。
- ・味噌汁作りでは、前年度に仕込んだ味噌を使い、調理をし、食べるまで流れを行うことが出来た。手でちぎる、ジュースパックの包丁を使い切れる食材を選び、子どもたち全員が携われるよう工夫した。また、だしの試飲も一緒に行うことが出来、子どもたちは興味津々に匂いを嗅ぐ、味をみる、答え合わせをクイズ形式にし、楽しむことが出来た。
- ・数年できななかった、クッキングを子どもたちと、先生と楽しく行えたことは、食に興味を持つよいまっかけになり、とても良かったと思う。

3.課題

- ・どの取り組みにしても、話し合いから開始まで時間がかかり、クッキングは12月から3月と短い期間になり、スケジュールを組むのが大変になった。衛生面も考慮しながら、早い時期から取り組んでいきたい。野菜の栽培も同様。
- ・クッキングでは、名簿と実際にいる子どもの把握が出来ておらず、抜けがあった。打ち合わせも、主担任としか出来ておらず、クラス担任全員へ伝わっていなかった。それぞれ名簿を持ち、要所、要所で確認を行うようにし、抜けがないようにする。打ち合わせも、クラス担任、給食室、食育部と参加し、流れを把握する。

衛生部会 令和5年度の取り組みの成果と課題

① 取り組み内容

1. 毎週月曜日のバシラミチェック
2. 園内の感染状況を把握、周知
3. 熱中症指数、紫外線指数把握、周知
4. 毎月1回の身体計測
5. 園児健康診断
6. 園児歯科検診
7. 尿検査
8. ぎょう虫検査
9. 布団クリーニング
10. 次亜塩素酸ソーダを作る
11. 保健衛生に関する研修、指導

② 成果

1. 朝礼で呼びかけた。クラスでチェックをし、爪が伸びている子は爪切りを伝え、翌日も確認した。
シラミチェックでしらみを確認した。
2. 感染症の罹患数を玄関と職員室のホワイトボードに記入し、保護者と職員に感染症を知らせた。
3. 朝礼で確認した。
4. 朝礼時、呼びかけた。
5. 4月と11月に全園児健康診断を行なった。細菌19名。
6. 6月と10月に全園児歯科検診を行なった。細菌28名。
7. 5月と10月に尿検査を行なった。要検査2名。
8. 5月に行った。全園児陰性。
9. 年5回5月、6月、11月、1月、2月に行なった。
10. 使用後のボトルに補充を行なった。
11. 手洗い指導・2歳6月、3歳6月、4歳5月、5歳7月、1月に行う。
嘔吐処理研修・職員対象、6月に行う。
救急救命法講習・講師の先生による講習会。

③ 課題

- ・手洗い指導で、子供たちの理解が得られ意識が高まったので、早くから指導を行い、他にも衛生の保健保育を考え、衛生について知る機会を作る。
- ・次亜塩素酸ソーダの補充ができていないことがあったため、担当を決め、表などでわかりやすくするとよかった。
- ・嘔吐処理研修を1回しか行っていないため、参加者が32名だった。繰り返し講習を行い、全職員が参加し、処理できるようにする。

管理部会 令和5年度の取り組みの成果と課題

① 取り組み内容

1. 給食用備品…前年度は使いすぎていたため、今年度は発注を控えました。
2. 事務用備品…金額のリサーチを発注ごとに行い最安値の所に発注しました。
3. 保育用備品…月に一度朝礼簿で各クラスの必要な保育材料を確認
色画用紙、折り紙等の在庫確認
行事ごとの各クラスの必要な用品の確認
4. 図書関係…3階絵本コーナーの絵本を書名・著者名・訳者・出版社・対象年齢・作名をデータ入力
入力データを基に著者別・件名別に毎月絵本の展示を行った。
8月から毎月テーマを決めて絵本の貸し出しを行った。
5. 保健・衛生備品…保健・衛生用備品の管理を看護師と一緒にやった。
備品の確認を行い、季節によって使用するもの（虫除けスプレー等）の使用期限の確認等を行った。
6. 営繕・修繕関係…草刈りの回収を他の職員に手伝ってもらった。
修繕を行う時の各保育室の空き時間の確認（作業を安全に行うため）
7. 園内見回り関係…週1回副園長との衛生パトロールを通して、園内外の整理・整頓・清掃・清潔を中心に注意喚起を行ってきました。
8. 草刈り関係…職員をグループに分けて一人5分程度で草集め、草刈りをしていただくよう掲示や朝礼簿でお知らせをして、行っていただいた。
年明けは作業をされた場所を報告していただいた。

② 成果

1. 給食用備品…発注の際には金額の比較を徹底的に行いました。
2. 事務用備品…金額のリサーチを発注ごとに行い最安値の所に発注することができました。
3. 保育用備品…保育材料の確認の期間を決めることにより、今まではその都度発注していたものがまとめて発注することができるようになった。
4. 図書関係…絵本の貸し出しを行うことにより保育士が薦める絵本を紹介できました。
8月「平和について」展示冊数26冊 貸出冊数不明
9月「谷川俊太郎」展示冊数21冊 貸出冊数不明
10月「かがく絵本」展示冊数43冊 貸出冊数不明
11月「人権について」展示冊数36冊 貸出冊数36冊
12月「クリスマスと贈り物」展示冊数32冊 貸出冊数52冊
1月「わかしばなし絵本」展示冊数35冊 貸出冊数56冊
5. 保健・衛生備品…定期的に消耗品など無くなるように確認を行ってきたため、在庫が切れることなく準備することができた。
6. 営繕・修繕関係…草集めをしていただいたおかげで早期に次の場所の草刈りを行うことができた。
修繕を行う時の各保育室の空き時間の確認を行ったので、安全に室内作業ができ、効率が上がった。
7. 園内見回り関係…園外側の側溝の清掃（落ち葉、泥上げ等）園に隣接する家からの木、竹等の処理の依頼を副園長経由で自治会長の相談して頂き処理した。
8. 草刈り関係…指定期間内にほとんどの職員が草集めに協力して下さった。

草集めと草刈りを年明けは作業をされた場所を報告して下さった。

課題

1. 給食用備品…必要性を重視して慎重に発注をしようと思います。
2. 事務用備品…金額に敏感になり少しでも安価な物品を探せるようにします。
3. 保育用備品…納品後の物品の整理整頓をしっかり行いたい。
4. 図書関係…展示のタイトルの表現が子どもには難しかった。絵本の対象年齢がほとんど3歳以上であった。来年度は対象年齢を3歳未満児まで広げ、子ども目線での展示を心掛ける。
5. 保健・衛生備品…特になし
6. 営繕・修繕関係…長い間草の回収がされないときがあった。
保育室の入室可能な時間をお知らせいただけないときがあった。
7. 園内見回り関係…整理・整頓・清掃の習慣を永く続けていくこと。
8. 草刈り関係…5分程度の草集めと草刈りに協力いただけない方がいる。

地域支援部会 令和5年度の取り組みの成果と課題

① 取り組み内容

申業報告Ⅰ 地域支援参照

② 成果

- ・カレンダーのラッピングは、部会全員で行ったため、期日より早く出来上がることができた。
- ・役割分担をしたことで、特定の個人に負担が集中することなく活動に取り組むことができた。
- ・派遣保育では、ボランティアの方と一緒に楽しい保育を行うことができた。

③ 課題

- ・計画は早くできていたが、準備が当月になることが多かった。次年度は、担当を明確にし当日慌てて行うことのないようにする。
- ・地域支援を進める上で、保護者が参加しやすい雰囲気づくりを心がける必要がある。
- ・育児相談（保育士・栄養士・看護師）を行い、育児不安の解消を行う。
- ・年度初め（4月と5月）のポスターは前年度の担当で作成する。

日 程	活動内容	担当人数	託児担当人数
9月22日（金） カレンダー完成日	勤労感謝慰問手作りカレンダー綴じ・ラッピング	9名	無し
11月29日（木）	ママのリフレッシュタイム（クリスマスリース作り）	2名	3名
2月 8日（木）	ママのリフレッシュタイム（ワラワアレンジメント作り）	2名	3名
5月17日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（園開放）	5名	無し
6月28日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（魚つりごっこ）	5名	無し
7月26日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（おまつりごっこ）	5名	無し
8月30日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（感触遊び）	4名	無し
9月20日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（クラス参観）	7名	無し
10月18日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（運動会ごっこ）	5名	無し
12月20日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（クリスマス会）	5名	無し
1月10日（水）	ママとキッズのなかよしクラブ（お正月遊び）	4名	無し
6月 7日（水）	おひさまランチ（給食メニュー）	2名	無し
7月 7日（金）	たなばたランチ	2名	無し
9月 6日（水）	おひさまランチ（給食メニュー）	2名	無し
10月31日（火）	ハロウィンランチ	2名	無し
8月 3日（木）	おやつをたべよう	2名	無し
11月 7日（火）		2名	無し
6月14日（水）	派遣保育 （南郷会館親子教室）	4名	無し
10月11日（水）		4名	無し
1月10日（水）		4名	無し
	一時預かり保育	9名	無し

令和5年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

職員区分 保育教諭

参加人数 41名

評価 A～Dの4段階

A:他の職員に指導できる

B:自らの力のできる

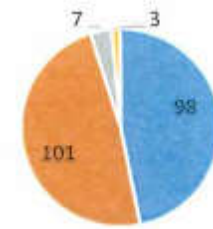
C:指示されればできる

D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

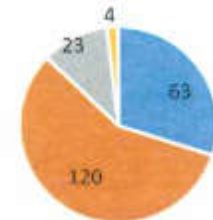
A	B	C	D
24	17	1	0
18	23	1	0
15	23	3	1
23	17	1	1
18	21	1	1
98	101	7	3



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

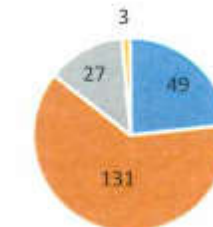
A	B	C	D
7	29	5	1
12	22	6	2
21	19	2	0
14	26	2	0
9	24	8	1
63	120	23	4



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

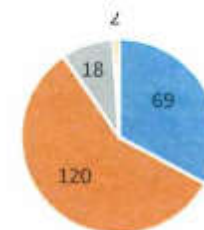
A	B	C	D
3	28	10	1
7	25	9	1
17	24	1	0
9	28	4	1
13	26	3	0
49	131	27	3



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の变化に気付くことができるか
3. ありがたの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

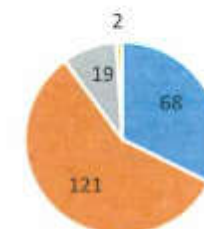
A	B	C	D
19	21	2	0
6	31	3	2
24	18	0	0
10	26	6	0
10	24	7	0
69	120	18	2



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事があまくいかないとき、人のせいせず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

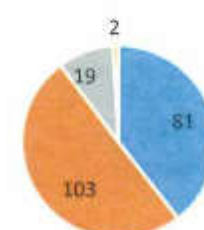
A	B	C	D
13	23	4	2
17	23	2	0
12	26	4	0
17	21	4	0
9	28	5	0
68	121	19	2



6. 子どもに対し、基本的生活習慣の習得のための適切な支援ができる

1. 排泄のメカニズムや発達について理解しているか
2. 心地よく着脱できるように適切に介助できているか
3. 発達に合った生活リズムを理解しているか
4. 年齢や個々に応じた関わりで、生活習慣の自立への過程を理解し、関わっているか
5. 落ち着いた雰囲気を保ち、子どもが自分からしようとする気持ちを尊重し、進んで行えるよう理解しやすい言づかい(言葉掛け)や援助ができていくか

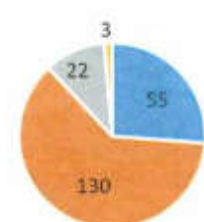
A	B	C	D
19	19	2	1
17	21	3	0
19	21	1	0
13	22	6	0
13	20	7	1
81	103	19	2



7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる

1. 子ども一人ひとりとコミュニケーションを取っているか
2. 子どもの個性を認めて関わっているか
3. 子どもから出るサインを見逃していないか
4. 一人ひとりの家庭環境や、心身の状況に配慮した関わりができていくか
5. 一人ひとりの子どもの声に常に耳を傾け、思いを十分に受け入れているか

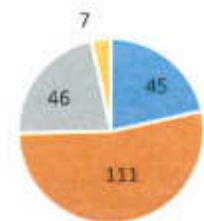
A	B	C	D
14	26	2	0
16	24	1	1
5	28	8	1
9	24	8	1
11	28	3	0
55	130	22	3



8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる

1. 発達を見極め、年齢や興味にあった活動を取り入れているか
2. 五感に刺激を与えるような環境をつくっているか
3. 言葉の発達に応じた声掛けができていくか
4. おおむねの年齢に合わせた成長段階を理解しているか
5. 子どもの年齢に合った運動能力を把握し、保育に活かしているか

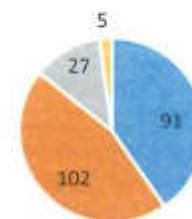
A	B	C	D
9	21	10	2
3	20	16	3
12	24	6	0
14	22	5	1
7	24	9	1
45	111	46	7



9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる

1. 朝の視診を行いながら子どもに合わせた対応をし、保護者を安心させて送り出すことができているか
2. 子どもの様子に異常が見られたときは先輩や看護師に相談するなど適切な処置ができているか
3. 健康診断の結果を子どもに関係する他の職員と共有しているか
4. 一人ひとりの子どもの発育状態やアレルギーの有無などを把握しているか
5. SIDSについて理解し正しくチェックできているか

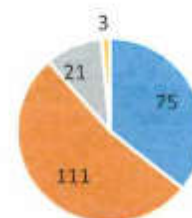
A	B	C	D
13	22	5	2
20	20	2	0
20	20	10	1
21	21	5	1
17	19	5	1
91	102	27	5



10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる

1. 正しい手順を踏んで手洗いをしているか
2. 感染症というものを理解し、仕事に反映しているか
3. 病気やケガが発生したとき、適切な判断及び処置ができているか
4. 子どもになぜ手洗いがいいが必要なのかを伝えているか
5. 子どもの具合が悪いとき、保護者に症状を伝え、適切な対応がとれているか

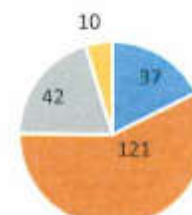
A	B	C	D
18	23	1	0
13	25	4	0
15	22	5	0
15	20	5	2
14	21	6	1
75	111	21	3



11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる

1. 園舎内外に危険な物や不審な点がないかの確認を1日1回は行えているか
2. 年齢別発達特徴を捉え、安全な環境設定ができているか
3. ケガにつながった状況を把握し、再び起こらないよう改善策をとっているか
4. 玩具・用具などの破損や修理は、適切に処理されているか
5. "ヒヤリ・ハット事例書"などを活用し、常に問題意識をもち、事故防止のための環境改善に努めているか

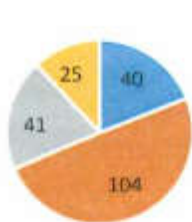
A	B	C	D
4	18	15	5
6	27	8	1
10	26	6	0
8	24	7	3
9	26	6	1
37	121	42	10



12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる

1. 気になる子どもと周囲の子どもが、互いの良さを感じ取られるように心を配っているか
2. 気になる子の保護者と話し合う場などを日常的に設け、保護者への支援を心掛けているか
3. 書物を読んだり、研修会に参加したり、先輩に相談するなど積極的に学ぼうと努めているか
4. 身体的虐待や不適切な養育の発見に努めているか
5. 職員間の共通理解のもと、適切に援助ができているか

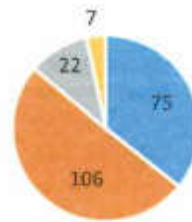
A	B	C	D
9	23	7	3
4	15	10	13
4	19	12	7
12	24	5	1
11	23	7	1
40	104	41	25



13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる

1. 伝達は、専門用語を使わず分かりやすい言葉を使っているか
2. どの保護者にも笑顔で敬語を使って話し、平等に接しているか
3. 成長に対する喜びや期待を高められるように、今の子どもの姿を具体的に保護者に伝えているか
4. 保護者の気持ちを素直に受けとめているか
5. プライバシーに配慮した対応ができているか

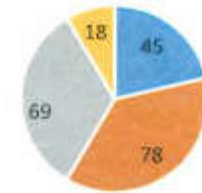
A	B	C	D
13	23	5	1
17	21	3	1
14	20	6	2
15	21	4	2
16	21	4	1
75	106	22	7



14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものを把握し、実行できる

1. 家庭や育児の状況や問題点などを理解しながら対応できているか
2. 情報を提供するなどして、個別指導できているか
3. 子育て支援について理解しているか
4. 支援の取り組みについて、園内、地域の人に働き掛けをしているか
5. 子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか

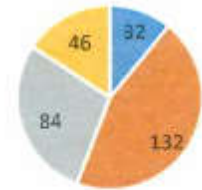
A	B	C	D
10	17	12	3
8	12	17	5
9	21	11	1
7	8	20	7
11	20	9	2
45	78	69	18



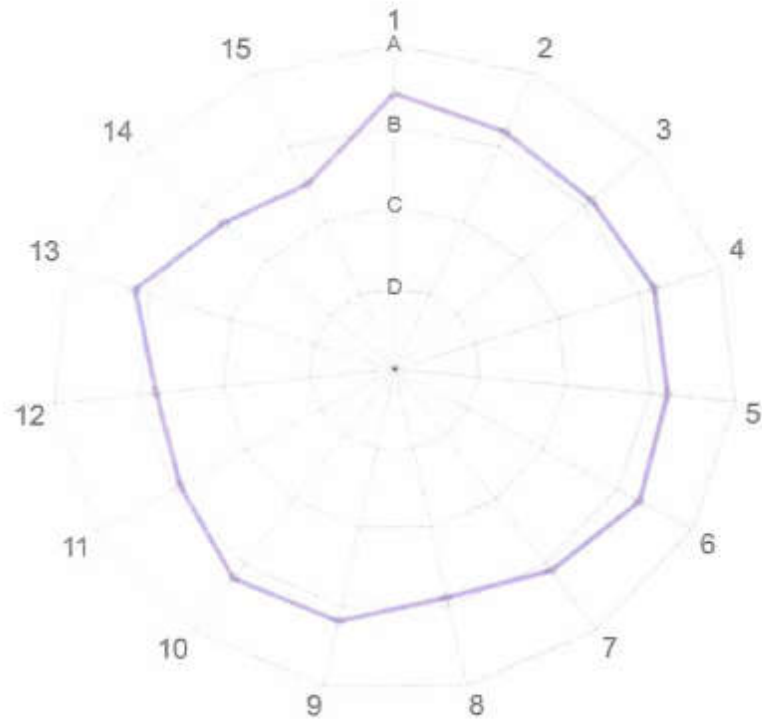
15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

1. 見通しをもって保育に取り組み、必要な教材などをねらいに応じて考えたり、事前に準備できているか
2. 年齢別保育、異年齢保育の中で育つもの、大切にしたいことなどを理解し、保育できているか
3. 子どもの姿、興味・関心に基づいて計画を立て、見直し、次の計画に活かすことができているか
4. 自分の担当年齢だけではなく、園に在籍する間の発達過程を考慮し、保育にあたることができているか
5. 保育課程・教育課程に基づいて各種書類の作成ができているか
6. 指導計画は保育課程・教育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通し、保護者の意向が反映されるべきであることを理解しているか
7. 保育の計画や保育の記録を通して日々、自らの保育実践を振り返り、自己評価しているか

A	B	C	D
5	19	13	5
5	23	11	3
5	17	12	8
4	18	13	7
4	10	15	13
5	21	10	6
4	24	10	4
32	132	84	46



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 子どもに対し、基本的生活習慣の習得のための適切な支援ができる
7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる
8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる
9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる
10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる
11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる
12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる
13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる
14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行できる
15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

令和5年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

職員区分 給食室

参加人数 6名

評価 A～Dの4段階

A: 他の職員に指導できる

B: 自らの力のできる

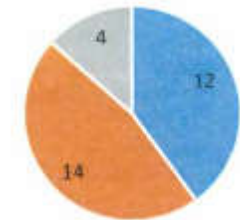
C: 指示されればできる

D: まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

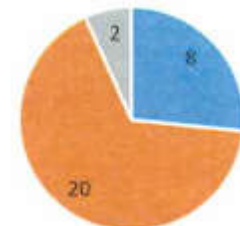
A	B	C	D
3	3	0	0
3	3	0	0
4	2	0	0
1	3	2	0
1	3	2	0
12	14	4	0



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

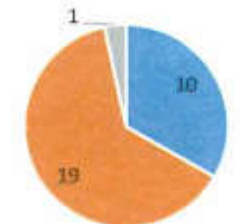
A	B	C	D
0	5	1	0
0	6	0	0
2	4	0	0
3	2	1	0
3	3	0	0
8	20	2	0



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

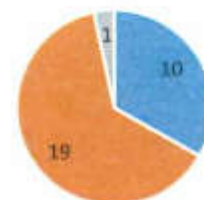
A	B	C	D
1	5	0	0
3	2	1	0
3	3	0	0
2	4	0	0
1	5	0	0
10	19	1	0



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

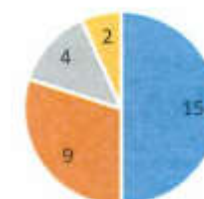
A	B	C	D
1	5	0	0
1	4	1	0
4	2	0	0
1	5	0	0
3	3	0	0
10	19	1	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事があまくいかないとき、人のせいにはせず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

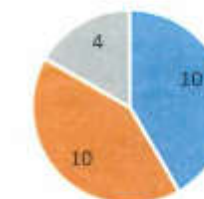
A	B	C	D
2	0	2	2
3	3	0	0
3	3	0	0
4	1	1	0
3	2	1	0
15	9	4	2



6. 理念・目指す子どもに基づいた食育ができる

1. 保育理念・保育方針を具体化した食育計画を立てることができる
2. 年齢の子どもの成長発達に応じた食育計画を立てることができる
3. 食育実践を記録して課題を明確にし、次の保育に繋ぐことができる
4. 子どもと一緒に食事をとり、マナーや感謝の気持ちを伝えることができる

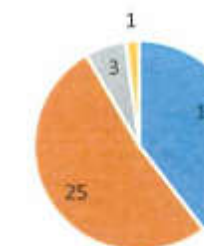
A	B	C	D
3	2	1	0
3	2	1	0
2	3	1	0
2	3	1	0
10	10	4	0



7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる

1. 栄養素・カロリーなど食物に関する基礎知識を習得し、仕事に活かすことができる
2. 材料の準備・加工・盛り付け等に要求されるスピードを身につけている
3. 調理器具の洗浄・食器の洗浄と片付け等の業務を時間内に迅速に進めることができる
4. 大規模調理に必要な技術がある
5. 清潔な調理環境を保つことができる
6. 調理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
7. 調理室の衛生管理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
8. 食物アレルギーマニュアルの内容を熟知し、正しい職務遂行ができる

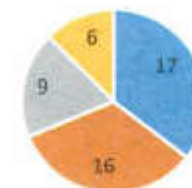
A	B	C	D
2	2	1	1
2	4	0	0
1	5	0	0
2	3	1	0
3	3	0	0
3	3	0	0
3	3	0	0
3	2	1	0
19	25	3	1



8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる

1. アレルギーに関する知識を持ち、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
2. 食中毒に関する知識を習得し、手の消毒等の適切な感染防止行動を取ることができる
3. 子どもたちの食事の様子を想像し、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
4. 食事関係の行動に積極的に関与し、その成果に関心を持ち、行動することができる
5. 食事や職域に関して、保育士への助言・指摘ができる
6. 仕入れの管理を行い、献立や栄養管理等ができる
7. 必要があれば、保護者との直接のコミュニケーションを持つことができる
8. 保護者が期待する給食のあり方を常に考え、創意工夫しながら対処することができる

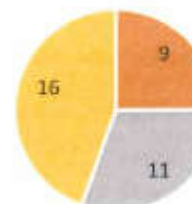
A	B	C	D
3	1	2	0
3	3	0	0
2	3	1	0
2	3	1	0
2	2	2	0
2	1	1	2
2	1	0	3
1	2	2	1
17	16	9	6



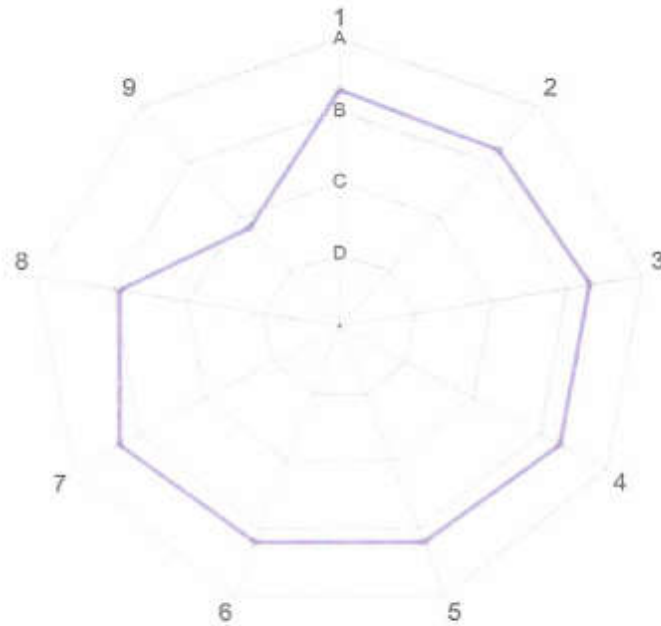
9. 食育に関する環境整備ができる

1. 植物に触れる機会を設け、命の尊さや大切さに気付かせる環境が準備できる
2. 園外(散歩からクッキングに繋ぐ等)に出掛ける環境を沢山準備できる
3. 身近な野菜に興味関心が持てるように、自ら率先して環境を準備できる
4. 畑づくり等、子どもの為の環境下準備を同僚間で話し合い、協力してできる
5. 畑づくり等、子どもの見えないところで環境を継続的に維持する努力ができる
6. 畑づくり等、子どもたちと一緒に継続的に世話ができる

A	B	C	D
0	2	2	2
0	2	0	4
0	2	1	3
0	1	2	3
0	1	3	2
0	1	3	2
0	9	11	16



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 理念・目指す子どもの姿に基づいた食育ができる
7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる
8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる
9. 食育に関する環境整備ができる

令和5年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

職員区分 事務室職員

参加人数 4名

評価 A～Dの4段階

A: 他の職員に指導できる

B: 自らの力のできる

C: 指示されればできる

D: まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

A	B	C	D
4	0	0	0
2	2	0	0
1	3	0	0
3	1	0	0
3	1	0	0
13	7	0	0



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

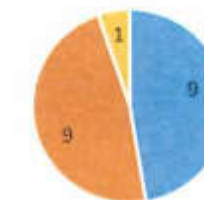
A	B	C	D
1	3	0	0
2	2	0	0
3	1	0	0
2	2	0	0
2	2	0	0
10	10	0	0



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

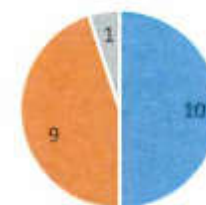
A	B	C	D
2	1	0	1
2	2	0	0
3	1	0	0
1	3	0	0
1	2	0	0
9	9	0	1



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

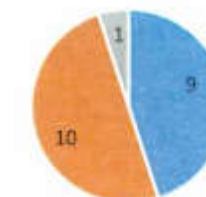
A	B	C	D
3	1	0	0
0	4	0	0
3	1	0	0
1	3	0	0
3	0	1	0
10	9	1	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事があまくいかないとき、人のせいにならず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

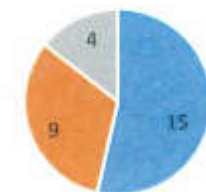
A	B	C	D
1	2	1	0
2	2	0	0
2	2	0	0
2	2	0	0
2	2	0	0
9	10	1	0



6. 事務職における基本事項が遂行できる

1. 職員からの質問に対し、親切丁寧に優しく対応ができる
2. 他部署にも関心を持ち、進んでコミュニケーションをとり、応援要請には快く対応できる
3. 指示された仕事の結果報告を必ず行い、処理が長引く仕事については、中間報告を行う等の配慮ができる
4. 誰が見てもわかりやすい資料を作成できる
5. 提出物等の締め切り期限を守ることができる
6. PCの基本的なソフト(Word,Excel等)のスキルがあり、コピー機等のOA機器の操作ができる
7. 園長・副園長・主任・副主任の下で園務・事務の補佐ができる

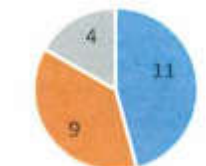
A	B	C	D
2	1	1	0
1	3	0	0
3	1	0	0
2	1	1	0
2	2	0	0
3	0	1	0
2	1	1	0
15	9	4	0



7. 環境に関する事項が遂行できる

1. デスクはじめ、自分の持ち場を整理整頓し、常に清潔かつ美しい状態を維持している
2. 事務所内に保管された文章の把握ができ、必要に応じて取り出すことができる
3. 使ったものを元の位置に戻すことができる
4. 施設内のごみ、汚れに気が付いて主体的に掃除をしたり、園内外の管理を定期的に行うことができる
5. 建造物及び付属施設を日常に点検し、異常を発見できるようにしている
6. 業者への依頼が必要な場合には、施設長に相談の上、早急な対応を行っている

A	B	C	D
1	3	0	0
2	1	1	0
2	2	0	0
1	2	1	0
2	0	2	0
3	1	0	0
11	9	4	0



8. 経理関係の業務を正しく遂行できる

1. 経理業務全般について理解し、ミスなく処理ができる
2. 伝票等と照合して正確な現金出納を行い、日々の現金照合業務を正確かつ迅速に行うことができる
3. 給与入力のための準備が正確にでき、業務内容を理解し、期限を守っている
4. 書類関係及び証憑等は、速やかにファイル及び整理を行い、期限を守ることができる

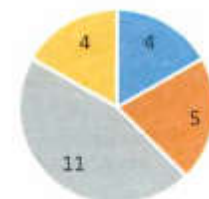
A	B	C	D
1	1	2	0
2	0	2	0
1	0	2	1
2	1	1	0
6	2	7	1



9. 総務関係の業務を正しく遂行できる

1. 職員の入退職に関する手続きを適切に行い、自己履歴書の変更がある職員に対しては適切な対応をとることができる
2. 諸規定の内容は悪ができており、それに基づき業務を滞りなく遂行できている
3. 法改正の情報収集を行っている
4. 法改正等の情報に基づき規定の改廃や書式の改定等を速やかに行っている
5. 官公庁への提出・申請・報告に関する業務知識があり、提出期限を守りミスなく遂行できる
6. リース・保守等の各種契約内容について把握し、しっかり管理ができている

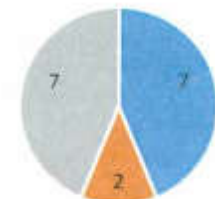
A	B	C	D
1	0	2	1
0	1	2	1
1	1	1	1
0	1	2	1
1	1	2	0
1	1	2	0
4	5	11	4



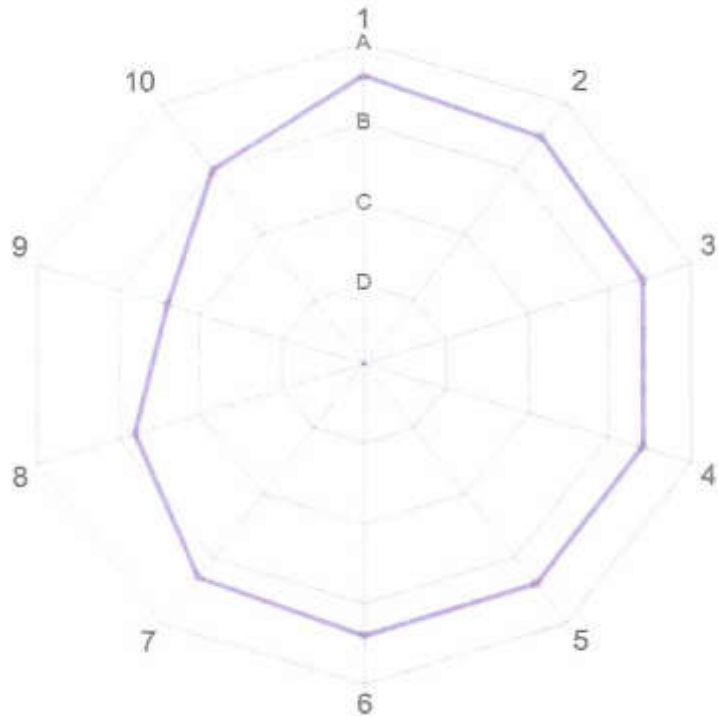
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

1. 安全管理マニュアルの内容を把握し、日ごろから意識してリスク回避に努めている
2. 預かったお金等、その場で金額をチェックし、紛失しないよう直ぐに机や金庫盗に保管し、7日以内に金融機関に預け入れている
3. 個人情報に記載された資料やデータ、貴重な書類やデータの取扱いに注意し安全に保管している（特に席を外すとき、人目に触れないように配慮する等）
4. 個人情報に基づく書類等、速やかにファイリングができている

A	B	C	D
1	1	2	0
2	0	2	0
2	1	1	0
2	0	2	0
7	2	7	0



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 事務職における基本事項が遂行できる
7. 環境に関する事項が遂行遂行できる
8. 経理関係の業務を正しく遂行できる
9. 総務関係の業務を正しく遂行できる
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

令和5年度 赤間保育園 利用者(保護者)アンケート結果について

2024年2月6日～2月20日実施

○目的

- ・ 現行の保育内容や行事のあり方等について保護者にアンケートを実施することで、保育の質の向上を目指す。

○方法

- ・ 下記の6項目について、「十分できている」「ある程度できている」「あまりできていない」「できていない」の4段階でアンケートを実施した。

- ・子ども施設の基本方針について
- ・職員について
- ・保育環境について
- ・食事について
- ・健康管理・安全管理・感染症予防について
- ・コミュニケーションについて

○総合評価

・3.68ポイント(満点4)

- ※ どの項目についても、全体的には「十分にできている」「ある程度できている」と答えた保護者が9割以上で、高い評価をいただいた。
- ※ しかし、「職員への伝達」の項目では、2割の方が「伝達されていないことがたまにある」と答えていて、伝達の方法に課題があった。
- ※ また、訓練(火災、地震、不審者対策)での項目では、1割の方が「十分な説明があまりなかった」と答えていた。説明の方法に課題があった。

○ ご意見、ご要望とそれに対する改善

- ・ 連絡帳がないので、日々の子どもの様子をもっと伝えて欲しい。伝えてくれる先生と伝えてくれない先生がいる。
- ・ 先生によって、保護者とのコミュニケーションをしっかりとれるかとれないかが違うので、ちゃんとできる先生の時は安心できる。
 - ※ 保護者の方々が送迎時にはクラスに入るようになって、子どもの様子を話すようにしているのですが、保育者で違いがあるようです。申し訳ございません。再度、どの保育者からも子どもの様子を話すようにそして、保護者の方々としっかりとコミュニケーションを取るようにいたします。
- ・ 人数が多いからか、伝達ミスが多すぎて困っている。アプリの導入もされたが改善されず、残念です。
 - ※ 申し訳ございません。特に朝の出欠のことだと思います。再度、保育者にはアプリをしっかりと見る事と、出欠の連絡を受けたときは、必ずクラス担任に知らせ、共有するように徹底させます。

- ・ 感染症の園児数のお知らせが、保育園内の掲示板でのみしか確認できないため、アプリ内で把握できるように改善していただきたいです。

※ 感染症の園児数については、毎日更新しています。玄関ホール内の感染症掲示板にてご確認ください。なお、病院受診の際に、流行している感染症をお知りになりたい場合は、園にご連絡いただきますとお伝えいたします。

- ・ たくさんの園児がいる中で、先生方に余裕がないと感じる時があります。先生方に余裕があればおらかな対応や、各家庭の悩み事など何気なく相談できるのではと思います。クラス担任、担当だからと縛られるのではなく、すべての先生方がチームとして動けるのか一番理想的だなどと思います。毎日朝早くから遅くまで仕事をされている先生方を見るのも心配ではあります。プライベートが充実していれば、子どもたちへの余裕が生まれるのかと思います。

※ 職員へのお気遣い、ありがとうございます。おらかな対応や家庭からの相談が気楽にできていないことについては、申し訳ございません。保育者に「余裕」が持てるように、まずは勤務時間を遵守するようにしていきます。そして、「チームで保育」をさらに徹底させていきます。

- ・ 体操服を運動会の時ぐらいにしか使わないのはもったいない気がします。それなら、2セット程買って、体操服登園がいいと思います。

※ フレンドリーコンサートでも体操服の上を使用しますが、確かに使用頻度は低いかもしれませんが、体操服で登園していた園児もいましたので、体操服を登園で利用されてもかまいません。

- ・ お遊戯会やフレンドリーコンサートでたびたび思うのですが、クラスごとの発表が長く感じる場合があります。演目の中の5~6グループに分かれて同じようなことを繰り返し見るのは少々疲れます。低年齢クラスは1~2グループ減らして演目の縮小をしてもいいと思います。歌に関してもきっちり2番3番まで歌わなくてもいいのではないかと思います。

※ 演目については、工夫が必要などころがありますので、検討いたします。ただ、すべての子どもが一生懸命に取り組んでいる姿を見ていただきたいとの思いから、少々長くなる時もあることに、ご理解いただきたいと思います。

- ・ 習い事(スイミング)の送迎車の受け入れがあったらいいと思います。(他の保育園でされているようなので)

※ 赤間保育園では、習い事の送迎車の受け入れはしておりません。ご了承ください。

- ・ 1つだけ些細なことですが「こうすればいいのでは」と思うことがあります。運動会で親子で競技する際、親が中々来ないため先生が探していることがあります。この時スピーカーを使い声掛けができたらなと思っています。(されていたらすいません(・・)) インカムで状況把握し運営側に報告、スピーカーによる情報展開があればと思いました。ただ名指しだと「恥をかいた！」と文句をいう人もいるので定型文があればいいかもしれません。

※ 一応、親子競遊では、呼びかけをしています。

○その他の肯定的な(嬉しい)ご意見

- ・子どもにとって第2のお家となっていると感じています。感謝しかありません。
- ・他の保育園のことは詳しくありませんが、赤間保育園に入園させて良かったと感じています。1番初めの親のみの入園体験から印象は良く、入園後も子供たちそれぞれの特性を活かした保育でありつつ、共同生活を育んで教えてくれていると思います。お迎えに行った時に「楽しかったよ」「今日はこんなことしたよ」から、歳を重ねるごとに「〇〇ちゃんと遊んだよ」「喧嘩したけど仲直りできたよ」「(良くないことして)先生に怒られたよ」など、ただ楽しいだけでなく、友達との関係性を感じられるようにもなってきました。季節ごとのイベントや、地域との活動も定期的に行われており、家庭保育では経験させられる事のない新しい刺激を与えてくれてありがとうございます。どの先生も基本的に話しやすく、特に不満を感じたことはありません。
- ・上の子のアンケートでも書きましたが、赤間保育園で良かったと思っています。上の子で納得していたからこそ、下の子も赤間保育園に預けたかったので、満足しています。上の子には上の子に合わせた保育、下の子には下の子に合わせた保育をして頂いていると思います。顕著なのはトイレトレーニングですね。上の子はあまり挫折することなくすんなりとオムツ卒業出来ましたが、下の子はまだオムツと格闘しています。先生からも少しずつ本人の意向に合わせて練習してくれていることを伺って、子供に合わせて下さっていると感じました。こういう生理現象は強制することも難しいので、そもそも気長に考えていますし、家では甘えんぼうになってなかなか難しい部分もあるのでとても感謝しています。
- ・いつも子どもたち一人一人を気にかけていただきありがとうございます
- ・先生方にはいつも感謝しています。コロナ禍から日常へ戻りつつある中、特に今年は卒園までの1年で楽しいイベントを企画していただき、子どもがとても喜んでいて私たち親も嬉しいです。ありがとう ございます。
- ・先生方がとても明るく挨拶してくれるので、明るい気持ちになります。子どもが楽しそうに登園して帰ってくるのが嬉しいです。いつもありがとうございます。
- ・給食がいつも美味しそう。羨ましい。子供に好きな先生の名前を5人挙げてと話したら、園長先生がランクインする。園のトップが子供に好かれるのは安心すると共に凄いなと思う。担任になったことはないけど、1番優しいと噂のW先生。子供に好かれる優しさに感謝。子供の声として、中には少し怖いという先生もいたけど、親としては有り難い。変わらぬスタンスで接して欲しい。
- ・連絡帳がなく子どもも1日の活動について十分に話ができる年齢ではないため、毎日の活動の詳細がわからない部分はあり、寂しいところもありますが、お迎えの時に時々園での様子を教えていただけたたり、個人面談の際に活動の内容を教えていただいているので園の対応に満足はしています。何よりも子どもが登園を全く嫌がることなく楽しく登園

しているので安心して預けることができます。

- ・運動会やお遊戯から節分やお店屋さんなどの様々イベントで家では味わえない事をしていただきありがとうございます。それを円滑に進められるよう先生のチームワークも凄く整っていて感服します。本当に感謝しかありません。赤間保育園を選んで良かったと思っています。
- ・園のIT化や、時代の変化についていく姿勢が見れてとても好感が持てます。通常保育だけでなく運動会などの大きな行事も毎年工夫がされていて、大変助かり、感謝しています。この園を選んで良かったと思っています。
- ・赤間保育園は保育方針から設備、保育上等々、とても素晴らしいです。この園を選んで良かったと思っています。
- ・いつも子供の立場に立ってわかりやすい説明や私達保護者に対しても温かい雰囲気です。接してくださり本当に毎日感謝の連続です。いつも子供たちと一緒に育ててくださり有難うございます。
- ・お遊戯会等イベントもたくさん開催、準備頂き、大変有り難く思っておりました。職員の皆さまも、こころよくご対応くださり、子ども達も大変楽しくすごせておりました。お礼と感謝申し上げます。
- ・いつも預かっていただき、ありがとうございます。帰る時に子どもに、保育園楽しかった？って聞くと、うん！と言ってくれるので、より安心して毎日預けられます。たくさんのお友達と過ごしていますが、その中で先生方がみなさん、子どもの今日は〇〇をするようになりました！できるようになりました！発語が増えてきました！など日々の成長を共有していただき嬉しく、とても感謝しています。今後もよろしくお願い致します。
- ・今年で卒園かと思うと、とても寂しいです。今までとても良くしてくださりありがとうございました。二人お世話になりましたが、2人ともあかま保育園が大好きでした。たくさんのお話を教えていただき、こんなことまでと思うようなことまで教えていただきありがとうございました。

社会福祉法人 赤間福祉会

赤間保育園

利用者アンケート集計結果

調査期間 2024.02.06～2024.02.20

配布人数 261

有効回収数 92

回収率 35%

【調査代行】

株式会社ポラリス 調査事業部



〒920-0864 石川県金沢市高岡町5-13 SEASON817KANAZAWA

TEL 076-216-7611 FAX 076-216-7616

こども施設の基本方針について

1. 入園の際、園の目標や方針について十分な説明がありましたか。
※昨年度以前に入園している場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な説明があった (52人)
- ある程度の説明があった (5人)
- あまりなかった (0人)
- なかった (1人)
- 該当しない (34人)
- 未回答 (100人)



3. 普段の教育・保育内容は、目標や方針と一致していますか。

- 一致している (73人)
- やや一致している (16人)
- あまり一致していない (1人)
- 一致していない (0人)
- 未回答 (100人)



5. 管理者（園長・副園長等）がしっかりと職員をまとめ、率先して運営にあたっていると感じますか。

- 十分に感じる (65人)
- ある程度感じる (21人)
- あまり感じない (5人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (100人)



2. 入園の際、経費や必要な持ち物について十分な説明がありましたか。
※昨年度以前に入園している場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な説明があった (50人)
- ある程度の説明があった (5人)
- あまりなかった (1人)
- なかった (0人)
- 該当しない (35人)
- 未回答 (100人)



4. 年度当初に、年間の取り組みや行事について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (66人)
- ある程度あった (26人)
- あまりなかった (1人)
- なかった (0人)
- 未回答 (100人)



職員について

6. 職員の身なり（服装・髪型・清潔感）や言葉遣いは適切だと感じますか。

- 十分に感じる (70人)
- ある程度感じる (22人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



8. 職員は園内の整理整頓に気を配り、快適な空間づくりに努めていると感じますか。

- 十分に感じる (72人)
- ある程度感じる (20人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



10. 皆さまからの意見や要望に対する説明や対応は適切だと感じますか。

- 十分に感じる (64人)
- ある程度感じる (24人)
- あまり感じない (4人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



12. 園長や職員による子どもたちへの言葉かけは、お子さまが心地良いと感じられるものだと思いますか。

- 十分に思う (63人)
- ある程度思う (28人)
- あまり思わない (1人)
- 思わない (0人)
- 未回答 (169人)



7. 職員は誰に対しても明るい笑顔やあいさつを行っていますか。

- 常に行っている (80人)
- 時々行っている (11人)
- あまり行っていない (1人)
- 行っていない (0人)
- 未回答 (169人)



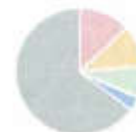
9. 職員同士のチームワークや雰囲気はよいと感じますか。

- 十分に感じる (62人)
- ある程度感じる (28人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



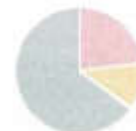
11. 担当外の職員に連絡を頼んだところ、伝達されていなかったということがありましたか。
※連絡を頼んだことがない方は「該当しない」を選択してください。

- まったくない (24人)
- あまりない (20人)
- たまにある (20人)
- よくある (1人)
- 該当しない (9人)
- 未回答 (169人)



13. 職員は、子育ての専門家として頼りになると感じますか。

- 十分に感じる (60人)
- ある程度感じる (31人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



保育環境について

14. 睡眠・排泄・衣類の着脱など、お子さまの基本的な生活習慣の確立ができていますと感じますか。

- 十分に感じる (74人)
- ある程度感じる (16人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



16. お子さまの成長（トイレ、食事など）に合わせて園と保護者がお互いに協力しながら子育てに取り組んでいると感じますか。

- 十分に感じる (73人)
- ある程度感じる (19人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



18. お子さまの興味、関心に応じて自由に遊びを選べる工夫がされていると思いますか。

- 十分に思う (54人)
- ある程度思う (26人)
- あまり思わない (0人)
- 思わない (0人)
- 未回答 (169人)



20. お子さまは喜んで登園していると感じますか。

- 十分に感じる (66人)
- ある程度感じる (22人)
- あまり感じない (14人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



22. お子さま一人ひとりの家庭環境や個人差を把握した対応ができていますと感じますか。

- 十分に感じる (58人)
- ある程度感じる (32人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



24. お子さまが身近な自然と関わったり、季節を感じる工夫がされていると感じますか。

- 十分に感じる (66人)
- ある程度感じる (25人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



15. 園内の採光・換気・温度・湿度などは適切に保たれていると感じますか。

- 十分に感じる (65人)
- ある程度感じる (24人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (169人)



17. 職員は一人ひとりのお子さまの個性を見極めて関わっていると感じますか。

- 十分に感じる (73人)
- ある程度感じる (19人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



19. お子さまの発達状況に合った無理のない運動遊びがされていると感じますか。

- 十分に感じる (72人)
- ある程度感じる (20人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



21. 園生活での友だちとの関わりなど、お子さまの人と関わる力の育ちに満足していますか。

- 十分満足している (67人)
- ある程度満足している (21人)
- あまり満足していない (14人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (169人)



23. 地域の人たちとコミュニケーションがとれるような行事や取り組みが積極的に行われていますか。

- 十分に感じる (58人)
- ある程度感じる (30人)
- あまり感じない (7人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (169人)



食事について

25. 献立表やサンプル表示などで、毎日の食事とおやつの内容がわかるようになっていますが。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 内容が十分わかる (84人)
- 内容がある程度わかる (38人)
- 内容があまりわからない (0人)
- 内容がわからない (0人)
- 該当しない (0人)
- 未回答 (160人)



27. 食物アレルギーを持つお子さまに対して適切な配慮がされていると感じますか。
※食物アレルギーをお持ちでない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分に感じる (28人)
- ある程度感じる (1人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 該当しない (63人)
- 未回答 (160人)



29. お子さまは給食、おやつメニューには満足していますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分満足している (72人)
- ある程度満足している (15人)
- あまり満足していない (3人)
- 満足していない (0人)
- 該当しない (2人)
- 未回答 (160人)



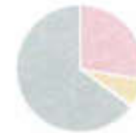
31. メニューは「品目が多い」「見栄えが良い」など、食事を楽しむ工夫がされていると感じますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分に感じる (72人)
- ある程度感じる (15人)
- あまり感じない (4人)
- 感じない (1人)
- 該当しない (0人)
- 未回答 (160人)



26. お子さまの会話から、給食や食事を楽しんでいるように感じますか。

- 十分に感じる (72人)
- ある程度感じる (18人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (160人)



28. その日のお子さまの体調に合わせ、食事の量や調理方法などに工夫がされていると感じますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分に感じる (57人)
- ある程度感じる (28人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (2人)
- 該当しない (3人)
- 未回答 (160人)



30. 行事や季節を楽しみながら食事ができるような工夫がされていると感じますか。

- 十分に感じる (78人)
- ある程度感じる (14人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (160人)



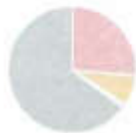
32. 健康診断や内科・歯科検診の結果について、その都度分かりやすく伝えられていますか。

- 十分に伝えられている (51人)
- ある程度伝えられている (34人)
- あまり伝えられていない (6人)
- 伝えられていない (1人)
- 未回答 (169人)



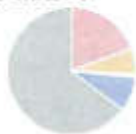
34. 子どもたちに手洗いうがいの方法や大切さを正しく伝えられていると感じますか。

- 十分に感じる (69人)
- ある程度感じる (20人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (2人)
- 未回答 (169人)



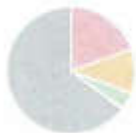
36. 事故やケガが発生した際、状況報告やその後の対応について十分な説明がされていますか。
※今年度、事故やケガが発生していない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分にあった (50人)
- ある程度あった (17人)
- あまりなかった (1人)
- なかった (1人)
- 該当しない (23人)
- 未回答 (169人)



38. 不審者対策について具体的な対応策について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (51人)
- ある程度あった (29人)
- あまりなかった (11人)
- なかった (1人)
- 未回答 (169人)



33. お子さまの健康状態についてどの職員も同じように把握し、適切に接してくれていますか。

- 十分に接してくれている (61人)
- ある程度接してくれている (31人)
- あまり接してくれていない (6人)
- 接してくれていない (0人)
- 未回答 (169人)



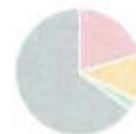
35. 国内で感染症が発生した場合、状況や対応について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。
※今年度、国内で感染症が発生していない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分にあった (39人)
- ある程度あった (28人)
- あまりなかった (4人)
- なかった (0人)
- 該当しない (1人)
- 未回答 (169人)



37. 地震や火事などの災害が起こった場合の対応策について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (53人)
- ある程度あった (31人)
- あまりなかった (6人)
- なかった (0人)
- 未回答 (169人)



39. 虐待防止に向けた取り組みについて適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (49人)
- ある程度あった (35人)
- あまりなかった (6人)
- なかった (2人)
- 未回答 (169人)



コミュニケーションについて

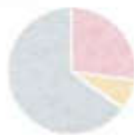
40. 園からのお知らせを分かりやすく伝えようとする工夫が感じられますか。

- 十分に感じる (83人)
- ある程度感じる (27人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (169人)



42. 日常的な情報交換に加え、相談や個別面談の機会が設けられていますか。

- 十分設けられている (71人)
- ある程度設けられている (20人)
- あまり設けられていない (1人)
- 設けられていない (0人)
- 未回答 (169人)



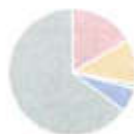
44. 普段から、保育に関する皆様の意見や意向を伝えやすい雰囲気がありますか。

- 十分にある (60人)
- ある程度ある (30人)
- あまりない (2人)
- ない (0人)
- 未回答 (169人)



46. 子育てについて相談した際に、専門的な知識を持って分かりやすい言葉でアドバイスができていますと感じますか。
※相談する機会がなかった場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分に感じる (43人)
- ある程度感じる (30人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 該当しない (16人)
- 未回答 (169人)



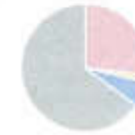
41. お子さまの園での状況、様子について連絡や情報交換は十分に行われていますか。

- 行われている (87人)
- ある程度行われている (20人)
- あまり行われていない (5人)
- 行われていない (0人)
- 未回答 (169人)



43. お子さまや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたという経験はありますか。
※相談する機会がなかった場合は「該当しない」を選択してください。

- 全くない (70人)
- ほとんどない (5人)
- たまにある (0人)
- よくある (0人)
- 該当しない (17人)
- 未回答 (169人)



45. 園行事の開催日や時間帯は、保護者の皆さまが参加しやすいよう配慮されていますか。

- 十分配慮されている (56人)
- ある程度配慮されている (24人)
- あまり配慮されていない (2人)
- 配慮されていない (0人)
- 未回答 (169人)



47. やむを得ない事情で送迎が遅れる場合、その都度柔軟に対応してくれていますか。
※遅れたことがない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な対応してくれる (52人)
- ある程度対応してくれる (15人)
- あまり対応してくれない (1人)
- 対応してくれない (0人)
- 該当しない (24人)
- 未回答 (169人)



その他

48. 職員についての総合評価をお願い致します。

- 十分に満足している (88人)
- ある程度満足している (22人)
- あまり満足していない (2人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (169人)



50. 保護者の立場から、お子さまを預けている園の一番良いところを1つだけお答えください。

- 職員の人か・人柄など (60人)
- 園舎などの教育教育環境 (16人)
- 保育の内容等 (7人)
- さまざまなサービス対応、サービス内容の利便性 (4人)
- その他 (5人)
- 未回答 (169人)

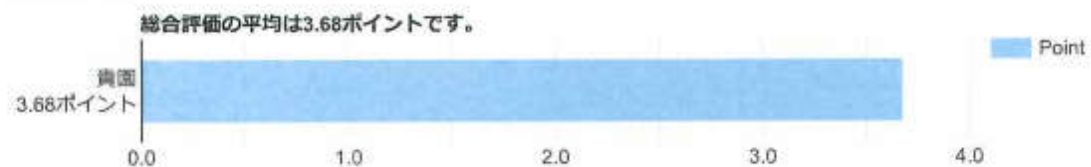


49. 園についての総合評価をお願い致します。

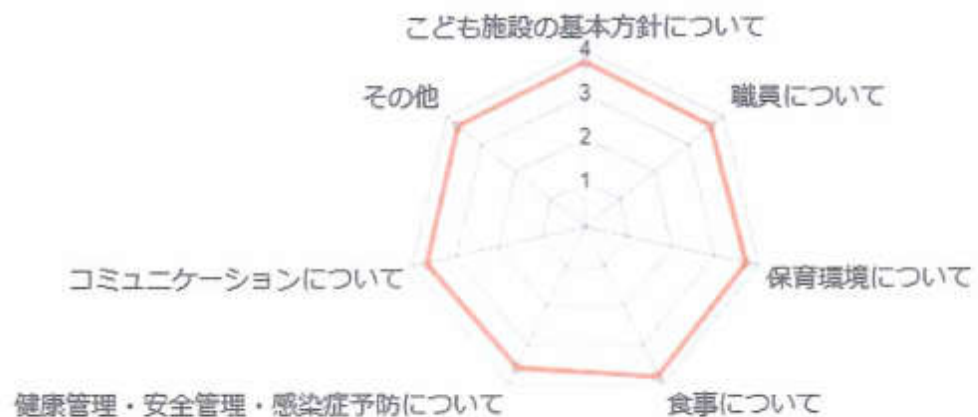
- 十分に満足している (63人)
- ある程度満足している (28人)
- あまり満足していない (11人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (169人)



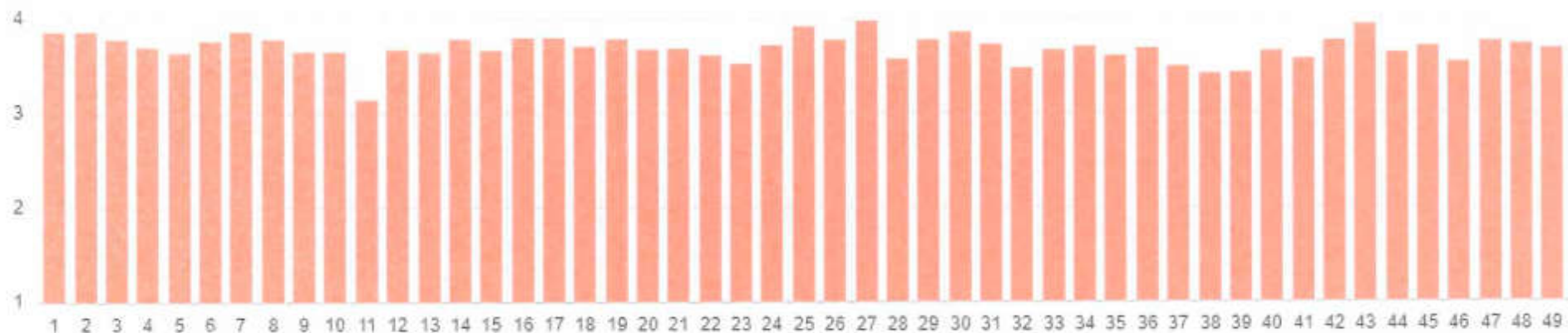
総合評価



各カテゴリ毎の点数結果



各質問の点数結果



令和5年度 赤間保育園職員による保育園の自己評価

2024年3月1日～3月15日実施

○目的

- ・一人ひとりの職員が、設定した項目に基づき園全体の取り組みを評価することにより、園の現状や課題を把握する。
- ・全職員の共通理解の下、組織としてよりよい保育に向けた改善に取り組む。

○実施方法

- ・無記名式
- ・制限回答法+自由記述
- ・全41項目

○制限回答法

- ・3点:A=よい……………80～100%できている」
- ・2点:B=一部検討を要する…「50～80%できている」
- ・1点:C=改善を要する……………「50%以下」
- ・D=分からない
- ・B、Cについては、理由を自由記述

○ A～Cの評価を3点～1点に置き換えて平均点を算出。「D=分からない」は平均点の算出から外す。

○回収率96.7%(58/60)

○考察

- ・「子どもを尊重した保育について共通理解をもつために、研修や人権擁護チェック等の取り組みを行っている」の項目では、全員がA(満点3)をつけていた。引き続き、子どもを尊重する保育についての研修を定期的の実施して職員一人ひとりの人権意識を高めていきたい。
- ・平均点が低い項目は①「子どもが心地よく過ごすことができる環境の整備」、②「子どもが主体的に活動できる環境の整備」、③「配慮が必要な子どもが安心して生活できる環境の整備」だった。環境整備については、まずは、園の方針を職員一人ひとりに周知し、次に各クラスで、子どもに適切な環境について共通理解を図る必要がある。
- ・今回のアンケート結果により、現状をそれぞれの職員がどのように捉えているのかが分かった。課題としては、園が取り組んできたことやこれから取り組むことについて、職員会等で全職員に周知していたと思っていたが、職員の理解が得られていないものがあった。時間をかけて、具体的に説明をしていく必要がある。

令和5年度 赤間保育園職員による保育園の自己評価 【アンケート調査の集計結果】

2024年4月5日(金)

*****<調査の実施概要と回答者の基本属性>*****

調査対象者：赤間保育園 職員 60名

調査実施期間：2024年3月1日(金)～2024年3月15日(金)までの2週間

自己評価項目数：41項目

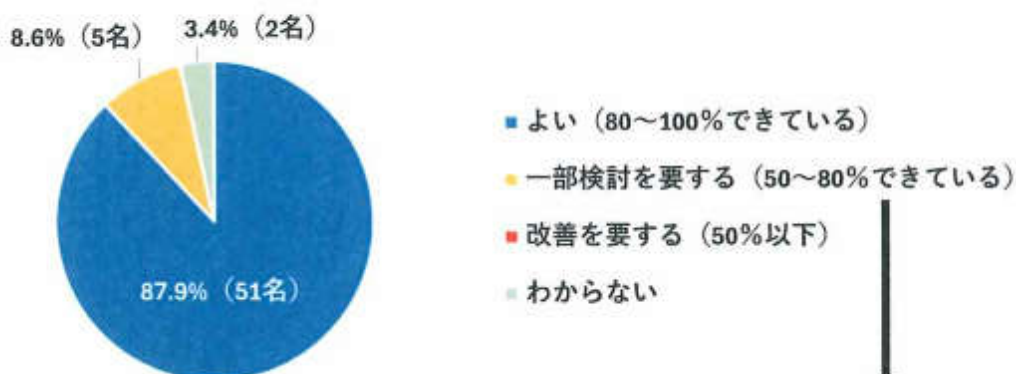
回収数(回収率)：58部(96.7%)

基本属性(職種)：保育士38名(65.5%)、栄養士4名(6.9%)、管理栄養士1名(1.7%)、調理員1名(1.7%)、看護師1名(1.7%)、保育補助5名(8.6%)、事務員3名(5.2%)、用務員1名(1.7%)および無回答4名(6.9%)

(勤続年数)：1年～5年⇒28名(48.3%)、6年～10年8名(13.8%)、11年～15年⇒7名(12.1%)、16年～20年は5名(8.6%)、21年以上⇒2名(3.4%)および無回答8名(13.8%)

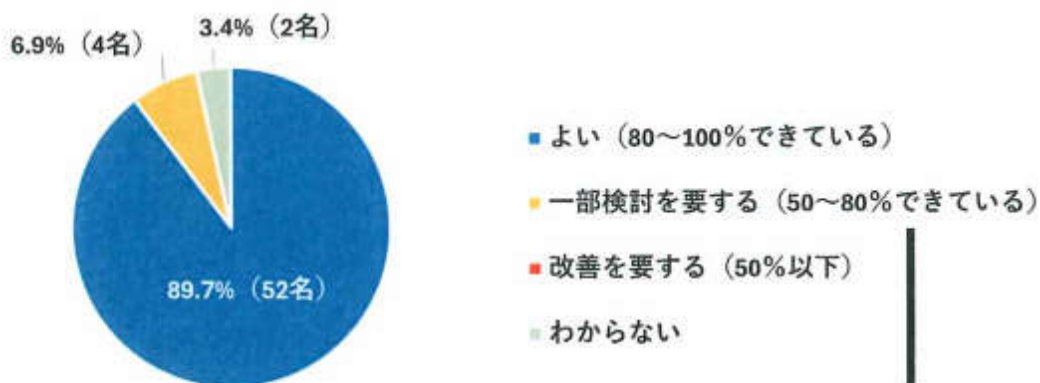
備考(自由記述)：各評価項目について、「B=一部検討を要する(50～80%できている)」、又は「C=改善を要する(50%以下)」と評価をした場合には、任意でその理由を記入してもらった。

【1】理念・基本方針が菜（しおり）やホームページに記載され、保護者に周知が図られている。



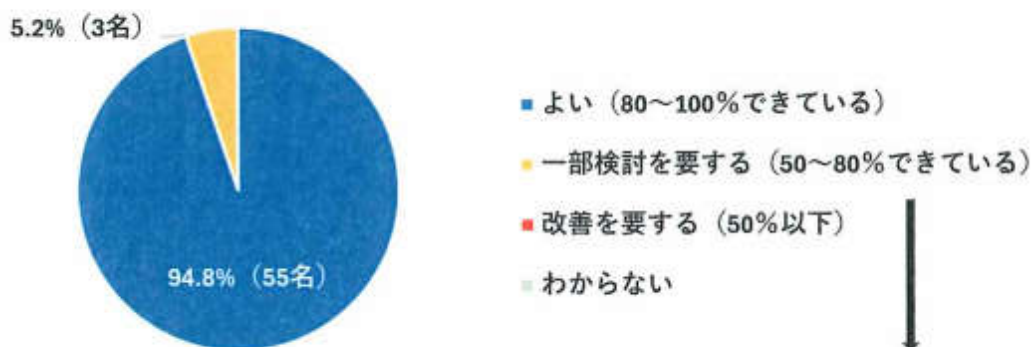
【理由1】100%周知とは思えません。「しおりにも書いているのに」と言う声を保護者の方から聞く。

【2】保育目標は保護者に周知が図られている。



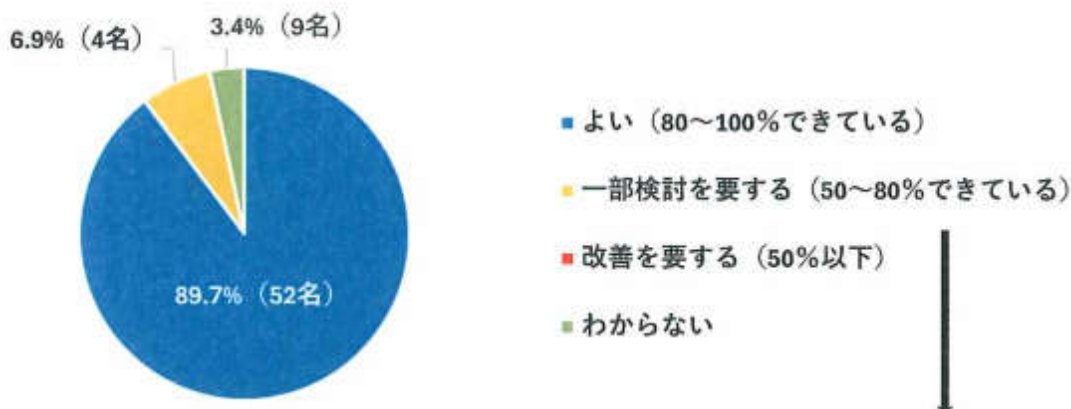
【理由1】4月に手紙で知らせる事はあるが、それ以降、伝える事が少ない。

【3】事業計画（子どもの育ちの目標、行事等）は、入園の菜（しおり）や面談・クラスだより等で保護者に伝えられている。



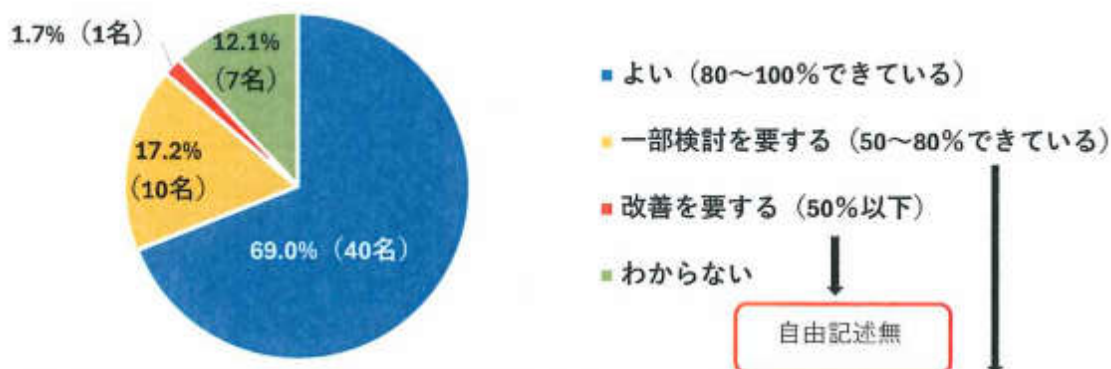
【理由1】行事等は伝えられているが、「育ち」という所で子どもの活動が次の成長にどうつながるか等、多少、薄いように思う。

【4】保育の質の向上に向けた取り組みとして、保育計画・記録のみならず、日々の活動の様子を写真を活用して可視化するなど工夫し、クラス内で、検証・評価・反省が行われ、職員間の共有が図られている。



- 【理由1】 その日に入っていない場合、様子を知る事が難しい。忙しくてなかなか評価・反省までいかない。
- 【理由2】 保護者向けに写真は活用されているが、保育の質の向上に向けた取り組みに対して、写真の活用が上手くできていない。

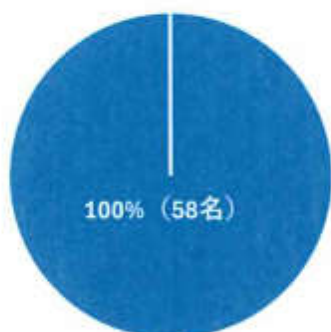
【5】子どもと地域との交流を広げるため、高齢者施設への訪問、敬老会やイベント等の催しに積極的に取り組んでいる。



自由記述無

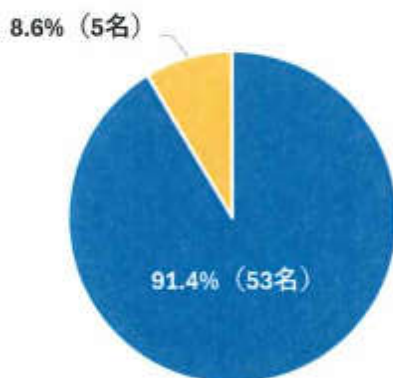
- 【理由1】 コロナ禍以降、高齢者施設への訪問が減っているように思われる。
- 【理由2】 コロナ禍以降、取組みができていない。
- 【理由3】 3~4年前から少なくなっている。コロナの為もある。
- 【理由4】 インフルエンザやコロナの影響で、取組みが少なかったように思う。
- 【理由5】 コロナであまり取り組めていないと思う。
- 【理由6】 コロナ禍でもあったため、施設の訪問やイベントへの参加は自粛傾向にあったため。
- 【理由7】 コロナや社会状況が落ち着けば、施設や病院 地域の方との交流が増えてくると思う。

【6】子どもを尊重した保育について共通理解をもつために研修や人権擁護
チェック等の取り組みを行っている。



- よい (80~100%できている)
- 一部検討を要する (50~80%できている)
- 改善を要する (50%以下)
- わからない

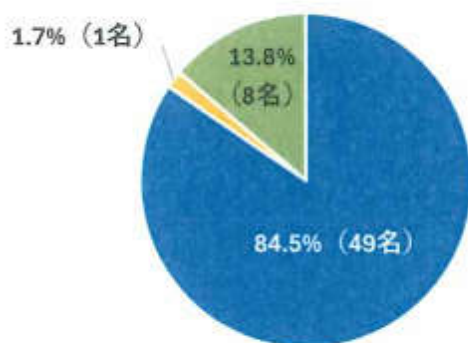
【7】子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われ
ている。



- よい (80~100%できている)
- 一部検討を要する (50~80%できている)
- 改善を要する (50%以下)
- わからない

- 【理由1】 まだまだ努力が必要だと思うから。
 【理由2】 プライバシー保護の認識が保育者によって異なるところがある。その都度、声をかけ
 認識を統一する。
 【理由3】 保育士の目が行き届いていないと感じる。

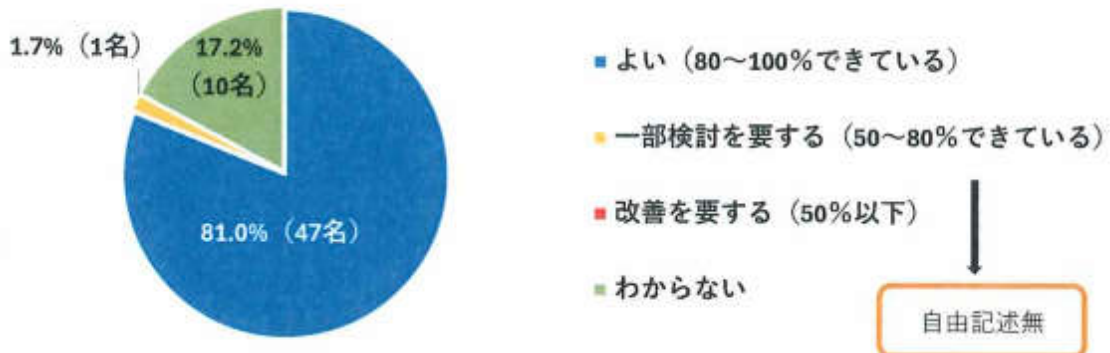
【8】利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を菜(しおり)の配布や
説明を行い、積極的に情報発信に取り組んでいる。



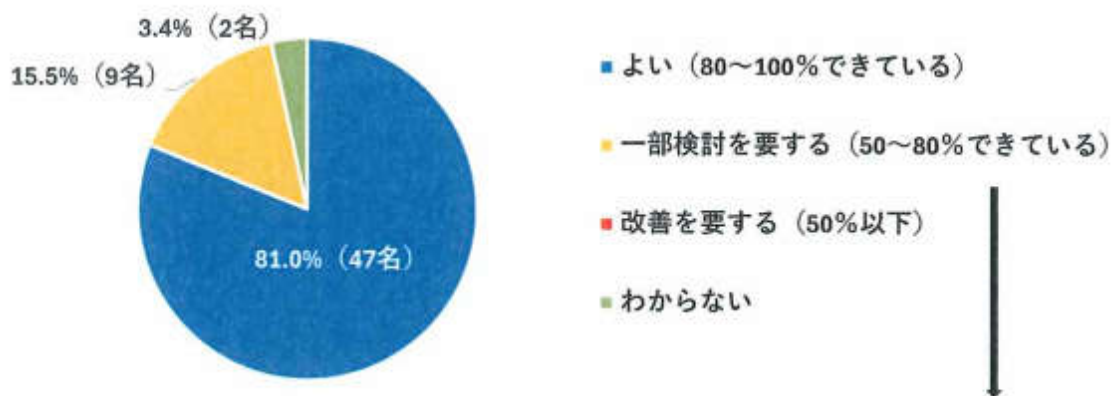
- よい (80~100%できている)
- 一部検討を要する (50~80%できている)
- 改善を要する (50%以下)
- わからない

- 【理由1】 情報が遅い、掲載が分かりにくい事があった。
 ※「よい」と回答をした人が書いた【理由】しおりではなく、パンフレットを配布している。
 しかし、希望された方には配布したことはある。

【9】苦情解決の仕組みや相談受付体制が整えられ、第三者委員会開催後は公表されている。



【10】保護者が相談や意見を述べやすいように面談や送迎時の環境を整備し、保護者等に周知している。



【理由1】 ルクミーでの伝達だけでは保護者が確認できてない時がある。迎えの時にわかっている事であれば、直接伝える事も必要だと思う。(もう、そのように取り組まれていたらすみません)

【理由2】 もう少しゆっくりと保護者と会話する時間が欲しい。

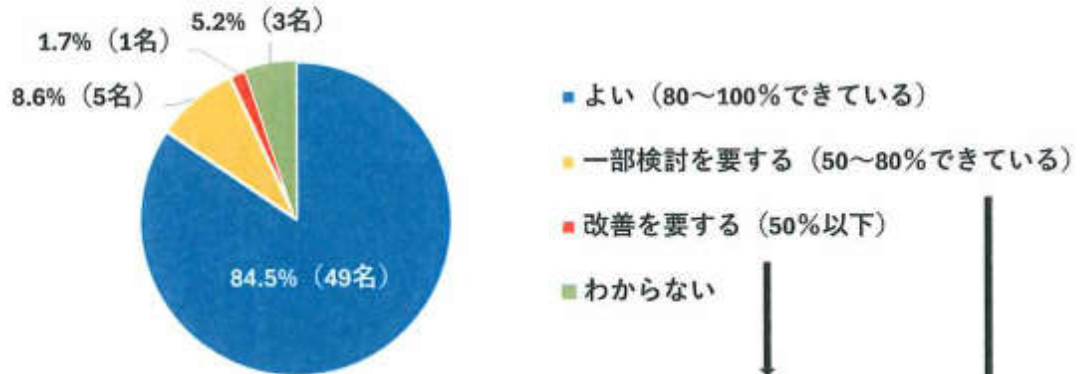
【理由3】 面談は良いが、送迎時は慌しく意見を述べやすいとは言えない。

【理由4】 登園時はいいですが、降園時の際(おやつを食べ終わったぐらいの15:45頃)、おやつ後の片付け、降園前のトイレ、子どもの見守り、複数の保護者対応と重なった際に、パタバタしてしまっている雰囲気があり、相談や意見をしやすい環境作りが上手くできていない日があると感じます。

【理由5】 もう少し、部屋へ入って送迎を促すと、もっと話しやすいと思います。

【理由6】 送迎時に保護者と話せる時間を作れていない。

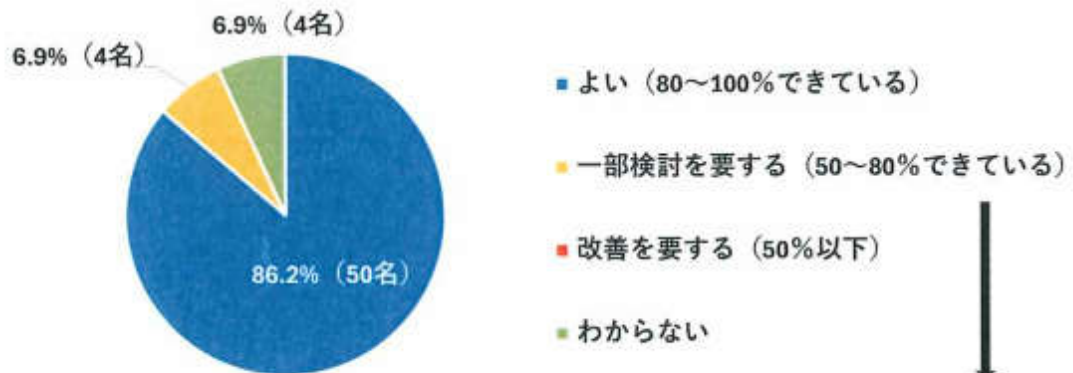
【1 1】保護者からの相談や意見に対して、一部のみの把握ではなく組織的かつ迅速に対応している。



【理由1】一部のみの把握・対応になっている点がある。

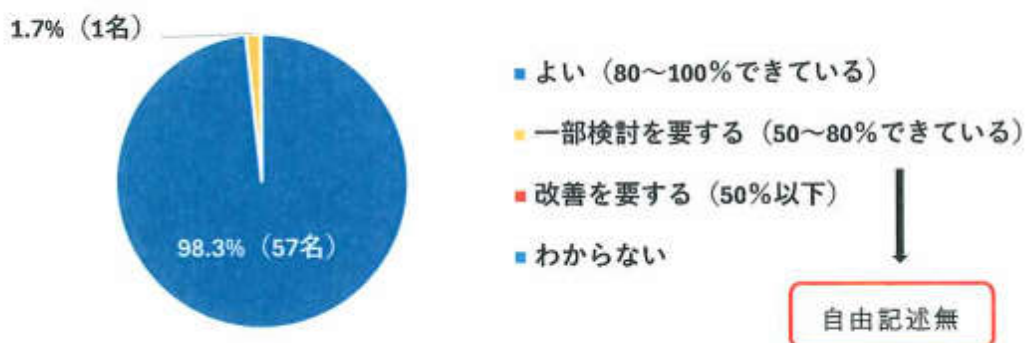
【理由1】主担任だけが知っている事が多く、全員の共通認識になっていない。
【理由2】月1回の職員会議で内容を把握できている。
【理由3】主担任のみの共有事項も多い為。

【1 2】安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。

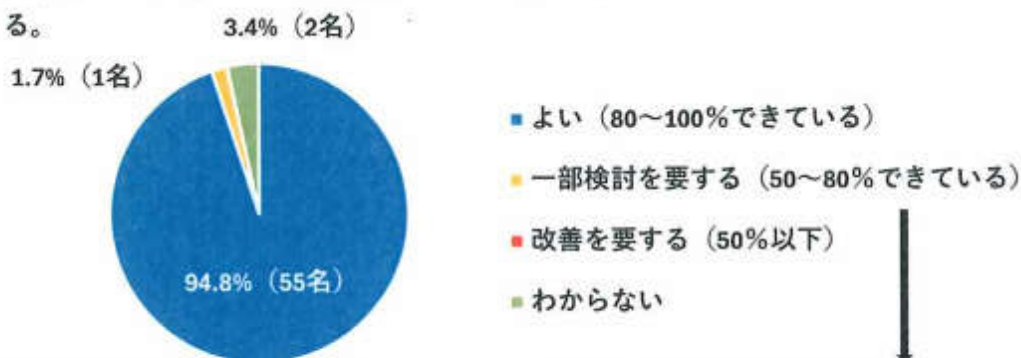


【理由1】取組んではいるが弱い。
【理由2】訓練が体制化してしまい、訓練の意味を要していないものがある。

【13】感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

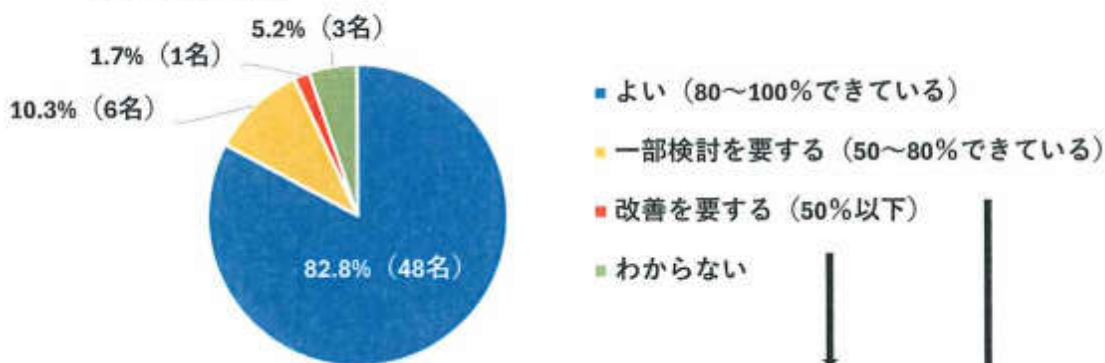


【14】災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。



【理由1】地震の時のみならず、火事の時も防災靴を履くべきではないか。履いている時間で、少しでも安全に逃げられると思う。

【15】子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。



【理由1】共有化がなされていない。

【理由1】全員が観てるとはいいがたい。

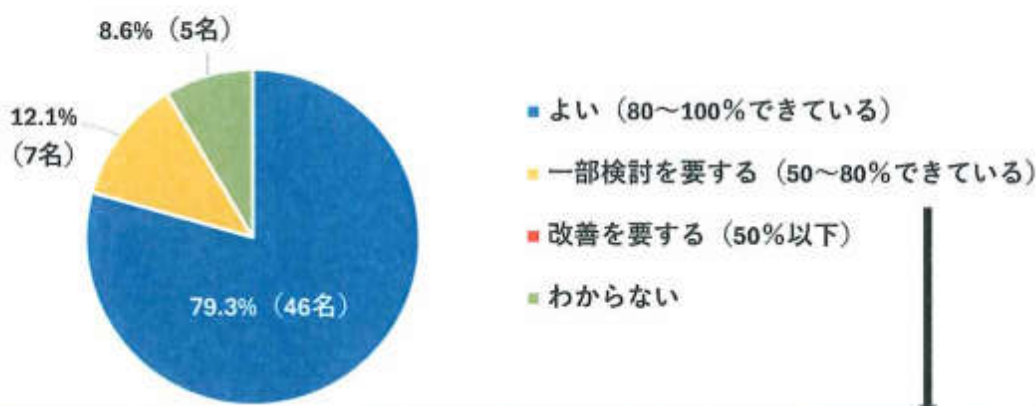
【理由2】職員間の共有は更に改善が必要。

【理由3】日々の保育状況はクラスミーティング内で共有化されていますが、自身が休み等で参加出来なかった時の確認が十分ではないため。

【理由4】記録は適正だが、全てのクラス担任が共有できているわけではない。保育する・しない関係なく、自分のクラスの保育日誌は必ず目を通す事を促す。

【理由5】一部職員のみでの共有がある為。

【16】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を策定している。



【理由1】 例年にならった策定をしている。
 【理由2】 子ども主体になっているか、疑問に思う事がある。

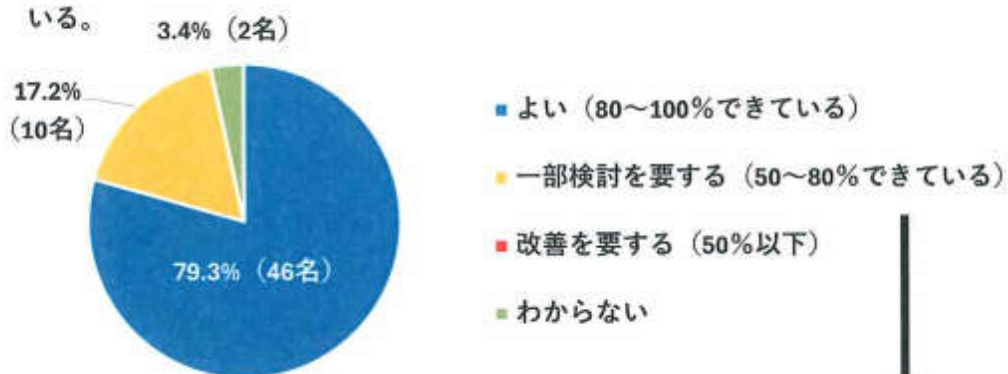
【17】 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。



自由記述無

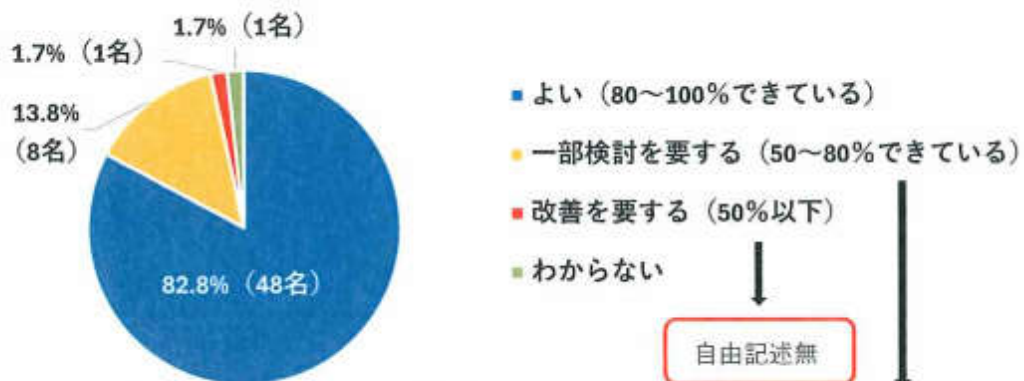
【理由1】 職員が不足、手も目も行き届いていない。
 【理由2】 基準は満たしてはいるが、広い保育室の方が心地よく過ごせると思う。
 【理由3】 環境がきちんと整備されているときとそうでない時がある。保育園の方針にはきちんと従う事を徹底する。
 【理由4】 室内温度は一括管理。部屋や人数等によって気温が違うが、エアコン入切や温度調整は、座って事務仕事をしている方々の許可が必要。夏場は特に、汗だけで子どもたちは過ごしている。
 【理由5】 室内温度の調節をした方が、いい時がある。
 【理由6】 時間帯によっては、良い環境作りが難しい。

【18】一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。



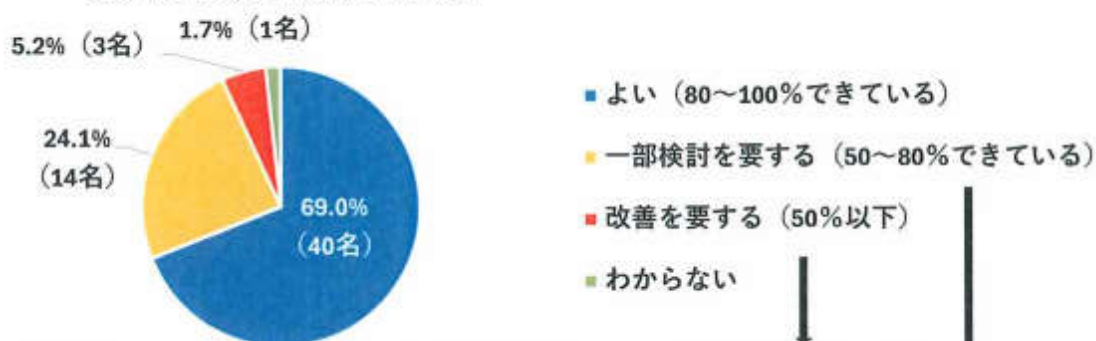
- 【理由1】 対応したくても、時間に追われ対応できない。
- 【理由2】 それぞれの保育者は頑張っていると思うが、反対の立場で子どもたちがどう感じているか気になる。
- 【理由3】 援助が必要な子どもに対しての職員配置を見なおしてほしい。
- 【理由4】 子どもによって先生たちの態度が違い、差別を感じる。

【19】子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。



- 【理由1】 0歳児と1歳児がトイレを共同で使っており、排泄時間が重って混み合う事が多く、便座にゆっくり座らせられない事がある。
- 【理由2】 色々な事に制限があり、どこまでやるべきなのか考えさせられる。
- 【理由3】 18と同様（援助が必要な子どもに対しての職員配置を見なおしてほしい。）
- 【理由4】 給食時、職員の数が足りないと感じる時があり、スプーンの持ち方・食べ方・姿勢など、もっと丁寧に関わりたいと思うことがあった。
- 【理由5】 各年齢ごとに、基本的な生活習慣の獲得があるが、初めてそのクラスを持つ先生でもこのクラスになったら、〇〇を身につけられるようにする為に、この時間から保育活動や日々の生活の中で〇〇な保育活動や取り組みを意図的に取り入れていく等、新クラスになった際に、一年間の生活習慣の流れを職員間で丁寧に把握する場が4月のクラス会議等にあると、一年目の先生や初めてその年齢の主任になった先生でも、経験ある先生や主任からアドバイスが頂け、先の見通しも全体的に持ちやすいのではないかと考えます。今回、トイレトレーニング等の取り組みが遅く、4期にぎゅっと押し込まれた感じになっていた為、新年度の初めに確認の場があれば、もっといいタイミングで、スムーズに始める事ができたのではと思いました。
- 【理由6】 家庭ともっと話共有した方が、言うこともあると思う。

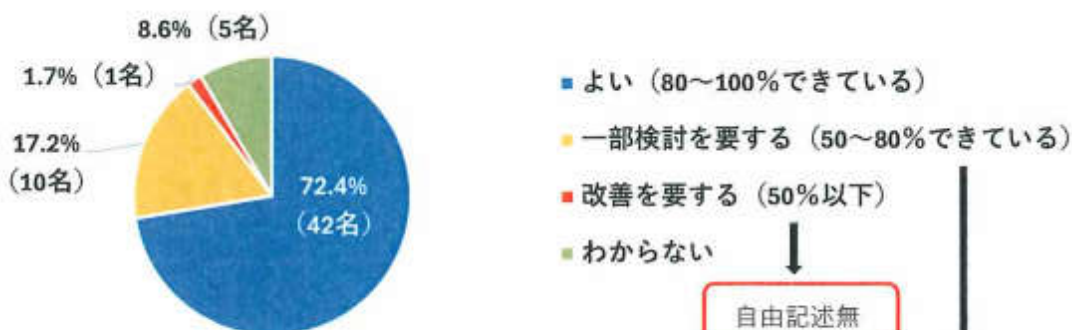
【20】子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。



【理由1】遊びを目標にしてる割に行事が多くそちらの方に時間をとられる。

- 【理由1】環境は整備できていると思うが、玩具が少ないので遊び込めない。
- 【理由2】子どもが興味を持つような遊びの展開を自身が提案出来ていないことがある。
- 【理由3】玩具の種類が少ない。自腹の私物保育道具が多い。
- 【理由4】年齢にあった遊びや玩具などもっと豊かにしていきたい。
- 【理由5】主体的に活動できる環境の整備が十分でない。保育者一人ひとりが主体的な活動について考え、実施することが必要である。
- 【理由6】生活と遊びを豊かにする保育は、展開できていると思います。しかし、環境を視点に置くと戸外遊びでは、長い時間子どもたちは自分の好きな遊びを思いっきり楽しむ姿や、飽きることなく最後まで遊び続ける姿があるのに対し、室内遊びになると保育者が準備した限られた物で遊ぶ為、戸外遊びに比べると飽きてしまう姿がしばらくすると見られます。しかし、室内も戸外と同じように、子どもたちが飽きずに遊べる保育環境作りをもっと作る事ができると思います。様子を見て玩具を入れ替えるという対応だけではなく、子どもの主体性を育む環境とはどんなものがあるのか、職員で個々に調べる等して、新しい考えを互いに持ち寄り、意見を出し合いそれを少しずつクラスで形にしていくことで、今よりもっと素敵環境作りをすることができると思います。

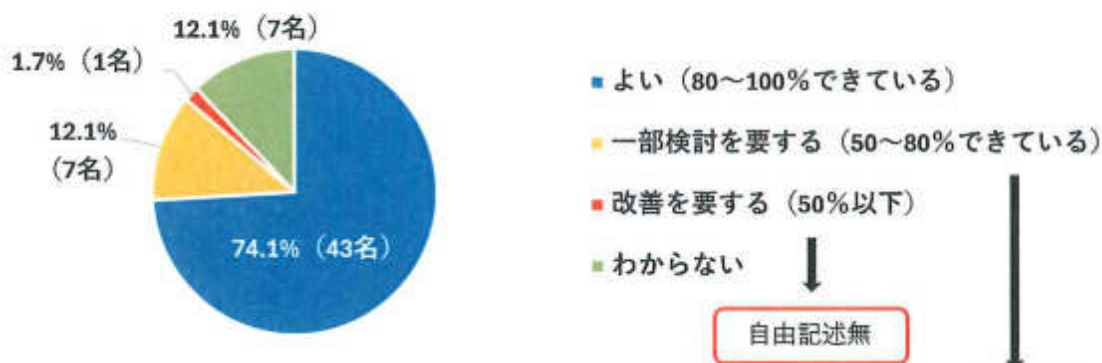
【21】乳児教育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。



自由記述無

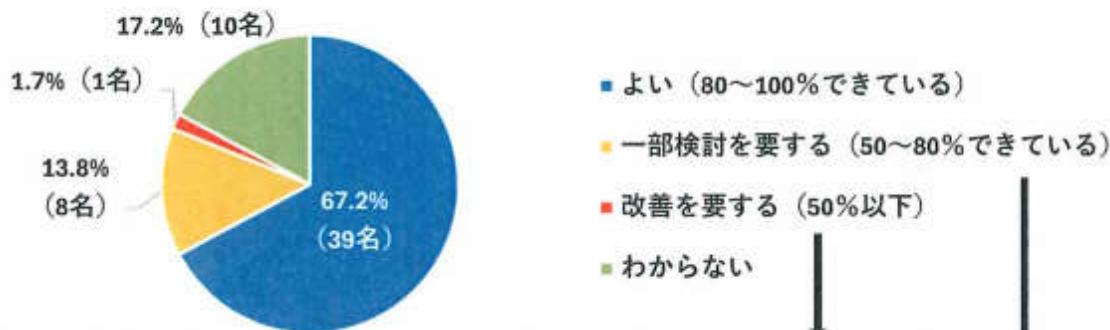
- 【理由1】保育室の広さやゆとりある保育者の人数が必要。
- 【理由2】睡眠時間が短い。
- 【理由3】環境を整える為に取り組んでいる最中である。
- 【理由4】玩具が少ない。自腹の手作り玩具が多い。

【22】3歳未満児（1・2歳児）時の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し保育の内容や方法に配慮している。



- 【理由1】 上記に同じ理由（保育室の広さやゆとりある保育者の人数が必要。）
- 【理由2】 少人数での保育が徹底されていない。保育園の方針として打ち出しているので、徹底しないといけない。
- 【理由3】 玩具が少ない。自腹の手作り玩具が多い。
- 【理由4】 養護に対してもっと丁寧に関わりたい。

【23】3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。



- 【理由1】 以上児になると職員の人数が少ない為、養護が必要な子に対しての援助ができない事が多い。

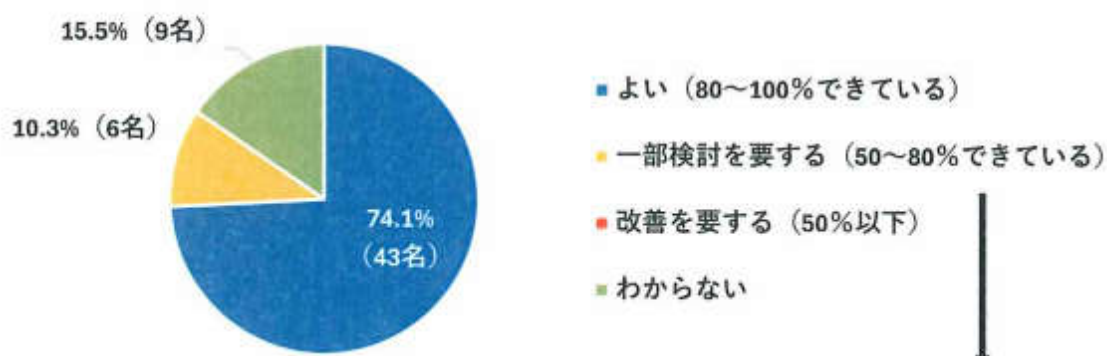
- 【理由1】 養護の点でギモンあり。
- 【理由2】 ケガが起きる事にビクビクして大胆な遊びが出来ない。
- 【理由3】 玩具（知育玩具も）が少ない。選択肢がない。
- 【理由4】 もっと子どもたちに色々な体験をさせたい。
- 【理由5】 一人ひとりを大切にしたい保育が不十分な時がある。

【24】配慮の必要な子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。（無解答1名）



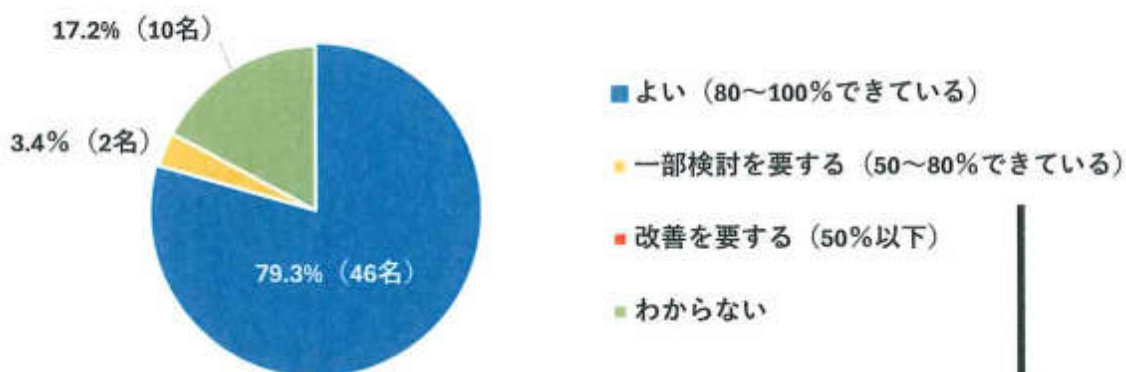
- 【理由1】 こまめな対応ができるように、保育者間で保育の検討を進めているところです。
- 【理由2】 専門的な分野でありながら、素人対応。
- 【理由3】 知識を持った保育者が対応している訳ではない。
- 【理由4】 23と同様（以上児になると職員の人数が少ない為、養護が必要な子どもに対するの援助ができない事が多い。）
- 【理由5】 加配保育士等配慮の必要な子どもに1人保育士がつけると園生活をその子どものペースに合わせて無理無く行う事が出来るかもしれない。
- 【理由6】 配慮の必要な子どもが、複数人ずついる為、配置基準より多めに職員がいても、手が回らない。
- 【理由7】 職員間の共有と声掛けがどの職員が入っても行えた方がいいと思う。
- 【理由8】 配慮の必要な子どもに対して、言葉掛けがきつい時がある。
- 【理由9】 個人的に加配としてつくことができればと思う。
- 【理由10】 各クラス、その子に合わせて、保育者か支援員等、加配が必要と感じる。

【25】それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。



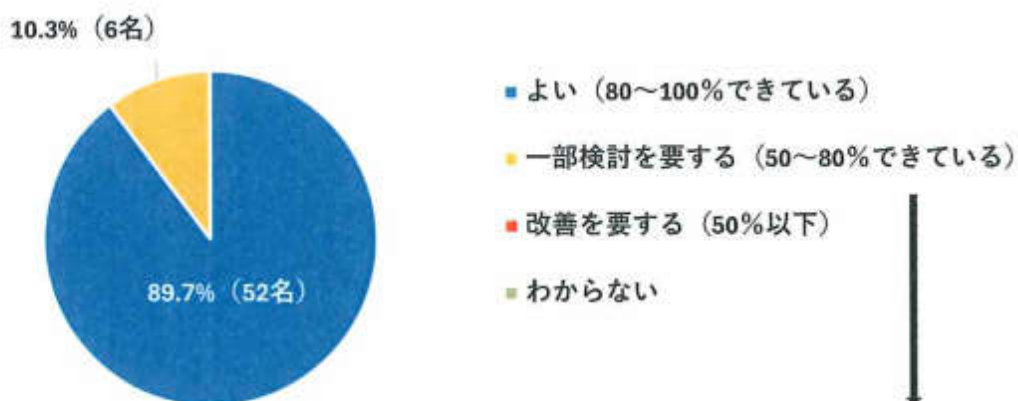
- 【理由1】 配慮しきれっていない。工夫が足りない。
- 【理由2】 未満時程、保育時間が長い子たちが多い。その職員数調整に苦慮している様子。朝に手厚くすると夕方が足りない。またその逆もあり。

【26】小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。



【理由1】一年を通した計画がない。もっと細かい計画が欲しい。

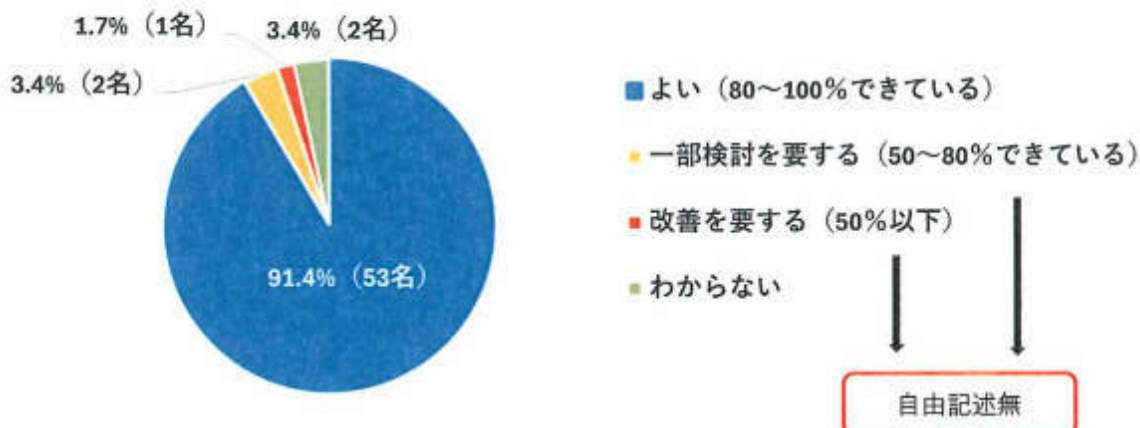
【27】子どもの健康管理を適切に行っている。



【理由1】職員の手が足らず、行き届かない。

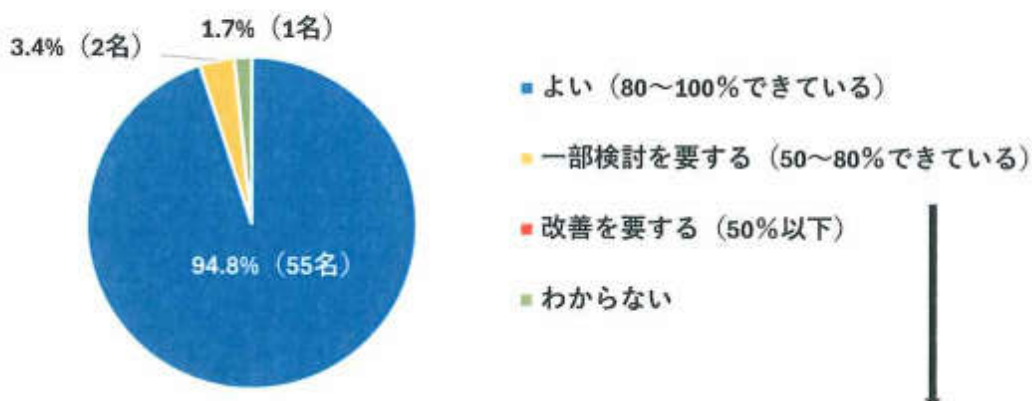
【理由2】体調不良時のお預かりに関して、保護者との意識にギャップを感じる。

【28】健康診断・歯科健診の結果は保護者へ伝え、保育に反映している。



自由記述無

【29】アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。



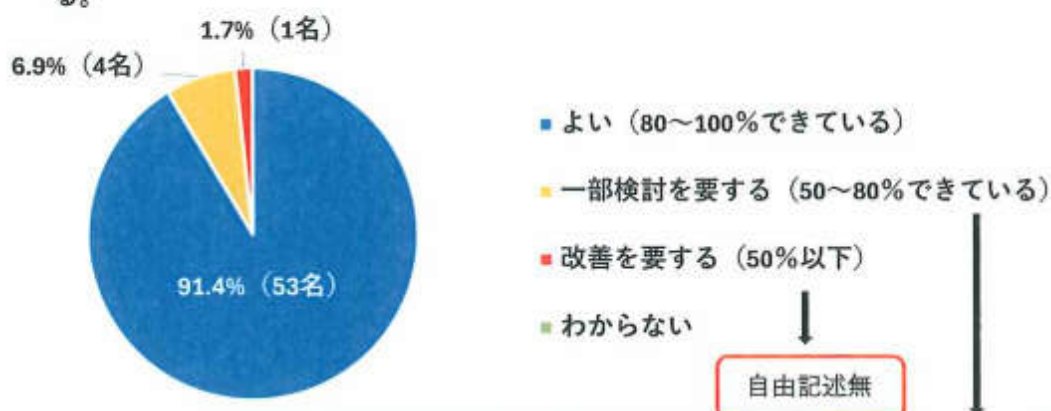
【理由1】日によって除去食があったりなかったりするが、ランチルームである子とない子が一緒に食べると、空間を分けている意味を失っているように思う。

【30】子どもの年齢に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で食事を楽しむことができる工夫をしている。



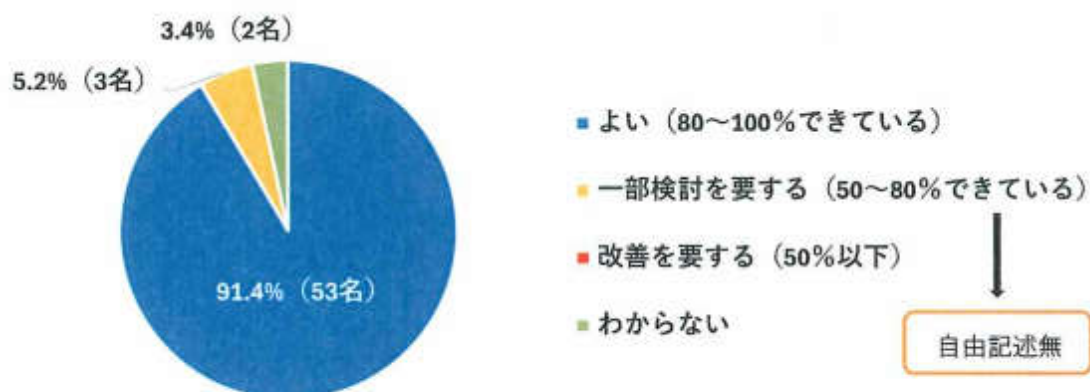
- 【理由1】一緒に食べる事がないので、箸の持ち方や食器の持ち方など個別に対応できていない。
- 【理由2】職員の目が足りないと感じることもある。
- 【理由3】ざわつき、ぎゅうぎゅうづめ。手が足りずきちんと教えてあげたいことも教えてあげられない。くやしい。
- 【理由4】落ち着いた環境で食べれない時がある。

【3 1】子どもが美味しく安心して食べることができる食事を提供している。

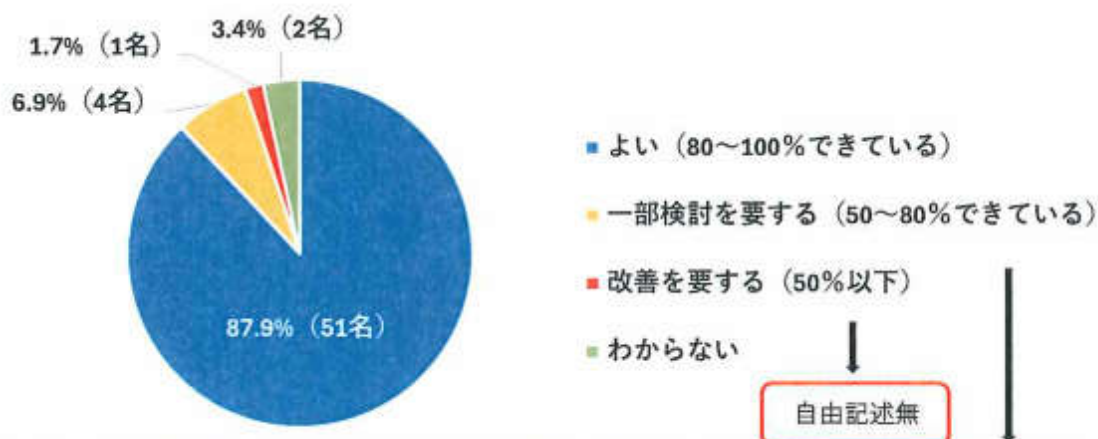


【理由1】給食室内での連携が弱い部分があった。保育同様に連携の強化が安心してたべる事につながる。

【3 2】旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。

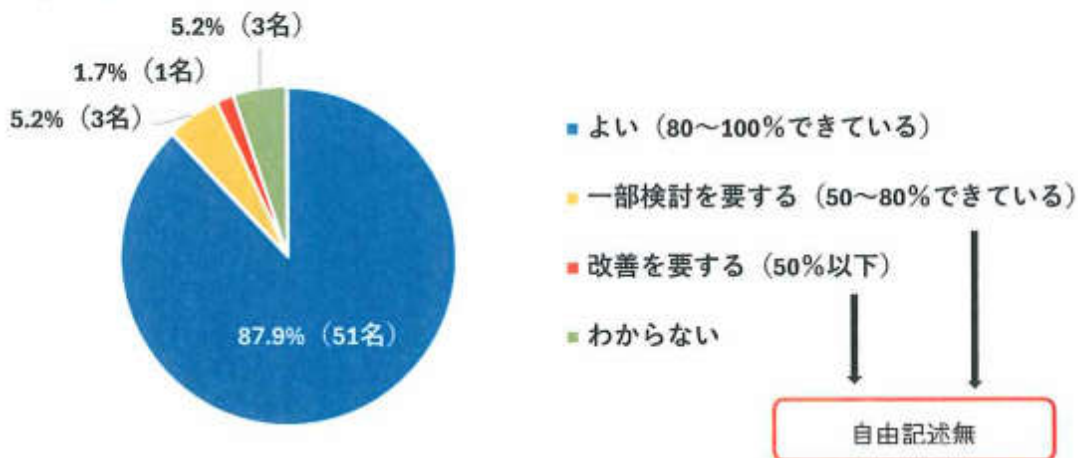


【3 3】子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。

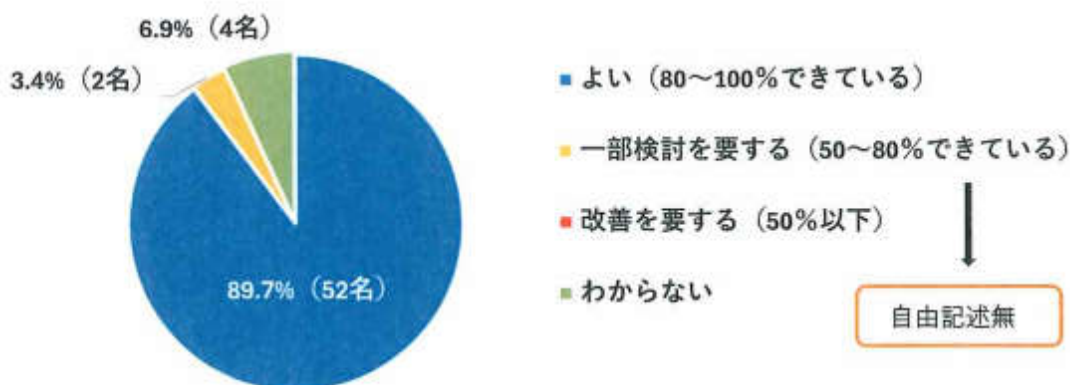


【理由1】もっと保護者と丁寧に話をしたい。
【理由2】家庭との連携が上手く取れず、ご意見を頂く事もあった。

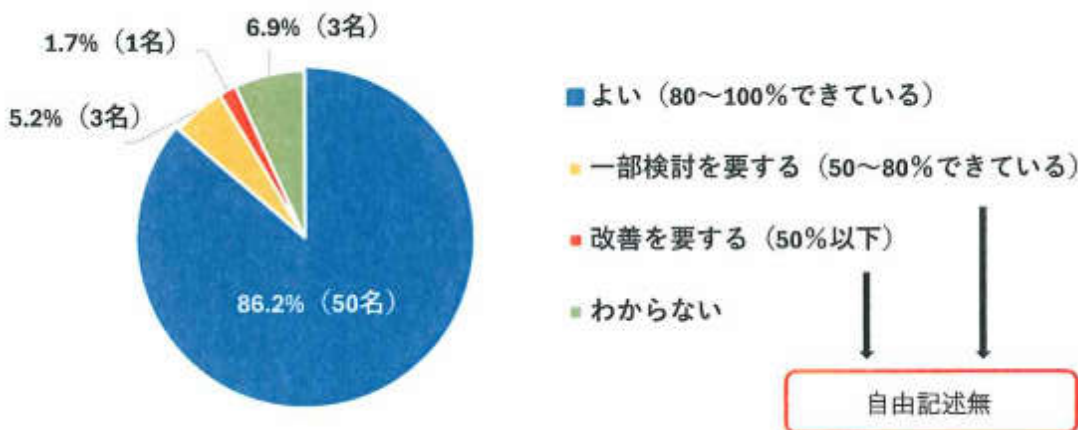
【34】保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。



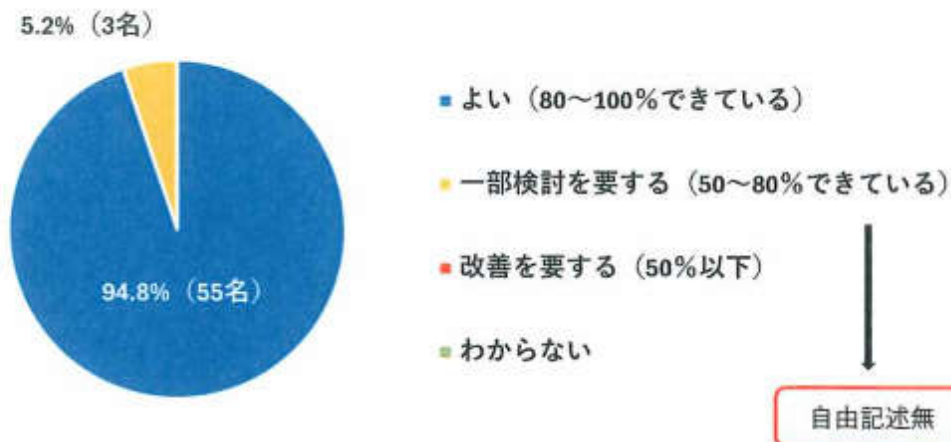
【35】家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。



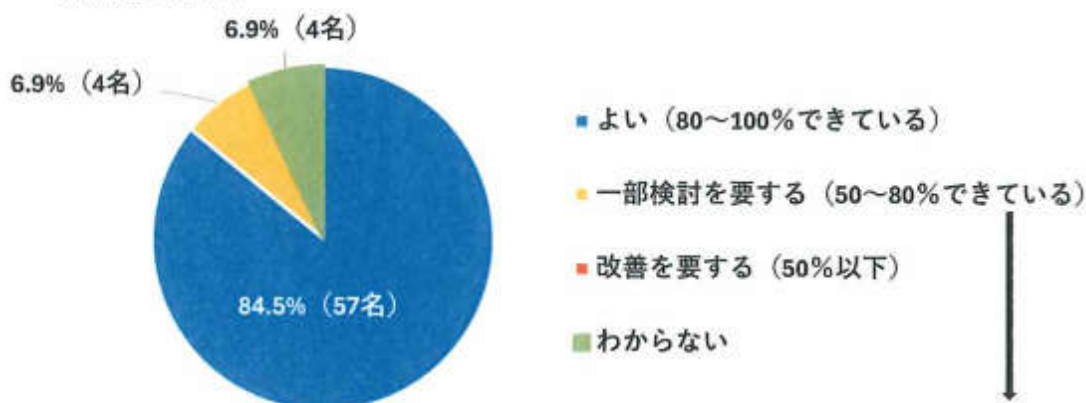
【36】保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の専門性の向上に努めている。（無回答1名）



【37】職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。

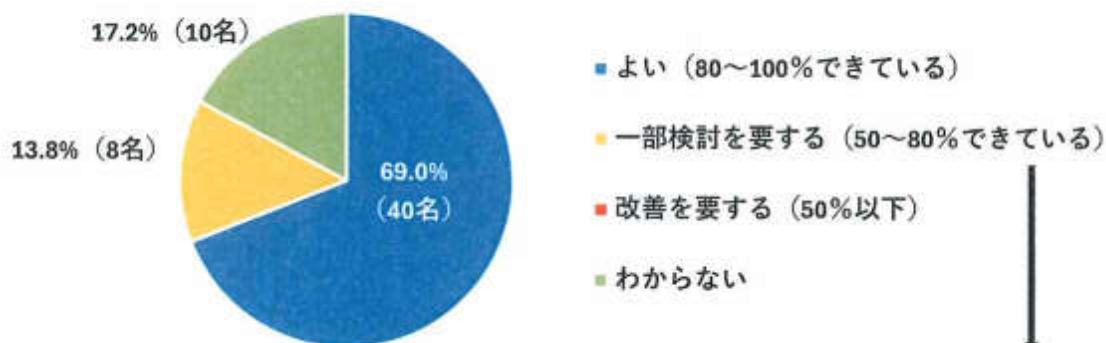


【38】運営の透明性を確保するため、基本理念や保育方針、苦情書の仕組み、事業計画等の情報がホームページ等で公開されている。
(無回答1名)。



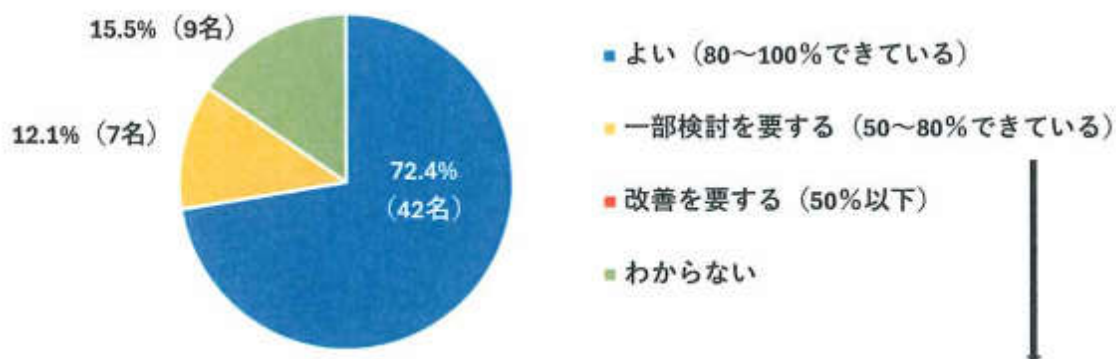
【理由1】されているはずだが、ごく一部と感じる。

【39】職員の家庭状況や健康面・メンタル面等、それぞれの意向を面談や日々の会話の中で把握し、一人ひとりが働きやすい職場づくりに取り組んでいる。



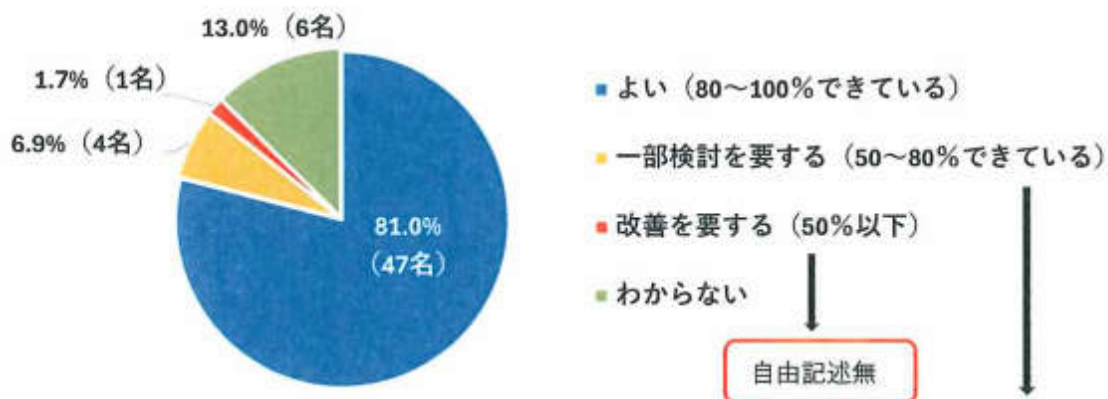
【理由1】色々話しても仕事の量はかわらない。

【40】職員一人ひとりの成長に合わせたアドバイス等が行われ、個人のスキルに必要な研修等の機会を設けている。



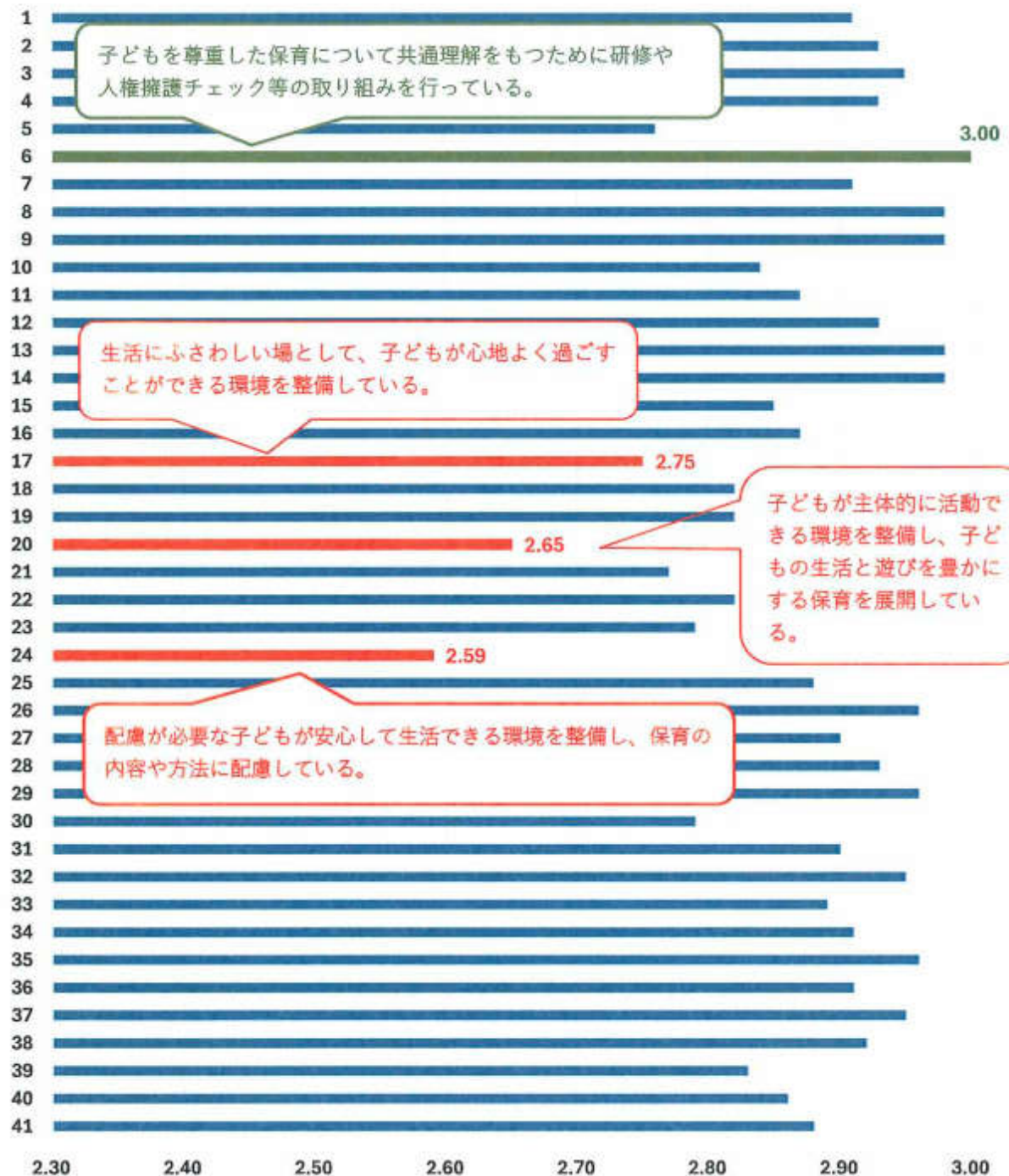
- 【理由1】全体としてはあるが、個々のスキルにあってはいない。
- 【理由2】出席している研修以外は内容（成長に合わせたアドバイス等）が把握できていない。
- 【理由3】（上記質問項目の「アドバイス」は）だから

【41】保育園において、職員の子どもへの不適切な対応の疑いがある場合は、すぐに対応を行っている。



- 【理由1】連絡帳のかえし忘れなどいけない事だと思うが、不適切だと判断され会議で言われると保育者のメンタルが傷つく。

【令和5年度 職員による保育園の自己評価】



3点：A=よい（80～100%できている）
2点：B=一部検討を要する（50～80%できている）
1点：C=改善を要する（50%以下）

※各項目のA～Cの評価を、上記の様に3点～1点に置き換えて平均点を算出した。「D=わからない」は平均点の算出から除いた。平均点が低い項目3つを赤色で、平均点が最高の項目は緑色で示した。

各月年齢別児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和5年4月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	12名	41名	42名	48名	45名	46名	234名
5月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	14名	41名	42名	48名	45名	46名	236名
6月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	17名	42名	42名	49名	45名	46名	241名
7月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	20名	43名	41名	49名	45名	46名	242名
8月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	26名	41名	40名	49名	44名	46名	246名
9月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	37名	43名	40名	49名	44名	46名	247名
10月1日	()	()	()	()	()	()	(0)
	30名	41名	41名	49名	44名	46名	251名
11月1日	(1)	(1)	()	()	()	()	(2)
	33名	42名	41名	49名	44名	46名	255名
12月1日	(1)	(1)	()	()	()	()	(2)
	37名	42名	41名	49名	44名	46名	259名
令和5年1月1日	(1)	(1)	()	()	()	()	(2)
	39名	42名	41名	49名	44名	46名	261名
2月1日	(1)	(1)	()	()	()	()	(2)
	39名	41名	40名	49名	44名	46名	259名
3月1日	(1)	(1)	()	()	()	()	(2)
	39名	41名	39名	48名	44名	46名	257名

- 注1 受託児(他の市町村からの受入児童)については上段()に再掲すること。
 2 年齢区分については、保育所月報と同様、通年制に基づいた年齢区分により記入すること。
 3 児童数は各月初日現在の数を計たすること(月中途入所児童数は含まない。)

地域支援事業

1. 社会貢献（地域交流等）事業

(1) 年間目標

- 1) 地域社会との連携を図り、子どもの健やかな環境づくりを行う。
- 2) 世代を超えた人々との触れ合いの中で、豊かな心を育む。

(2) 1) 地域社会との連携を図り、子どもの健やかな環境づくりを行う。

①計画と実践

(ア) 地域の行事等に参加し、地域の方との交流を深めた。

(イ) 保育活動や行事で、学生ボランティアやあかまっこ応援団のサポートや協力があった。

②評価と改善の課題

(ア) 地域の敬老会に参加をして、歌・ダンス・手品等を披露し、参加者からは、とても喜んでいただくことができた。

城山中学校の3年生6クラスが家庭科の授業で来園し、各クラスで保育活動を行い園児との交流を行った。

(イ) 引き続き、地域の方に保育園の活動を知らせ連携を図る。また、学生ボランティアやあかまっこ応援団の方に、行事や活動への協力をお願いする。

2) 世代を超えた人々との触れ合いの中で、豊かな心を育む。

①計画と実践

(ア) 2歳児～5歳児までの慰問を年間計画に取り入れた。

②評価と改善の課題

(ア) 日頃お世話になっている場所や



2. 子育て支援事業

1) リフレッシュタイム

(1) 年間目標

①保護者が子どもから離れ、少しでも自分の時間を持つことでリフレッシュできる時間と場所の提供を行う。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 「クリスマスリース作り」「アレジメント作り」を計画し実践した。また、託児を行った。

(イ) アンケートを実施した。



②評価・改善の課題

(ア) 参加者同士がリラックスして話をしながら、参加していた。

- (イ) アンケートの内容 「クリスマスリース作り」
- ・楽しくリース作りができた。初めての託児で不安もあったが、また参加したい。
 - ・とても楽しく集中して作ることができた。託児もありがとうございました。
 - ・久しぶりに自分だけの時間がとれて、リフレッシュになった。



2) 園見学

(1) 年間目標

- 1) 園の環境や保育を見て頂くことにより、当園の保育理念や保育方針を理解して頂く。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) 電話で受付を行い、可能な限り保護者の希望に日時を合わせて、お子さんの年齢のクラスを中心に案内を行った。
- (イ) 保育方針・少人数制での保育・アレルギー児の食事対応・手ぶら登園（「おむつ」と「おしりふき」を持参する必要がないシステム）・保健室等についての説明を行った。
- (ウ) 見学から、質問を聞き答えた。

②評価・改善の課題

- (ア) 今後も、可能な限り保護者の希望の日時に見学を行い、各クラスを案内する。
- (イ) 引き続き、0歳児の保護者には、午前10時か午後2時の離乳食の時間に案内をして、食事状況を見ていただくようにする。説明は、丁寧で分かりやすく行うように心がける。
- (ウ) 一方的に説明するのではなく、保護者からの質問や不安に思うこと等の話にも、丁寧に対応することを心掛ける。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
4家族	5家族	5家族	8家族	4家族	12家族
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8家族	8家族	0家族	4家族	9家族	7家族

3) ママとキッズのなかよしクラブ

(1) 年間目標

- 1) 季節感のある保育や、家庭では体験できない保育を親子で楽しむ。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) 「魚釣りごっこ」「おまつりごっこ」「感触あそび」「運動会ごっこ」「クラス参観」「クリスマス会」「お正月あそび」を計画し行った。





(イ) 毎回アンケートを実施した。

②評価・改善の課題

(ア) 「魚釣りごっこ」

魚の形の色画用紙にシール貼りやペンで絵を描いて魚を作り、魚釣り遊びを行った。ペンが油性のため手や洋服についた子どもがいた。次回は水性ペンかクレヨンを使用する。

・「おまつりごっこ」

金魚すくい・お面・ボーリング等を行った。参加者は、5歳児の手伝いをとても喜ばれていた。「クラスの見学をしたかった」という意見があったため、今後は地域支援の最後に希望を聞き、必要に応じて案内を行う。

・「感触あそび」

暑い日だったので、氷や水・寒天遊びは、とても喜ばれた。今後は、予約時にアレルギーの有無を確認して、小麦粉粘土遊び等も取り入れていきたい。

・「クラス参観」

子どもの年齢のクラスに入り、保育活動に参加した。事前に参加者がクラスに入ることを担任に知らせていたため、クラス全体で温かく迎え、一緒に保育に参加できる雰囲気作りがされていた。入所を考えている方の参加もあり、園児の活動の様子や成長を興味深く見ていた。

・「運動会ごっこ」

3階ホールを広く使い、万国旗等も飾って運動会の雰囲気作りを行った。プログラムは、赤間保育園の運動会の内容から選んで行った。5歳児の手伝いが喜ばれた。また、4歳児と一緒にバルーンを行ったことも、とても喜ばれた。今後も園児と関わりながら、家庭ではできない内容を取り入れていく。

(イ) アンケートの内容

「魚釣りごっこ」

- ・お魚作り、シールやお絵描きも大好きで楽しめた。
- ・園児さんの歌もかわいくて癒された。
- ・子どもが集中して魚作りに取り組んでいた。

「おまつりごっこ」

- ・楽しかった。
- ・ハッピーマスクも祭り感が出ていて良かった。
- ・家ではできない遊びで刺激になった。
- ・年長さんの手伝いが上手でほほえましかった。

「感触あそび」

- ・家ではできない体験ができてよかった。
- ・いろいろなものに触れて、とても楽しそうだった。
- ・小さなものは袋に入れてあり、配慮されていたので、安心して遊ばせることができた。
- ・たくさんの友だちとの交流がよい刺激になった。

「運動会ごっこ」

- ・4歳児のバルーンの演技と笑顔に感動しました。
- ・みんなが参加しやすい内容でよかった。
- ・参加型のイベントは初めてだったが、とても楽しかった。

「クリスマス会」

- ・クリスマスの雰囲気が楽しめた。
- ・紙芝居・クリスマスツリーの星つけ・鈴を使ての歌遊び、とても楽しかったです。
- ・サンタさんに会えてよかったです。
- ・ツリーがかわいかったです。

「お正月あそび」

- ・こま作りのシール貼り・お絵描き楽しそうでした。
- ・もちつきの疑似体験、なかなかできないので経験できてよかったです。
- ・先生が親しみやすく子どもも喜んでいました。
- ・いつも楽しい企画をありがとうございます。

4) 個別カウンセリング

(1) 年間目標

- 1) 子育ての悩みや不安を解決する。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) 予約制で行った。予め質問内容を海塚先生に渡していた。3階の一室で海塚先生と保護者のみでゆっくりと話ができるようにした。

②評価・改善の課題

- (ア) 次年度も、引き続き予約制で行う。また、保護者の中で、子育てに悩みや不安を持たれている方に対して個別カウンセリングの案内をする。

5) お月見コンサート

(1) ねらい

- 1) ピアノトリオと声楽の生演奏を地域の方々に聞いていただき、心の安らぎや癒しを感じていただく。また、地域との交流を図る。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) ポスターを作成し、地域の公共施設（公民館・コミュニティセンターなど）に掲示し、広く呼び掛けた。また、以前来てくださった方には、案内を送った。



(イ) プログラムは演奏者の方で決め、どの年齢でも楽しめる内容だった。また、参加型のプログラムも行った。

②評価・改善の課題

(ア) 約130名の方が来園した。親子での参加は、約15家族あり、そのうち8家族が赤間保育園の園児の家族であった。

(イ) 今後の参考のために、アンケートを行った。

お月見コンサート アンケート集計結果

♪年齢・性別をご記入下さい。(○をしてください)

【年齢】10代・20代(2名)・30代(11名)・40代(7名)・50代(9名)・
60代(11名)・70代(18名)・80代(6名)

【性別】女性(40名)・男性(24名)

♪お月見コンサートをどこでお知りになりましたか?

① 保育園からのお知らせ(55名) ②ポスター ③その他(知人より:10名)

♪本日は、どちらからお越し頂きましたか?

① 宗像市(48名) ②福津市(6名) ③古賀市(2名) ④遠賀郡(2名)
⑤その他(福岡市:5名 北九州市:1名 田川郡:1名 不明:1名)

♪本日のお月見コンサートは、いかがでしたか?

1番好きだった曲や心に残った曲がありましたらお書き下さい。

・パプリカ・チャールダーシュ・リトルマーメイド・時代・ブルー シャットウ・アシタカとサン他

♪今後、お聞きになりたいリクエスト曲がありましたらお書き下さい。

平成・令和の曲、愛燦燦、美女と野獣、手紙のないおくりもの、映画音楽、ニューシネマ、
パラダイス、洋画「ひまわり」、ユーレイズミーアップ、宙船、糸、イーゴリハーム、
ダッタン人の踊り、バガニーニ、少年時代、踊り明かそう、タッチ、秋桜、ジブリメドレー、
キミシダイ列中、ボレロ、モルダブ、踊る大捜査線、サウンドオブオレインス、男性歌手の曲

♪本日のコンサートへのご意見やご感想などありましたらお書き下さい。

- ・とても素晴らしかったです。来年も来たいです。
- ・歌がもっと好きになりました。
- ・生の楽器の音で心が安らぎました。
- ・いつもコンサートを聞いてくださってありがとうございます。
- ・生の演奏を聴く機会が少ないので良かった。
- ・素敵なひと時をありがとうございました。
- ・子どもも楽しんでいて、生演奏を堪能することができました。
- ・ご多忙の中、準備から練習まで本当にお疲れさまでした。
- ・ピアノが素晴らしく感動しました。
- ・これからも素敵な音をたくさん聞かせてください。
- ・マツケンサンバⅡ大変楽しかったです。
- ・毎日忙しく働いています。年に一度元気もらっています。
- ・子どもたちが歌って踊ってかわいかったです。

- ・間近で楽器を演奏されているのを見て、子どもたちにとって大変良い経験になりました。
- ・おもてなしの心が伝わる温かいコンサートでした。
- ・子どもたちが可愛かったです。歌もすごかったです。
- ・生演奏が聞けて楽しかったです。先生方のダンスも素敵でした。
- ・幅広い年齢層の方が楽しめる素敵なコンサートでした。
- ・子どもも一緒に参加できてよかったです。
- ・毎年続けて頂ければ嬉しいです。
- ・子どもたちも楽しめる楽曲がたくさんあり、感動しました。
- ・カードやポンポンを用意されていて、より楽しく歌が楽しめて良かったです。
- ・たくさんの世代の方がリラックスされて楽しまれていて私も楽しませていただきました。
- ・職員のみなさんのおもてなしの気持ちが伝わってきました。挨拶が素晴らしいですね。
- ・ドラえもんなどの主題歌は難しいでしょうか。
- ・照明や司会を工夫されてみてはいかがでしょうか。エレクトーンも良いですよ。
- ・ステージ上で、楽器の演奏をされてはいかがでしょうか。
- ・今回はなんとなく騒がしく落ち着きがない印象でした。
- ・ドレミの歌のようなパネルで参加できる曲がもう1曲あれば子どもたちが静かに聞くことができるのでは。

6) ぽかぽかコンサート

(1) ねらい

- 1) 生演奏による音楽を親子で楽しむ。



(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) ポスターを作成し、地域の公共施設

(公民館・コミュニティセンターなど)に掲示し、広く呼び掛けた。また、令和5年度に地域支援にくださった方には、案内を送った。

- (イ) プログラムは演奏者の方で決め、乳幼児が親子で楽しめる内容だった。

また、楽器(鈴・タンバリン・カスタネット)を使用した参加型のプログラムも行った。

- (ウ) アンケートを実施した。

②評価・改善の課題

- (ア) 19名家族(59名)が来園した。

- (イ) 園児もコンサートに参加し、歌・手遊び・ダンスを一緒に行ったため、とても楽しいコンサートになった。

- (ウ) 初めてプロジェクターを使用してコンサートを行うことで、視覚でも楽しめるコンサートであった。また、歌詞を映し出したことで、保護者が一緒に歌ってくれた。

- (エ) 今後の参考のために、アンケートを行った。



ぽかぽかコンサート アンケート集計結果

<p>Q1.今回、ぽかぽかコンサートは初めてのご参加ですか</p>	<p>初めて：6名 2回目：1名</p>
<p>Q2.ぽかぽかコンサートをどこでお知りになりましたか。</p>	<p>保育園からのお知らせ：2名 ポスター：3名 保育園からのお知らせとポスター：2名</p>
<p>Q3.本日はどちらからお越し頂きましたか。</p>	<p>宗像市：7名</p>
<p>Q4.本日のぽかぽかコンサートは、いかがでしたか。お好きだった曲や心に残った曲がありましたらお聞かせください。（複数回答可）</p>	<p>とんとんとんとんアンパンマン：4名 バンダ うさぎ コアラ（丁あそび）：1名 おもちゃのチャチャチャ（楽器）：3名 山のおんがくか（楽器）：3名 レミのうた：3名 小さな世界：3名 星の願いを：1名 チャールダーシュ（ピアノトリオ）：6名 情熱大陸：2名 ジャンボリミッキー：6名 アナと雪の女王：1名</p>
<p>Q5.よろしければ Q4 で選ばれた曲の理由をお聞かせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな子どもと一緒に楽しめてよかった ・ジャンボリミッキーはダンスが楽しかったのです。 ・情熱大陸はソフトバンクホークスに曲とのマッシュアップが素晴らしいかったです。 ・小さな世界は各国の曲を聞いて楽しかったです。知っている曲だったため ・子どもに毎日歌っているものでアンパンマンをとても喜んだ。 ・奏者が側まで来てくれて、子の反応を見ながら演奏してくれるライブを経験することができ、大変嬉しかった。 ・ヴァイオリンの迫力が素晴らしいのと、参加型の構成で楽しかったので印象に残りました。 ・娘が休を揺らしたり踊ったりして楽しんでいたので。 ・楽器を持って参加出来るのは子ども達がテンション上がってました。
<p>Q6.今後お聞きになりたいリスト曲がありましたらお聞かせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマンマーチ（2名） ・アンパンマン体操など ・美味しんぼの曲がききたいです！ ・サンナン体操 ・となりのトトロ ・仔犬のワルツ ・ツバメ

	<p>・幸せなら手をたたこう♪</p>
<p>Q7.本日のコンサートへのご意見やご感想などありましたらお聞かせください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とんとんとんとんジャンバンマンをもう少し長くやってほしかったです。 ・想像以上に本格的なコンサートで楽しかったです。 ・親子ともども楽しめてよかったです！ ・初めての場所で子は緊張からか、普段のようなノリノリで楽しんでいる様子ではなかったものの、貴重な至近距離での演奏、少しお見さんお姉さんの上手なダンスなど、大変素敵な演奏会でした。 ・子は現在一歳8ヶ月で、母である私の好みにより何度か子ども向けやそれ以外の音楽イベントに連れて行きましたが、特別に良いものだと感じました。 ・会場の雰囲気の良いさといえますか、演奏者の方々の温かさがとても嬉しく、園の先生方もきっとお人柄が素晴らしいのだろうなと思わせるような笑顔で迎えてくださり、観客の他のお子さんたちも自然に楽しんでいる様子を感しました。もちろん、音楽そのものも素晴らしいのですが、みんな、楽しんでねー！という思いが音楽に兼せてちゃんと伝わってきて、本当にみんな楽しんでる！！というのが実感できたことが自分でもびっくりするほど嬉しくて、感激しました。 ・このような機会を設けてくださり、感謝します。本当にありがとうございました。とても楽しめました！親子みんなで楽しめる構成になっていてあっという間の1時間でした。生演奏を聴ける機会が減りに無いため楽器の迫力に感動しましたし、保育士さん達の可愛いダンスや園児達の歌声も素敵でした。貴重な経験ができたなと思います。また来年も参加したいです！ありがとうございました。 ・普段触れることがなかなかないバイオリンやチェロの音色を聴くことができ、とても貴重な時間を過ごせました。また来年も参加したいと思います。 ・バイオリンを近くで見れて興味深々でした！ ・ジャンボリミッキー踊れるように練習してくれば良かったです！笑 親子共に楽しく過ごせました！ありがとうございました♡

7) おひさまランチ・おやつを食べよう

《事業内容》

①対象：0歳～就学前の乳幼児とその保護者、定員：5組、費用：無料

②内容：給食メニュー、たなぼたランチ、ハロウィンランチ

6月	7月	9月	10月
7日(水) 「保育園きゅうしょく」 ・胚芽ごはん ・大豆といりこの揚げからめ ・ピーマンの塩っぺ和え ・手まり府のすまし汁 ・オレンジ 【 2家族 】	7日(水) 「たなばたランチ」 ・コーンご飯 ・七夕冷やし中華 ・夏野菜スープ ・天の川ゼリー 【 5家族 】	6日(水) 「保育園きゅうしょく」 ・五分づきご飯 ・鶏肉のマーマレード焼き ・コロコロサラダ ・コーンクリームスープ ・りんご 【 4家族 】	31日(木) ハロウィンランチ ・ロールパン ・かぼちゃグラタン ・魔女のグラタン ・きのこスープ 【 3家族 】

(1) ねらい

1) 食べることの楽しさを知り、旬の食材や行事食を味わう。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 上記の内容を計画し実践を行った。また、毎回アンケートを実施し、必要に応じて次回改善を行った。

(イ) 参加者同士で話ができる場や、給食担当職員も参加者と直接話をする時間を設けた。

②評価・改善の課題

(ア) アンケートの内容

6月 ・ランチはもちろん、制作や絵本も読んでいただき、楽しく過ごせました。

・職員の方に、たくさん声をかけていただき、嬉しかったです。

・彩や味付けの勉強になりました。

7月 ・メニューの作り方や日頃の調理方法などについてきくことができ、とても参考になりました。

・雰囲気よかった。

・おいしい給食と制作、そして、先生の優しさで幸せでした。

9月 ・子どもがたくさん食べてくれて良かったです。

・美味しそうに食べてくれて、嬉しかったです。

10月 ・子どもの食事量の参考になりました。

・先生方の対応がすごくよかった。

8) おやつをたべよう

《事業内容》

①対象：0歳～就学前の乳幼児とその保護者、定員：5組、費用：無料

8月	11月
3日(木) ・卵なし人参ケーキ ・鮭おにぎり ・パインゼリー ・麩のラスク 【 3家族 】	7日(火) ・チーズ蒸しパン ・人参クッキー ・マカロニスープ ・しゃけおにぎり 【 3家族 】

(1) ねらい

1) 手作りおやつを味わう。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 上記の内容を計画し実践を行った。また、毎回アンケートを実施し、必要に応じて次回改善を行った。

(イ) 参加者同士で話ができる場や、給食担当職員も参加者と直接話をする時間を設けた。

②評価・改善の課題

(ア) アンケートの内容

8月 ・種類が多く、野菜や果物もとれて美味しかった。

・初めての参加だったが、子どもも楽しくおいしく食べていたよかったです。

11月 ・野菜たっぷりで、おいしかったです。

・スープ、優しい味でよかったです。

・普段あまり食べないメニューで新鮮でした。

3. 世代間交流

1) 同窓会

(1) ねらい

1) 保育園時代の友だちとの再会を楽しむ。

2) 友だち、保育者と遊ぶ事を懐かしみ、遊ぶ。

(2) 計画・実践と評価と改善の課題

1) 保育園時代の友だちとの再会を楽しむ。

①計画と実践

(ア) 昨年の担任が出迎え、卒園児が楽しく過ごせるようにした。

(イ) 卒園児39名中、37名の参加であった。

②評価と改善の課題

(ア) 一人ひとりの名前を呼んだり、挨拶を行ったりした。また、保育者が小学校生活はどうであるか、小学校に行って何が一番面白いかなど聞き、友だち同士で楽しい会話が広がっていた。

2) 友だち、保育者と遊ぶ事を懐かしみ、遊ぶ。

①計画と実践

(ア) 運動会のプログラムから、子どもが好きだったかけっこやリレー等を行った。

②評価と改善の課題

(ア) 事前にお茶の準備等を行う必要があった。

(イ) 保護者からは、「もっと同窓会をしてほしい」という意見が多くあった。

2) 勤労感謝訪問（手作りカレンダー渡し）

(1) ねらい

1) 日頃お世話になっている地域の方々を訪問し、感謝の気持ちを伝える。

(2) 計画・実践と評価と改善の課題

1) 日頃お世話になっている地域の方々を訪問し、感謝の気持ちを伝える。

①計画と実践

(ア) 全園児による手作りカレンダーを作成した。

(イ) 2歳児から5歳児の園児が、日頃お世話になっている地域の方々を訪問し、感謝の気持ちを伝えた。

②評価と改善の課題

(ア) 全園児による手作りカレンダーは、とても喜ばれた。

(イ) 前年度のカレンダーを飾っているところもあった。

(ウ) 今後も、全園児による手作りカレンダーを持って地域の方々を訪問し、感謝の気持ちを伝えるとともに、交流を深めていきたい。

4. 保育士派遣事業

(1) 年間保育目標

- 1) 親子での親睦を深め、遊びを楽しもう。
- 2) 様々な親子と関わるきっかけを作ろう。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

1) 親子での親睦を深め、遊びを楽しもう。

①計画・実践

(ア) 季節にあった保育や家庭では体験できない保育を計画し実践した。

「梅雨や時の記念日にちなんだ内容」「運動会ごっこ」「お正月遊び」

(イ) 毎回アンケートを実施した。

②評価・改善の課題

(ア) 親子で楽しんでいる姿が多く見られた。今後も、南郷会館の担当者と打ち合わせを行いながら、季節感があり、家庭では体験できない楽しい保育を計画していく。

(イ) アンケートの内容

6月「梅雨や時の記念日にちなんだ内容」

- ・ お話・シアター・歌・ダンスは、家ではすることがないので楽しめた。絵本も読んでいただけて嬉しかった。
- ・ お絵描きや手人形、子どもが喜んでいました。歌は、一緒に歌える曲だったのでよかったです。

10月「運動会ごっこ」

- ・ とても楽しかった。
- ・ 赤ちゃんですが、運動会を味わうことができた。
- ・ 「もう一回やりたい」という娘の要望に答えて頂き、娘も大変満足した様子だった。
- ・ メダルや音楽、運動会のグッズ等、準備ありがとうございました。

1月「お正月遊び」

- ・ 子どもが楽しそうにしていたのでよかったです。
- ・ 私が子どもと話すことが苦手なので、いつも勉強させていたがいています。
- ・ 子どもが初めて見る・体験することばかりで、わくわくしました。
- ・ おおきなかぶの劇ともちつきは、参加したいと反応があったので、嬉しかった。
- ・ 0歳児でも、楽しめるものがあればよいと思います。

2) 様々な親子と関わるきっかけを作ろう。

①計画・実践

(ア) 季節感のある保育や親子で楽しめる保育を計画した。

(イ) 開始前・保育中・休憩時間など、積極的に参加者や子どもたちに声かけを行った。

②評価・改善の課題

(ア) 参加者や子どもたちとの関わりは多く持つことができた。今後は、保育園からの派遣保育なので、専門性を活かした話や子育て相談なども行っていきたいと思う。

(イ) 事前に参加者の年齢や人数を確認して、今後も楽しい保育を提供する。

《事業内容》・社会貢献事業 ・子育て支援事業 ・保育士派遣事業

4月	5月	6月
	<ul style="list-style-type: none"> ● 7日(日) 陵巖寺地区一斉清掃 ● 21日(日) 赤間地区一斉清掃 ● 17日(水) ママキッズ 「園開放」(3組参加) ● 13日(土) 小学1年生 同窓会 	<ul style="list-style-type: none"> ● 14日(水) 保育士派遣事業 「プラ板・腕時計作り」 (2組参加) ● 28日(水) ママキッズ 「魚釣りごっこ」 (5組参加) ● 7日(水) おひさまランチ (組参加)
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ● 7日(金) たなばたランチ ● 15日(土) 童謡まつり ● 27日(水) ママキッズ 「おまつりごっこ」 (2組参加) ● 城山中学校3年生 家庭科授業での保育体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3日(水) おやつをたべよう ● 6日(土) 個別カウンセリング 海塚 敏郎氏 (4組参加) ● 30日(水) ママとキッズ 「感触あそび」 (10組参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 7日(水) おひさまランチ (2組参加) ● 20日(水) ママキッズ 「クラス参観」 (3組参加) ● 17日(日) 赤間地区一斉清掃 ● 18日(月) 陵巖寺地区一斉清掃 ● 18日(月) 王丸敬老会参加
10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> ● 7日(土) お月見コンサート ● 11日(水) 保育士派遣事業 「運動会ごっこ」 (4組参加) ● 14日(土) 運動会 ● 18日(水) ママとキッズ 「運動会ごっこ」 (10組参加) ● 31日(水) ハロウィンランチ (4組参加) ● 城山庵との交流(5歳児) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 6日(月) ～勤労感謝週間 (2.3.4.5歳児) ● 7日(火) おやつをたべよう (4組参加) ● 29日(水) リフレッシュタイム 「クリスマスリース作り」 (4組参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 20日(水) ママキッズ 「クリスマス会」 (10組参加) ● 9日(土) ライフステイむなかたとの交流 (遊戯会ライブ配信)
1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 10日(水) ママキッズ 「お正月遊び」 (6組参加) ● 10日(水) 保育士派遣事業 「劇遊び・こま作り・ もちつきごっこ」 (6組参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 8日(木) リフレッシュ タイム「アレンジメ ント作り」(3組参 加) ● 24日(土) ぽかぽかコンサート 	

●● : 実施

研修報告

園内研修

(1) 年間目標

1) 保育者の資質向上を図る。

4月	5月	6月
(6) エビベン研修 20名 (25) 安全計画についての 研修 59名	(18) 接遇研修 36名 (24) 接遇監修 23名 (25) 人権研修 57名	(27) ハラスメント研修 58名
7月	8月	9月
(18) 人権研修 16名 (21) 人権研修 20名 (24) 人権研修 19名 (25) 手遊び研修 61名	(3) 幼児安全法講習会27名 (4) 幼児安全法講習会31名 (29) ソジオ体操研修54名	(26) 手遊び・運動会種目遊 び研修 57名
10月	11月	12月
(27) キラキラ棒作り50名	(28) ラーメン体操・○○と いえばゲーム 56名	(22) 伝承遊び研修 55名
1月	2月	3月
(29) プライバシー保護研修 52名	(27) 保育所保育指針研修 55名	

(2) 計画と実施・評価と改善の課題

1) 保育者の資質の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 園内で研修会を行うことで、より身近な情報について研鑽し、職員の共通理解を図れるようにした。

②評価と改善の課題

(ア) 園内で研修を行うことにより、多くの職員が時間内に交代で研修を受けることができた。また、一部の研修は、職員会議の後半でレクリエーションも含めた研修会を行うことで、より多くの職員が同じモチベーションの中で自己研鑽を行うとともに、職種を超えてコミュニケーションをとり合い互いに話しやすい環境づくりを行うことができた。

【1】人権研修

(1) 年間目標

1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 人権意識の向上を図るために、継続的に研修を実施した。

・5月・・・「人権擁護のためのセルフチェックリスト」

ねらい：子どもを尊重することや、子どもの人権擁護について意識を高め、自らの保育を振り返る。

- ・6月・・・福岡ジェンダー研究所理事の横山美栄子先生講演「職場のハラスメント防止～活気ある職場づくりのために～」。

ねらい：様々なハラスメントについて考え、お互いを尊重し、一人一人の個性や能力を発揮できる職場を目指す。

- ・7月・・・「不適切対応」について考える。

ねらい：いろいろな事例から、適切な対応への関わり方を考え自身の対応を振り返る。

②評価と改善の課題

(ア) 5月は、全国保育士会が作成した「ヤルフチェックリスト」を使用して研修を行った。人権擁護の視点から自分自身を振り返り、「よくない対応」をしないためにはどのように気を付けていけばいいのかを考える機会となった。

6月は、福岡ジェンダー研究所より講師を招き、様々なハラスメントについて知識を深めた。「ハラスメント」とは、(相手よりも)優位な立場を利用したいじめや嫌がらせなどをさし、そのような職員同士の関りを見逃さないようにしなければならない。誰もが快適に働ける場所を作るためには、お互いを尊重し合い人間関係を良好にするために気遣いを忘れてはいけないことを学んだ。

7月は、子どもに対する不適切な対応について、事例を挙げグループで意見を出し合った。そこから自身の日ごろの保育についても振り返り、「子どもを尊重する関り」について認識を深めた。このような研修は、次年度も継続して行っていきたい。

【2】接遇研修

(1)年間目標

- 1) 基本の接遇を理解し、信頼関係を構築するために必要なコミュニケーション能力の向上を図る。

(2)計画と実践・評価と改善の課題

- 1) 基本の接遇を理解し、信頼関係を構築するために必要なコミュニケーション能力の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 講師を招いての研修を実施した。新任職員向けと2回日の受講者向けとがあり、それぞれに仕事の目的(企業理念)を理解し、自分がとるべき行動について考えられるようにするとの内容でお話があった。

②評価と改善の課題

(ア) 新任職員からは、「赤間保育園の職員として、保護者や子どもたちから信頼してもらえるようになりたい」「挨拶や一つ一つの仕草にも、誠実さが感じられるように気を付けていきたい」などという感想があった。2回目受講者からは、「安心と信頼を高められるよう常に笑顔を心掛ける。」「相手に寄り添う気持ちを習慣化させる」などの感想があった。また、「コミュニケーション6原則」(①表情②挨拶③身だしなみ④話し方⑤仕草 態度)を向上させ、赤間保育園の職員として、一層の努力を惜しまず職務に励もうという意見が多くあった。今後も引き続き継続できるように計画していく。

【3】 幼児安全法講習会

(1) 年間目標

- 1) 赤間保育園職員の救急救命の意識の向上を図る。

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

- 1) 赤間保育園職員の救急救命の意識の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 日本赤十字社より講師を招き、「乳幼児の一次救命処置! (①心肺蘇生と AED の使用方法② 気道異物の除去) について学んだ。

②評価と改善の課題

(ア) 子どもに少しでも危険が及んだ時に、“命”を守る行動を速やかに取らなければならない、そのために正しい救命措置の手順を学び日ごろから訓練などで繰り返し思い出せるようにすることが大切だということ学んだ。

ピアノ・絵本・わらべうた研修

(1) 年間目標

- 1) 保育者の資質の向上を図る。

4月	5月	6月
	(22) 絵本研修 18名 (23) 絵本研修 18名 (30) 絵本研修 17名	(7) わらべうた研修 1名 (12) わらべうた研修 16名 (13) わらべうた研修 9名 (12・19・26) ピアノ研修 3名 (14・21・28) ピアノ研修 3名 (15・22・29) ピアノ研修 3名 (16・23・30) ピアノ研修 3名
7月	8月	9月
(3・10) ピアノ研修 3名 (4・11) ピアノ研修 3名 (5・12) ピアノ研修 3名 (6・13) ピアノ研修 3名		
10月	11月	12月
1月	2月	3月

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

- 1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

①計画と実践

(ア) それぞれ研修の希望者を募り、専門講師をお招きしてピアノ研修は5回シリーズ(12

名)で、絵本研修は単発(のべ53名)で、わらべうた研修は単発(のべ36名)で行った。

〔ピアノ〕希望の動機として“苦手意識を克服し、子どもたちと楽しく歌えるようになりたい”“発表会で弾く曲を練習し、自信をもって弾きたい”などが多くあった。課題曲「おはようの歌」「おかえりの歌」と、それぞれの弾きたい曲を練習した。

〔絵本〕“絵本を読む意義や大切さについて”“絵本が子どもに与える力について”最近の世情の影響の深さや以上児、未満児に対しての読み分け方などを学んだ。

〔わらべうた〕保育者が歌う優しい声を聴き、子どもたちが安心してふれあい遊びを楽しめるよう、その歌い方や遊び方などを学んだ。また、5歳児を交えて、実際に子どもたちへの声掛けの仕方なども学んだ。

②評価と改善の課題

(ア)自ら希望して研修を受けることで、向上心を持って聞くことができた。保育の実践にすぐに役立てることができた。今後も、より多くの職員が受けられるように日程を調整していく。

〔ピアノ〕研修を受けることで練習を重ね、スムーズに弾けるようになった。また、少しでも子どもの前で弾くことで、子どもたちがピアノに合わせて歌ってくれて嬉しかった。などの感想があった。

〔絵本〕コロナ禍の影響を受け、親と子の関わりの問題として、子守にスマホのアプリを利用する頻度が上がり、絵本離れが起きていることを指摘された。改めて絵本は子供と向き合うための大切なツールであることを学んだ。また、わらべうたの先生も来てくださり、一緒に歌いながら学び楽しい時間を過ごすことができた。

〔わらべうた〕5歳児が参加することで、子どもたちへの言葉かけの実際の反応などを見ることができた。また、子どもたちの、わらべうたを楽しむ穏やかな笑顔が印象的だった。保育の現場にたくさん取り入れて子どもたちと楽しんでいきたい。

福岡県保育協会・その他関係の活動計画と実践・評価と改善の課題

(1) 年間目標

1) 保育者の資質向上を図る。

4月	5月	6月
(28) 発達支援コーディネーター研修会 2名	(12) 子どもの安全に関する研修会 2名 (27) 普通救命講習 7名	(3) 普通救命講習 7名 (9) 乳児保育研修会 2名 (10) 人権保育講座 2名 (17) 幼児体育健康教育講習会 4名 (22) 熱中症対策セミナー 3名

		(23) 給食研修会 1名 (28) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会 1名
7月	8月	9月
(1) 人権保育講座 2名 (19) 新任保育士研修会 1名 (31) 保育施設等職員研修会 2名	(8) 人権保育講座 2名	(2) 人権保育講座 2名 (13) 幼児教育研修会 1名
10月	11月	12月
(11) 新任保育士等研修 1名 (19) 幼児教育研修会 1名	(1) 宗像市子どもの権利に関する研修会 2名 (11) 前向き子育てプログラムトリプルセミナー 1名 (6) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会 1名	(20) 子供の安全に関する研修会 1名
1月	2月	3月
(26) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に関する研修会 1名 (27) 新人保育士Chickズの集い 2名	(5) 子どもの安全に関する研修会 1名 (9) 特定給食施設研修会 1名	

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 行政と連携を持ち、より良い子どもの育ちを知るための研修にさんかし、共通理解を図った。

②評価と改善の課題

(ア) それぞれの役割の中で自己研鑽を重ね、今後も専門性を高めていく。

園内公開保育

(1) 年間目標

1) 保育者の保育の資質向上を図る。

4月	5月	6月
7月	8月	9月
	(30) もも組 (2歳児)	(1) さくらんぼ組 (1歳児) (5) はな組 (3歳児) (8) あんず組 (2歳児) (12) ゆき組 (3歳児) (15) さくらんぼ組 (4歳児)

10月	11月	12月
		(13) さくらんぼ組 (0歳児)
1月	2月	3月

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

【1】もも組 (2歳児) 実施日：令和5年8月30日 (水)

(参加者：園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐1名・副主任補佐1名・保育者3名)

<ねらい>

1) 寒天の感触を楽しむ。

①計画と実践

ア) 寒天を見せ、子どもたちが期待感を持てるように声掛けを行った。

②評価と改善の課題

ア) 寒天を自由に転がしたり、つぶしたりして感触を楽しむ姿があった。

2) 寒天を使ったごっこ遊びを楽しむ

①計画と実践

ア) スプーン等を使って遊びを楽しめるようにした。

②評価と改善の課題

ア) ごっこ遊びに対しては、発展が出なかったが、子どもたちが色を混ぜて、「ジュースが出来たよ。」等と見立て遊びをしていたので、今後は保育者が声掛けなどを行い、ごっこ遊びへ発展できるようにする。

【2】さくらんぼ組 (1歳児) 実施日：令和5年9月1日 (金)

(参加者：園長・副園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐1名・保育者3名)

<ねらい>

1) フレンドリーコンサートを思い出し楽器遊びを楽しむ。

①計画と実践

ア) 子どもたちが鈴やタンブリンを鳴らしながら、楽しく歌えるようにする。

②評価と改善の課題

ア) フレンドリーコンサートを思い出すというのが難しかったが、楽器遊びを飽きる子は少なく、最後まで楽しめていた。保育者の声小さかったため、普段から気を付けていきたい。

【3】はな組 (3歳児) 実施日：令和5年9月5日 (火)

(参加者：園長・副園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補1名佐・保育者3名)

<ねらい>

1) 小麦粉の感触の変化や色の変化を楽しむ。

①計画と実践

ア) 安全に楽しく遊ぶ事ができるよう約束事を話し、感触や色の変化を楽しめるようにする。

②評価と改善の課題

ア) 想像される姿を深く考えることができておらず、計画通りにできなかった。
ふわふわした感触やドロドロした感触を楽しむことができていた。

【4】あんず組（2歳児） 実施日：令和5年9月8日（金）

（参加者：園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐2名・保育者3名）

<ねらい>

1) 約束を守り、皆でわらべうた遊びを楽しむ喜びを味わう。

①計画と実践

ア) みんなで歌ったりシフォン布を使ったりして、わらべうた遊びを楽しめるようにする。

②評価と改善の課題

ア) 子どもたちはシフォン布に対する興味が出ていたが、配った後、そのままにしてしまった為、子どもたちに対する配慮が足りなかったと思う。途中自由になりすぎていた為、怪我に繋がる可能性もあったのではないかとということが反省点である。片付けの時は、箱を準備し、子どもたちが楽しみながら行うことができて良かった。

【5】ゆき組（3歳児） 実施日：令和5年9月12日（火）

（参加者：園長・副園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐1名・保育者2名）

<ねらい>

1) 友だちや保育者と様々な感触遊びの違いを楽しむ。

①計画と実践

ア) 寒天やスライム、はるさめを準備し、期待感が持てるように話しながら活動を進めた。

②評価と改善の課題

ア) どの素材でもカレーやジュースなどの食べ物に見立ててごっこ遊びを行っていたので良かった。同じ素材で長い時間遊ぶ子どももいたので、他のマット遊びへ誘う声掛けをもう少し行えば良かった。

【6】さくらんぼ組（1歳児） 実施日：令和5年9月15日（金）

（参加者：園長・副園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐2名・保育者2名）

<ねらい>

1) スタンプ遊びを通して表現する楽しさを味わう。

①計画と実践

ア) 『もりのおつきみ』という紙芝居を基に、お月見をイメージしてスタンプ遊びを楽しめるようにした。

②評価と改善の課題

ア) ねらいの「スタンプ遊びを楽しむ」ということに重点を置いて行った。子どもたちも楽しそうに行っていたので良かった。前回遊んだ時は手が汚れてしまったため、今回はスタンプ台のようにして絵の具を出せるようにした。服に付いてしまったため、前掛けを準備すれば良かった。

【7】さくらんぼ組（0歳児） 実施日：令和5年12月13日（水）

（参加者：園長・副園長・教育アドバイザー・主任2名・主任補佐2名・保育者2名）

<ねらい>

1) 保育者と一緒に様々なボール遊びを楽しむ。

①計画と実践

ア) フラフープやかごを使い様々なボール遊びを楽しめるようにした。

②評価と改善の課題

ア) 3つの種類のボール遊びをそれぞれ子どもたちが楽しんでいたので、2つのグループに分けたが、全体を見るのが難しかった。また、出席人数が少なかった為、急遽変更になった点があった。連携・臨機応変に動くことができる対応力・職員間での話し合いがもっと必要だった。

※園内公開保育の詳細は、別紙「実践集」を参照。

キャリアアップ研修

(1) 年間目標

1) 職員の処遇向上に向け、キャリアアップ研修の充実に努める。

4月		5月		6月	
7月		8月		9月	
				(21) 障がい児保育 1名	
10月		11月		12月	
(10) 障がい児保育 1名		(8) マネジメント 1名		(6) マネジメント 1名	
(12) 乳児保育 1名		(20) 障がい児保育 1名		(27) マネジメント 1名	
(27) 幼児教育 1名		(22) マネジメント 1名			
		(24) 食育・アレルギー対応 1名			
		(28) 保健衛生・安全対策 1名			
1月		2月		3月	

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 職員の処遇向上に向け、キャリアアップ研修の充実に努める。

※コロナ禍の影響のため、リモートと現地での研修を合わせて行った。

①研修の成果

(障がい児保育) 様々な障がいとその支援について知り、声掛けの違いや適切な方法について学ぶことができた。演習等の中で、クラスや園にいる子どもたちの具体的な姿を思いながら取り組むことができた。

(乳児保育) 保育者の思いだけで環境構成をするのではなく、子どもの動線や目線を意識して環境づくりを行う必要があることを学んだ。

(幼児保育) 幼児教育から小学校への接続の段差によるつまずきがないよう、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を、到達すべき目標ではなく自発的な活動として、遊びを通して発達の特長に応じて育っていくものと理解し、日々の保育活動の中で意識して取り入れていくことが大切であることを学んだ。

(マネジメント) 保育現場においてマネジメントとは、園内の保育にかかわるすべての人が足並みをそろえて同じ方向を向くことであると学んだ。そのために、職場での人間

関係を良好なものにし、対話することで保育がよりよくなるための話し合いや何でも話しやすい雰囲気づくりにもなる。

(食育・アレルギー対応) アレルギー対応分野では、職種や勤務時間等関係なく、「知らない」「わからない」をなくすことにより、事故を防げることを学んだ。食育の分野では、菓やあごの発達には食事を撮る際の姿勢が大巾だと学んだ。

(保健衛生・安全対策) 保健衛生も安全対策も、全職員で温度差なく連携し多職種と協働して取り組むことが重要であると学んだ。日ごろから「食う・寝る・遊ぶ」は可能か、生命三大サイン3つの「い」意識・息(呼吸)・色(皮膚色)を適宜観察することで、急変を早期発見できる。

②今後の課題

(障がい児保育) 子どもの発達を考え、園全体で考えて一人一人の子どもについて同じ対応ができるようにする。また、小学校と幼保認との間での連携を行っていく。

(乳児保育) 子どものスタンダードな育ちの姿を意識し、そのうえで個別の発達をとらえクラスの担任間や園全体で共有し、保育に取り組んでいく。

(幼児保育) 保育内容の充実のために、長期計画・短期計画・保育日記等の内容をクラス全体で共有し、子どもの姿の観察から改善点を見出し、内容の見直しを全体で行えるようにする。

(マネジメント) 信頼関係を作るための「ペーシング」をもとに、対話を重ね共通理解を図っていききたい。

(食育・アレルギー対応) 今回の研修で、PDCA(計画・実践・検証・改善)の大切さを学んだので、職員間で連携を持ち、情報収集や共有を行っていききたい。

(保健衛生・安全対策) 医療や社会情勢の変化に合った新しい情報を集め、全職員・他職種と共有し、連携体制を考えていく。ヒヤリハット・事故報告書等から検証し、改善案を立て、実践・評価を行う。